

第38回 定期大会

経過報告

- 1 2025年度活動経過報告
- 2 2025年度会計決算報告(別冊)
- 3 2025年度会計監査報告(別冊)
- 4 公認会計士監査報告(別紙)

と き 2025年10月29日(水)

ところ グランドメルキュール札幌大通公園
3階「ボールルーム」



日本労働組合総連合会北海道連合会

連合北海道第38回定期大会

一般経過報告

I. 2025 春季生活闘争	3
1. 2025 年春季生活闘争の取り組み経過 (2024.10 ~ 2025.9)	4
2. 地場集中決戦の取り組み	6
3. 集会、諸行動の取り組み	7
4. 春季生活闘争 情報発信	8
II. すべての働くものの組織拡大に向けた取り組み	11
1. 「連合北海道組織拡大プラン 2030」実現に向けた取り組み	12
2. 人材育成・教育に向けた取り組み	14
3. 労働相談センターの取り組み	16
4. 連合北海道地域ユニオンの取り組み	16
5. 労働者保護の取り組みについて	17
6. 社会的認知度向上に関する取り組み	18
7. 経済団体との連携について	18
8. 本部諸会議への出席	18
9. 公職・諸会議への参加	22
III. 労働条件の改善と働く者の権利確立	25
1. 中小・パート労働対策の取り組み	26
2. 最低賃金に関する取り組み	27
3. 第8回医療職場の意見交換会の開催	28
4. ワークルールを確立する取り組み	28
5. 就労支援・促進に関する取り組み	30
6. 関係組織・団体の取り組み	31
7. 青年委員会の取り組み	31
8. 北海道退職者連合の取り組み	34
9. 北海道勤労者安全衛生センターに関する取り組み	39
10. 本部諸会議への出席	40
11. 公職諸会議への出席	43
IV. 暮らしの安心と社会的公正を確立する政策制度実現の取り組み	53
1. 政策・制度実現に向けた取り組み	57
2. エネルギー環境政策に係わる取り組み	65
3. 医療・介護・福祉に関する取り組み	70
4. 公共交通・物流ネットワーク政策に関する取り組み	77
5. 定例道議会対応	77
6. 地方議会意見書採択の取り組み	81
7. 公職・関係組織会議対応	81
V. ジェンダー平等局	91
1. 連合北海道 男女平等参画推進委員会	92
2. 諸会議・集会等の開催	93

3. 女性委員会の取り組み	94
4. 地域の取り組み	96
5. 中央会議・集会などへの参加	96
6. 公職・関係諸会議への対応	97
VI. 国民・道民運動の取り組み	101
1. 平和を守り、軍縮・核兵器廃絶を求める取り組み	101
2. 次代を担う教育課題の取り組み	116
3. 人権擁護・共生の社会づくり、社会連帯の取り組み	117
4. 環境問題と循環型社会の実現を求める取り組み	118
5. メーデーの充実と、道民運動充実拡大の取り組み	120
6. 連合本部諸会議等への出席	125
7. 公職・関係組織会議等対応	126
VII. 広報・文化活動と国際関連の取り組み	129
1. 広報・文化活動	129
2. 国際関連	130
VIII. 政治に関する取り組み	133
1. 第 50 回衆議院議員選挙のまとめ	133
2. 連合北海道国会議員団会議への加入について	133
3. 政治センター代表幹事会及び拡大幹事会の開催	134
4. 第 27 回参議院議員選挙北海道選挙区候補予定者の第二次推薦	134
5. 第 27 回参議院議員選挙に向けた取り組み	134
6. 第 27 回参議院議員選挙の結果について	135
7. 第 27 回参議院議員選挙のまとめ	136
8. 北海道議会議員釧路市選挙区補欠選挙の結果について	136
9. 首長選挙の結果について	136
10. 第 51 回衆議院議員選挙候補予定者の推薦	137
11. 2025 年度連合北海道国会議員団会議総会の開催	138
12. 本部諸会議	138
13. 連合本部「政治活動マニュアル（第 6 版）」の送付	138
14. 地域協議会推薦議員懇談会	139
IX. 労働者・自主福祉運動の取り組み	143
1. 各労働福祉事業団体の総会・総代会	145
2. 労働福祉対策特別委員会	146
X. 総務並びに一般経過報告	149
1. 機関会議・その他諸会議	149
2. 各種委員会	165
3. 総務関連の行事	166
4. 一般業務経過	167

I . 2025 春季生活闘争

I . 2025 春季生活闘争

【総括と課題】

1. 2025 春季生活闘争全体の総括は、第 2 号議案の連合北海道「2025 春季生活闘争のまとめ（案）」で提案するため、運動および取り組みを中心とした総括と今後の課題について触れることとします。
2. 中小組合も全体的に健闘しており、現在の集計を開始した 2016 年以降で最も高かった昨年を上回る結果となっている。特に 100 人未満が前年より大きく伸びているが、金額・率ともに大手組合には届かず、規模間格差が拡大していると考えられる。今後、労働組合の賃金調査や公的統計などで賃上げ後の個別賃金水準を把握し、規模間格差の是正について検証する必要がある。また、労務費の適切な価格転嫁が進まず、収益が圧迫されつつも人材の確保・定着を重視し大手並みの賃上げに踏み切った中小企業もある一方、昨年並みの回答に終始したところもある。その背景には、経営状況の違いや取引先の労務費の価格転嫁に対する理解度の差などがあると考えられる。生産性三原則にもとづく成果の公正な分配とともに、適正な価格転嫁や「人への投資」「未来への投資」を通じた生産性の向上などにより、継続的に格差是正を含めた賃上げができる環境を作っていくことが必要であり、政策面からの対応と労使コミュニケーションの強化が一層重要になっている。
3. 雇用形態間格差の是正について、有期・短時間・契約等の時間給労働者の賃上げはフルタイム組合員を上回った。「働きの価値に見合った賃金水準」をめざし引き続き格差是正に取り組むとともに、今年の法定最低賃金の引き上げを通じ労働組合のない企業で働く労働者の賃金の底上げにも波及させる必要がある。
4. 女性活躍推進法の省令改正において、「男女の賃金の差異」の状況把握と情報公表が義務化されたことを踏まえ、各組合で男女別の賃金実態の把握と分析に取り組んだ。300 人以下の事業主は努力義務となっているが、企業規模にかかわらず、男女間賃金格差の是正に向けて引き続き取り組む必要がある。
5. ワーク・ライフ・バランスの実現について、課題である総実労働時間短縮に対する社会的認識の高まりや働き方改革関連法の施行もあって、豊かな生活時間とあるべき労働時間の確保への取り組みが着実に前進しているが、総実労働時間が全国平均より長い傾向にある北海道は、2024 年平均で規模 5 人以上の事業所で一般労働者の総実労働時間が全国平均を月 1.4 時間上回っている。引き続き、長時間労働の是正とともに、働く者の立場に立った「働き方改革」の実現に向けて取り組みを進める必要がある。
6. 運動面について、われわれ組織労働者の取り組みを社会全体および未組織労働者に波及させていくことが重要であることから、世論喚起の取り組みに力を注いだ。闘争ヤマ場における街宣活動やテーブル街宣行動を積極的に展開し、道民へ喚起を促すことが重要なことから、状況を見据えながら取り組みを進める必要がある。また、地協・地区連合が、すべての働く者の賃金の底上げをめざして、商工会議所や中小企業家同友会等との意見交換の場を設定することができた。
7. 「人への投資」「未来への投資」を訴え、「労務費を含む適正な価格転嫁」や「取引の適正化」を通じて、継続的に格差是正を含めた賃上げができる環境づくりの運動を前進させるという主張が、一定程度、社会にも認識され理解が広がったことは社会的運動の観点から役割を果たし得たものと受け止められるが、特に労務費の価格転嫁においては、パートナーシップ構築宣言企業の拡大および北海道政労使会議で採択された共同宣言の着実な実行が求められる。次年度以降のたたかいにおいても、こうした考え方を維持した運動の継続及び水準の改善が必要である。

1. 2025 年春季生活闘争の取り組み経過（2024.10 ～ 2025.9）

（1）機関会議（大会・地方委員会）・各種委員会の開催

2024年		
12/16	【第1回産業別部門連絡会】 金属・機械部門連絡会幹事会	①2025年度幹事会役員体制の確認について ②2025年度活動計画（案）について ③2025春季生活闘争方針（案）について
12/17	第37回年次大会	①2024春季生活闘争のまとめ（案）及び 2025春季生活闘争方針（案）について
12/25	第1回中小・パート労働条件委員会	①2025年度委員の確認について ②2025春季生活闘争方針について ③16回全道中小労働者研修・交流集会について
2025年		
2/6	【第2回産業別部門連絡会】 金属・機械部門連絡会幹事会	①講演「JCM春季生活闘争」「最低賃金」「地方政策」について ②2025春季生活闘争・当面の取り組み（その1） ③構成産別及び構成組合の取り組み方針（案）
2/19 2/20 2/21 2/26	【第1回産業別部門連絡会】 情報・サービス部門 流通・食品・建設・一般部門 交通・運輸部門 資源・化学・エネルギー部門	①2025春季生活闘争・当面の取り組み（その1） ②各産別から要求方針の報告確認について ③地場集計組合のエントリー報告について ④賃金要求・回答・妥結報告書について
2/20	第2回中小・パート共闘会議	①2025春季生活闘争方針・当面の取り組み（その1） ②各産別と要求方針の報告確認
2/24	青年委員会スプリングフォーラム	①講演「春季生活闘争 闘争（春闘）の歴史（なぜ格差が広がったのか）」 ②ろうきん学習会 ③グループディスカッション
3/25	第1回産業別部門連絡会】 官公部門	①2025春季生活闘争・当面の取り組み（その3） ②その他
4/14	【第2回産業別部門連絡会】 および第3回中小・パート共闘会議 合同会議 流通・食品・建設・一般部門 交通・運輸部門 情報・サービス部門	①2025春季生活闘争・当面の取り組み（その3） ②各産別の交渉経過・妥結状況報告・意見交換 ③地協闘争方針など意見交換 ④第16回全道中小労働者研修交流集会について
4/16 - 17	【第3回産業別部門連絡会】 金属機械部門	①講演「地球温暖化、カーボンニュートラルに対する連合の対応」 ②2025春季生活闘争・当面の取り組み（その3） ③苫小牧工業高校の見学・先生との意見交換
4/21	【第2回産業別部門連絡会】 資源・化学・エネルギー部門	①2025春季生活闘争方針・当面の取り組み（その4） ②各産別からの交渉経過・妥結状況報告 ③その他
5/13 5/15 5/26	【第3回産業別部門連絡会】 資源・化学・エネルギー部門 情報・サービス部門 交通・運輸部門	①2025春季生活闘争方針・当面の取り組み（その4） ②各産別からの交渉経過・妥結状況報告 ③その他
6/17	第90回 地方委員会	①第1号議案 2025春季生活闘争 中間まとめ（案）

(2) 連合北海道春季生活闘争に関する委員会の開催

12/17	第37回 年次大会	①2025春季生活闘争方針（案）について 【I 春季生活闘争・資料1】
1/29	第1回闘争委員会	①2025春季生活闘争「当面の取り組み（その1）」 【I 春季生活闘争・資料2】 ②「地場集計組合のエントリー」の報告要請 ③すべての労働者の賃金・労働条件等の改善、地域における雇用対策などに関する要請（商工会議所） ④地域における雇用対策及び非正規職員の処遇改善などに関する要請（自治体・振興局） ⑤連合アクションの取り組みについて
2/28	第2回闘争委員会	①2025春季生活闘争「当面の取り組み（その2）」 【I 春季生活闘争・資料3】 ②すべての労働者の賃金・労働条件改善などに関する要請（経済5団体・北海道・労働局） ③2025春季生活闘争勝利3.10全道総決起集会の開催について
3/28	第3回闘争委員会	①2025春季生活闘争「当面の取り組み（その3）」 【I 春季生活闘争・資料4】 ②2025春季生活闘争第2回回答集計結果について ③道内における妥結状況（3月19日時点）
4/24	第4回闘争委員会	①2025春季生活闘争「当面の取り組み（その4）」 【I 春季生活闘争・資料5】 ②2025春季生活闘争第4回回答集計結果について ③道内における妥結状況（4月17日時点） ④公正取引の推進に関する要請
5/22	第5回闘争委員会	①2025春季生活闘争 中間まとめにむけて ②2025春季生活闘争第5回回答集計結果について ③道内における妥結状況（5月8日時点）
6/17	第6回闘争委員会	①2025春季生活闘争 中間まとめ（案）本文 【I 春季生活闘争・資料6】

(3) 連合本部諸会議への参加

2024年		
11/1	2025春季生活闘争中央討論集会	①講演「2025春闘の課題―労使関係の正常化―」 ②講演「日本経済の現状と見通し」 ③基本構想に向けた委員会討議報告 ④2025春季生活闘争基本構想提起
11/22	2025春季生活闘争方針（案）地方連合会向け説明会	①2025春季生活闘争方針（案）の説明
12/4	2025春季生活闘争格差是正フォーラム	①中小企業庁「価格転嫁・取引適正化の現状と課題」 ②公正取引委員会「適正な価格転嫁の実現に向けた取組」 ③厚生労働省「地方版政労使会議について」 ④東京商工会議所「中小企業における賃上げ・価格転嫁の現状と課題―労務費含む価格転嫁の推進を―」 ⑤JAM「格差拡大を許さない!2025春季生活闘争の取組」 ⑥運輸労連「運輸労連の格差是正に向けた取組」
2025年		
2/6	2025春季生活闘争・闘争開始宣言2.6中央集会	①主催者挨拶 ②産別からの決意表明（UAゼンセン・JEC連合） ③地方連合会からの決意表明（石川・福岡） ④闘争開始宣言（案）の提起 ⑤がんばろう三唱

2/27	2025春季生活闘争 連合全国一斉アクション2.27中央集会	①主催者挨拶 ②政党激励挨拶（立憲民主党・国民民主党） ③情勢報告 ④決意表明 ⑤がんばろう三唱
4/4	2025春季生活闘争 4.4中小組合支援共闘集会	①主催者挨拶 ②3月末回答引出状況報告 ③取り組み報告 ④中小組合支援に向けた決意表明 ⑤がんばろう三唱

(4) 春季生活闘争関連・要請諸行動等の取り組み

2025年	
2/18	北海道への要請（労働者の賃金・労働条件改善等に関する要請）
3/4	経済5団体との労使懇談会（労働者の賃金・労働条件改善等に関する要請）
3/10-14	先行組合回答ゾーン（最大のヤマ場 3/11~13）
3/14	北海道労働局への要請（労働者の賃金・労働条件改善等に関する要請）
3/17-31	3月内決着組合回答ゾーン
4月中	地場中小回答ゾーン
4/18	公正取引委員会事務総局北海道事務所への要請
4/18	北海道経済産業局（中小企業庁）への要請

(5) ブロック春季生活闘争推進会議・春季生活闘争地域討論集会 【Ⅰ 春季生活闘争・資料7】

2. 地場集中決戦の取り組み

(1) 2025 春季生活闘争・賃上げ集計結果

1) 賃上げ交渉の妥結・進捗結果（集計可能組合の加重平均）

月 日 (公表)	組合数	組合員	要 求		妥 結		昨年妥結		昨年同時期比	
			額	率	額	率	額	率	額	率
3月14日	17	11,614	18,350	6.22	17,732	6.20	14,489	5.30	3,243	0.90
3月21日	47	21,757	17,985	6.17	14,843	5.36	12,628	4.64	2,215	0.72
4月3日	89	31,261	18,142	6.22	14,525	5.21	12,748	4.72	1,777	0.49
4月18日	112	33,854	18,042	6.29	14,377	5.19	12,972	4.68	1,405	0.51
5月8日	133	39,524	17,445	6.07	13,898	5.01	12,835	4.62	1,063	0.39
6月5日	149	43,123	17,299	6.03	13,797	4.93	12,978	4.63	819	0.30
7月3日	175	48,164	17,150	5.98	13,736	4.91	12,708	4.51	1,028	0.40
8月31日	176	48,397	17,150	5.98	13,736	4.91	12,726	4.53	1,010	0.38

2) 規模別集計（単純・加重平均） - 8月31日集計 -

単純平均	組合数	組合員数	要求額	要求率	妥結額	妥結率	昨妥結	昨妥率
計	176	48,397	17,220	6.56	12,340	4.81	10,778	4.37
1,000人以上	9	20,264	16,506	5.32	14,797	4.95	13,764	4.55
300~999	31	15,064	17,765	6.35	14,713	5.51	12,524	4.86
299~100	55	9,300	18,103	6.91	11,855	4.58	11,862	4.90
99人以下	81	3,769	16,373	6.60	11,386	4.65	9,181	3.91
加重平均	組合数	組合員数	要求額	要求率	妥結額	妥結率	昨妥結	昨妥率
計	176	48,397	17,150	5.98	13,736	4.91	12,726	4.53
1,000人以上	9	20,264	16,335	5.31	14,083	4.74	13,321	4.34
300~999	31	15,064	17,662	6.22	14,653	5.36	12,826	4.86
299~100	55	9,300	18,459	7.00	12,195	4.68	11,993	4.91
99人以下	81	3,769	16,779	6.83	11,462	4.71	9,202	3.88

※全体妥結組合 199 組合（エントリー 203 組合）

※集計可能組合 176 組合（48,397 人／昨年同期比 -11 組合）

※加重平均賃上額 13,736 円（4.91%）、昨年比 +1,010 円（+0.38%）

(2) 2025 春季生活闘争・一時金集計結果 - 8月31日集計 -

報告のあった産別・組合数〔13産別、1地協、135組合〕

◇一時金妥結状況

◇年間一括要求	組合数	妥結（額）	妥結（月）	昨年妥結（額）	昨年妥結（月）
金額・月数方式	42	1,457,617 円	4.68 ヶ月	1,418,662 円	4.61 ヶ月

◇年間一括要求	組合数	妥結（額）	◇年間一括要求	組合数	妥結（月）
金額方式	46	1,455,711 円	月数方式	92	4.56 ヶ月

◇半期要求	組合数	妥結（額）	◇半期要求	組合数	妥結（月）
夏季金額方式	28	469,530 円	夏季月数方式	29	1.97 ヶ月

(3) 有期・短時間・契約労働者の賃上集計（8月31日現在）

妥結報告 21 組合

時間給	組合	時給（加重平均）	妥結額	妥結率	昨妥（額）	昨妥（率）
要求集計（有額）	21	1,176.59 円	62.10 円	5.53%	57.01 円	5.50%

3. 集会、諸行動の取り組み

(1) 労働者の賃金・労働条件改善等に関する要請

1) 北海道（行政）への要請

日 時／2025年2月18日（火）13：30～

場 所／道庁 3階「副知事応接室」

参加者／和田事務局長、山田組織労働局長、組織労働局次長

対応者／三橋副知事、鶴蒔労働政策局長、藤田雇用労政課長、

2) 経済5団体との労使懇談会

日 時／2025年3月4日（月）13：30～

場 所／東急REIホテル

労働者側／須間会長、萩原副会長、和田事務局長、金子副事務局長、荒木副事務局長、山田組織労働局長、組織労働次長

使用者側／北海道経済連合会

藤井会長、百瀬常務理事、池田労働政策局長

北海道商工会議所連合会

佐藤常務理事

北海道商工会連合会

鳴海専務理事

北海道経済同友会

樋口専務理事

北海道中小企業団体中央会

松浦専務理事

3) 北海道労働局への要請

日 時／2025年3月14日（金）10：00～

場 所／札幌第1合同庁舎

参加者／須間会長、和田事務局長、金子副事務局長、荒木副事務局長、皆川組織対策局長、永田総合政策局長、山田組織労働局長、組織労働局次長

対応者／三富局長、菊田総務部長、佐々木雇用環境・均等部長、高橋労働基準部長、猪俣職業安定部長、石澤総務課長、中川企画課長、河合監督課長、小林職業安定課長

4) 公正取引委員会事務総局北海道事務所

日 時／2025年4月18日（火）10：00～

場 所／札幌第3合同庁舎

参加者／UAゼンセン、フード連合、和田事務局長、山田組織労働局長、組織労働局次長

対応者／鈴木所長、総務課長、総務係長

5) 経済産業省北海道経済産業局（中小企業庁）

日 時／2025年4月18日（月）14：00～

場 所／第1合同庁舎

参加者／UAゼンセン、フード連合、和田事務局長、山田組織労働局長、組織労働局次長

対応者／西村産業部長、宮本取引適正化推進室長、小澤取引適正化推進室長補佐、西本取引適正化推進室長補佐

(2) 2025 春季生活闘争・第 27 回参議院議員選挙勝利！ 3. 10 全道総決起集会

日 時／2025年3月10日（月）18:00～

場 所／カナモトホール

内 容／①開会、②主催者挨拶、③方針提起、④決意表明（私鉄総連・上川地協）、⑤第27回参議院選挙連合推薦候補予定者紹介、⑥集会決議、⑦団結ガンパロー、⑧閉会

参加者／約1200名

(3) 街頭宣伝活動について

1) 2025春季生活闘争 連合全国一斉アクション2. 27街宣行動

日 時／2025年2月27日（木）17：30～

場 所／札幌三越前

弁 士／須間会長、山口石狩地協事務局長、山田組織労働局長

2) 2025春季生活闘争最大のヤマ場における街宣行動

日 時／2025年3月17日（月）・24日（月）・31日（月）12：00～

場 所／札幌三越前

弁 士／須間会長、山田組織労働局長

(4) 2025 春季生活闘争解決促進集会への出席について

1) 2025春季生活闘争勝利！函館地区地場中小労組解決促進集会

日 時／2025年4月16日（金）18：15～

場 所／函館市亀田交流プラザ

出 席／皆川組織対策局長

2) 2025春季生活闘争勝利！石狩地域地場未解決組合「解決促進集会」

日 時／2025年4月23日（水）18：00～

場 所／グランドメルキュール札幌大通公園

出 席／須間会長、山田組織労働局長

I. 2025 春季生活闘争

添付資料はこちらから



4. 春季生活闘争 情報発信

2025春季生活闘争ニュース No.1～23 【I 春季生活闘争・資料8】

Ⅱ．すべての働くものの 組織拡大に向けた取り組み

Ⅱ. すべての働くものの組織拡大に向けた取り組み

【総括と課題】

2025 年度の取り組みの総括

連合北海道の「組織拡大」は、発足時から労働相談を担当する「中小労対部」が担い、1996 年からは春闘や最賃、産別・地域の課題を担当する組織部と合併した「組織・中小労対部」が担務し、2005 年に組織拡大に特化する「組織拡大局」が設置され、のちに名称変更して「組織対策局」となります。

労働組合は 18 世紀産業革命下のイギリスで始まったとされます。確かに、「賃金や労働時間など労働条件の向上を求めるとの労働組合の定義」からの歴史はそうですが、大事な「起源」ではありません。当時は、そして今でも発展途上国の一部では、労働組合は非合法組織であり、それを跳ね返すために仲間と団結した起源は遡ります。

労働組合の起源とはなにか。浜林一橋大学元教授の著書『パブと労働組合』に「18 世紀の末、産業革命下のイギリス。工場生産がものすごく発展するのだが、労働者の生活はまったくよくなる。僅かな賃金をもらい、仕事帰りにパブ（居酒屋）に寄って一杯やる。憂さ晴らしに社長の悪口を言うと同調者が出る。そのうち、あいつが自殺したとか怪我したとかの話になる。居酒屋で知り合ったもの同士が、怪我や病気になった仲間のため、相互扶助を目的にして自主的な保険活動を始めるのだが、まさにそれが、組合の起源」と、私たち労働組合の起源が記載されています。

私たちの組織拡大・組織強化の目的は、働く人が抱える不安感や理不尽さを減らすことにあり、働くことに関わるルール決定に労働者自身が参加する「労使関係」を確立する、あるいは強化すること。そして、あらゆるところから、格差・差別・貧困をなくすとの「社会正義」を実現することです。

このような観点に立ち、産別・地協・地区連合において、組織拡大・組織強化に取り組まれた皆さんに心より敬意を表します。

- (1) 連合北海道における労働相談は結成時（1990 年）から実施してきました。その目的は未組織労働者の労働条件の改善と組織化に向けた取り組みを進めることです。

労働相談の周知は、従前から各地協によるチラシ・ティッシュを配布しての街頭宣伝や、ラジオ CM の他、昨年よりグーグル検索やインスタグラム広告などインターネットを利用した周知を始めた結果、相談件数が飛躍的に増加しました。また近年の「若年層の電話離れ」を反映し、メールによる相談が急増しており、返信など対応に時間がかかるものも多くありますが、今後も効果的な周知により多くの労働相談が寄せられるよう取り組みます。

- (2) 連合北海道地域ユニオン加盟単組および連合北海道直加盟単組・地協直加盟単組（建設系労組を除く）については、構成組織（産別）移行を目指すことを第一に、移行が難しい単組は、2026 年 1 月からスタートする「(新) 地域ユニオン」に加盟することが組織決定されました。

もともと地域ユニオンは労働相談からの個人加盟や、地場中小・零細企業の組合が多いことから組合費等により産別加入が難しく、また北海道の広域性（産別道本部所在地との距離）の課題が有り、直加盟組織についても直加盟となった経緯があります。

来年 1 月の「(新) 地域ユニオン」加盟にむけ、連合北海道直加盟組織及び各地協と十分な協議を重ねてきました。1 月以降も丁寧な対応により、課題・懸念事項の解決に向けて取り組んでいきます。

- (3) 組織拡大に特化したオルグを配置している産別は極めて少なく、多くは「他の業務も兼務する組織拡大担当者」であり経験値も様々です。また、単組のショッパ制についてもユニオンとオープンに分かれ

ており「足場」が異なります。

このような観点から、「労働組合から距離をとる若者」と「インターネット（WEB）」を切り口にするなど、新たな視点で「組織拡大担当者（オルガナイザー）研修会」を開催してきました。これからも同様に、「立場」「足場」が異なる参加者にも有益な情報を提供できるよう研修会を開催しなければなりません。特にオープンシヨップ単組の組織率向上、「組織強化」に向けた企画を検討する必要があります。

1. 「連合北海道組織拡大プラン 2030」実現に向けた取り組み

（1）組織拡大数 【経・対策資料1】

期 間／2024年10月1日～2025年9月30日

拡大数／14組織 1,638人

（2）2025年度組織拡大推進特別委員会の開催

日 時／2025年4月23日（水）15：00～17：00

場 所／ホテルポールスター札幌 2階「セレナード」

内 容／①組織拡大方針の確認

②講演：「組織拡大に向けた取り組みと課題」

講師：高橋均 労働者福祉中央協議会講師団講師

（3）地域ゼネラル連合に関するオルグ

①宗谷地域協議会

日 時／2024年11月20日 15：30～

場 所／宗谷地域協議会

出席者／河原史敏宗谷地域協議会会長、宮森貴大同事務局長、小野寺教文組織対策局次長

②全造船機械・渡島地域協議会

日 時／2024年12月4日（水）15：30～17：00

場 所／函館ドック労働組合団体会館

出席者／佐藤昌利委員長、橋本康憲副執行委員長、加賀谷進室蘭製作所書記長、工藤圭恭函館造船所書記長、長谷川義樹渡島地域協議会事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

③石狩地域協議会

日 時／2024年12月9日（月）16：00～18：00

場 所／連合北海道6階応接室

出席者／山口裕一事務局長、光崎聡副事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

④留萌地域協議会

日 時／2024年12月12日（木）15：30～17：00

場 所／留萌地域協議会

出席者／野呂照幸事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑤十勝民労協

日 時／2024年12月18日（水）14：30～16：00

場 所／十勝地域協議会

出席者／中村武志副事務局長、齊藤孝ユニオン十勝副委員長、皆川洋仁組織対策局長

⑥釧根地域協議会

日 時／2024 年 12 月 19 日（木）15：00～16：00

場 所／釧根地域協議会

出席者／赤田昌也事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑦網走地域協議会

日 時／2024 年 12 月 19 日（金）15：30～17：00

場 所／網走地域協議会

出席者／武田研二事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑧胆振地域協議会

日 時／2025 年 1 月 15 日（水）11：00～12：00

場 所／胆振地域協議会

出席者／松田潤事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑨こくみん共済 COOP 北海道推進本部

日 時／2025 年 2 月 4 日（火）13：00～

場 所／連合北海道応接室

出席者／こくみん共済 COOP：高橋朋広組織・居住域担当部長、渋谷将基課長、
連合北海道：皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑩檜山地域協議会

日 時／2025 年 2 月 14 日（金）15：00～

場 所／檜山地域協議会

出席者／北浦勇会長、皆川洋仁組織対策局長

⑪渡島地域協議会

日 時／2025 年 3 月 24 日（月）16：00～

場 所／渡島地域協議会会議室

出席者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑫全建総連

日 時／2025 年 9 月 16 日（火）16：00～

場 所／全建総連

出席者／全建総連：長嶋基次委員長、矢萩毅書記長、
連合北海道：皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑬網走地域協議会

日 時／2025 年 9 月 17 日（水）10：30～11：30

場 所／網走地域協議会

出席者／武田研二事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑭十勝地域協議会

日 時／2025 年 9 月 17 日（水）15：00～16：30

場 所／十勝地域協議会

出席者／齊藤雅彦事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑮釧根地域協議会

日 時／ 2025 年 9 月 18 日（木） 15：00 ～ 17：00
場 所／釧根地域協議会
出席者／赤田昌也事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑯後志地域協議会

日 時／ 2025 年 9 月 22 日（月） 10：00 ～
場 所／後志地域協議会
出席者／石川誠一郎事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑰胆振地域協議会

日 時／ 2025 年 9 月 25 日（木） 13：00 ～
場 所／胆振地域協議会
出席者／松田潤事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑱全北海道造船機械労働組合協議会

日 時／ 2025 年 9 月 30 日（火） 15：00 ～
場 所／函館ドック労働組合団体会館
出席者／佐藤昌利委員長、橋本康憲副執行委員長、加賀谷進室蘭製作所書記長、工藤圭恭函館造船所書記長、長谷川義樹渡島地域協議会事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑲渡島地域協議会

日 時／ 2025 年 9 月 30 日（火） 16：00 ～
場 所／渡島地協会議室
出席者／長谷川義樹渡島地域協議会事務局長、福士裕之渡島地域ユニオン事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

（４）本部組織拡大局との意見交換

日 時／ 2025 年 8 月 4 日（月） 16：00 ～
場 所／連合北海道 5 階会議室
内 容／「組織拡大プラン 2030」フェーズⅠの振り返りおよびフェーズⅡについて
出席者／本 部：畠山薫組織拡大局長、大磯扶三彦中央オルガナイザー
北海道：金子ユリ副事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文組織対策局次長

2. 人材育成・教育に向けた取り組み

（１）渡島地域協議会 2024 ユニオンスクールへの講師派遣

①第 1 回

日 時／ 2025 年 3 月 1 日（土） 13：30 ～ 17:00
場 所／道南労働福祉会館 5 階
参加者／ 17 名（函館ドック函館造船所労組、J P 労組函館北東支部、全水道函館水道労組、亀田清掃労組、
亀田病院労組、高橋病院労組、道南食品労組、函館広域森林ユニオン）
派遣者／小野寺教文同次長
概 要／「労働組合の重要性和組合づくり」について講演ののち、4 グループに分かれカルタによる労働組合の基礎知識について認識を深める内容であった。

②第2回

日 時／2025年5月24日（土）13：30～17：30

場 所／道南労働福祉会館5階

参加者／15名

派遣者／小野寺教文同次長

概 要／冒頭、前回の振り返りを行い、「団体交渉の進め方と注意点」「財務諸表の分析」について講義を行った後、コミュニケーションの難しさについてゲームを通じて体験した。第3回目のユニオンスクールで行う模擬の団体交渉のお題を提示、各グループにおいて課題の整理、模擬執行委員会を行った。

③第3回

日 時／2024年8月30日（土）13：30～17：30

場 所／道南労働福祉会館5階

参加者／16名

派遣者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

概 要／渡島地域協議会の役員・相談員と連合北海道の役員が使用者側に扮し、3つのグループが「降格人事」「出向」「解雇」を題材に模擬の団体交渉を行った。

前段に、第2回のユニオンスクールで行った要求の内容、落としどころの確認、組合員に対する説明のポイントなどを再確認し、要求書の提出、団体交渉を開始。参加者のほとんどは、団体交渉の経験がなく、対応に苦慮。所々でポイント解説を入れながら、3つのグループとも妥結を目指して模擬交渉を行った。目的が異なる労使間におけるコミュニケーションの難しさ、根拠となる労働法や裁判判例などの活用について、深く理解を深めた内容となった。

（2）後志地域協議会ウェルフェアスクールへの講師派遣

日 時／2024年10月4日（金）18：00

場 所／小樽無尽ビル

派遣者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

（3）釧路公立大学における寄附講座の実施について

日 時／2024年12月19日（金）10：40～12：10

場 所／釧路公立大学

講 師／皆川洋仁組織対策局長

内 容／2018年の地域活性化フォーラム in 釧路でコーディネーターを務めていただいた千田航准教授の授業で、「地域社会共生における労働組合の役割」と題して、労働組合の成り立ち、共済、相互扶助、人権など労働組合の基本的な役割の説明と、地域社会における「共生」の具体的な活動や協力について連合北海道の取り組みを紹介した。千田教授がこだわる「地域社会共生」について、「地域共生社会」が示す理念や理想とは異なる社会的課題に更に一步踏み込んだ講義を行った。

（4）運輸労連北海道地方連合会 組織拡大対策委員会

日 時／2025年4月15日（火）15：30～17：00

場 所／NEU 札幌ビル2階 会議室

対 象／各単組組織拡大担当者12人

派遣者／皆川洋仁組織対策局長

3. 労働相談センターの取り組み

(1) 労働相談ホットラインの実施

① カスタマー・ハラスメントに関する労働相談ホットライン

日 時／2024 年 11 月 27 日（金）10：00～18：00

場 所／連合北海道労働相談センター・各地域協議会

内 容／11 月 26 日に北海道議会においてカスタマー・ハラスメント防止条例案が可決されたことに伴い、
11 月 20 日～27 日までカスタマー・ハラスメントに関する広告を SNS に掲載し、相談を受け付けた。

件 数／4 件

② 長時間労働是正に向けた全国一斉集中労働相談ホットライン

日 時／2024 年 12 月 10 日（火）～11 日（水）10：00～18：00

場 所／連合北海道労働相談センター・各地域協議会

内 容／連合の「過労死等防止啓発月間」の一環として、長時間労働をテーマに全国一斉の労働相談を実施し、北海道は SNS に広告を掲載して取り組んだ。

件 数／8 件

③ 解雇・雇止めに向けた全国一斉集中労働相談ホットライン

日 時／2025 年 2 月 13 日（木）～14 日（金）10：00～18：00

場 所／連合北海道労働相談センター・各地域協議会

内 容／労働契約の更新時期を迎える年度末に向け、解雇や雇止めをテーマに労働相談を受け付けた。

件 数／11 件

④ 男女平等月間の取り組みに関した全国一斉集中労働相談ホットライン

日 時／2025 年 6 月 10 日（火）～11 日（水）10：00～18：00

場 所／連合北海道労働相談センター・各地域協議会労働相談

内 容／連合「男女平等月間」と連動した取り組み

件 数／12 件

4. 連合北海道地域ユニオンの取り組み

(1) 第 25 回定期大会

日 時／2025 年 1 月 18 日（土）15：00～17：00

場 所／グランドメルキュール札幌大通公園

概 要／代議員総数 57 名に対し、31 名の出席および 14 名の委任状によって、

① 2024 年度の活動報告、② 2024 年度決算、③ 2025 年度活動計画案、

④ 2025 年度予算案、⑤ 2025 年度役員体制について承認された。

(2) 執行委員会の開催

① 第 1 回

第 1 回執行委員会

日 時／2025 年 1 月 18 日（土）14：00～14：50

場 所／グランドメルキュール札幌大通公園

出席者／北海道地域ユニオン役員

② 第 2 回

日 時／2025 年 4 月 23 日（水）13：30～14：30

場 所／ホテルボールスター札幌 4 階「ラベンダー」

内 容／①地域ゼネラル移行に向けた状況報告、②地域ユニオン規約の改正について

出席者／北海道地域ユニオン役員

③第3回

日 時／2025年8月28日（木）10：00～

場 所／連合北海道5階会議室

出席者／北海道地域ユニオン役員

（４）組織拡大に向けた地域オルグ

①北見

日 時／2025年3月27日（木）18：30～20：00

場 所／北見市民会館

オルグ／小野寺教文組織対策局次長

②帯広

日 時／2025年4月10日（木）18：30～20：00

場 所／十勝地域協議会

オルグ／齊藤雅彦十勝地域協議会事務局長、小野寺教文組織対策局次長

③北見

日 時／2025年4月15日（火）18：30～20：00

場 所／網走地域協議会

オルグ／武田研二網走地域協議会事務局長、小野寺教文組織対策局次長

④東京

日 時／2025年4月24日（木）19：30～21：00

場 所／東京

オルグ／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文組織対策局次長

⑤函館

日 時／2025年5月13日（火）18：00～19：30

場 所／渡島地域協議会会議室

オルグ／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長、大島利広相談員

⑥札幌

日 時／2025年6月25日（水）19：00～

場 所／連合北海道5階会議室

オルグ／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長、大島利広相談員

⑦釧根地域

日 時／2025年6月26日（木）18：30～

場 所／釧根地域協議会会議室

オルグ／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長、大島利広相談員

⑧釧路

日 時／2025年9月18日（木）18：30～20：00

場 所／釧根地域協議会会議室

オルグ／赤田昌也釧根地域協議会事務局長、皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

5. 労働者保護の取り組みについて

（１）私鉄総連函館バス支部

2021年に組合休暇の取得方法をめぐる問題に端を発した私鉄総連函館バス支部の労使紛争は、双方の弁護

士による協議の結果、2025 年 2 月 13 日の団体交渉において、包括和解が成立した。【経・対策資料 2】

6. 社会的認知度向上に関する取り組み

(1) インターネット広告

労働相談についてInstagramへの広告および Google 検索で上位表示されるスポンサー広告を掲載。12 月、2 月、6 月、9 月の全国（9 月は全道のみ）一斉集中相談ダイヤルが実施される際は、テーマに沿った広告に切り替え。

(2) ラジオ CM

HBC ラジオの「ファイターズナイター」で CM 提供。期間は 2025 年 4 月～9 月の毎週金曜日、17：55～試合終了まで

7. 経済団体との連携について

(1) 北海道社会保険労務士会との意見交換会

日 時／2024 年 12 月 5 日（木）14：30～16：30

場 所／連合北海道 5 会会議室

出席者／【経・対策資料 3】

概 要／概況の報告ののち、社会保険労務士会が企業内ハラスメントに対し就業規則を整えてきたことや学校教育のカリキュラムに取り入れるための活動を行っていること、連合北海道がカスタマー・ハラスメントの条例制定に努めてきたことや連合フリーランス労災保険を立ち上げた経緯と社会保険労務士会や顧客への紹介を依頼した。

8. 本部諸会議への出席

(1) 地域ゼネラル連合

① 共済制度導入に向けた説明会

日 時／2024 年 10 月 2 日（水）11：00～

形 式／ZOOM による Web 参加

参加者／小野寺教文組織対策局次長

② 第 4 回地域ゼネラル連合創設準備会

日 時／2024 年 11 月 28 日（木）14：30～

場 所／連合会館 8 階三役会議室

参加者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

③ 第 5 回地域ゼネラル連合創設準備会

日 時／2025 年 1 月 9 日（木）10：00～12：00

場 所／連合会館 8 階三役会議室

参加者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

④ 第 6 回地域ゼネラル連合創設準備会

日 時／2025 年 3 月 26 日（水）10：00～
場 所／連合会館 3 階会議室
出席者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑤地域ゼネラル連合の統一共済制度説明会

日 時／第 1 回 2025 年 5 月 13 日（火）16：00～17：00
第 2 回 2025 年 5 月 20 日（火）10：00～11：00
参加者／組織対策局、各地域協議会地域ユニオン担当者

⑥第 7 回地域ゼネラル連合創設準備会

日 時／2025 年 5 月 28 日（水）14：00～
場 所／連合会館 8 階三役会議室
出席者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑦第 8 回地域ゼネラル連合創設準備会

日 時／2025 年 6 月 20 日（金）10：00～
方 式／連合会館 8 階三役会議室
出席者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

⑧地域ゼネラル連合創設に伴う建設系労組への対応に関する説明会

日 時／2025 年 8 月 21 日（木）11：00～12：00
形 式／ZOOM による Web 参加
内 容／①地域ゼネラル連合創設に伴う地方連合会に加盟している建設系労組への対応について、②地方連合会規約・規定の改正（モデル）について
出席者／小野寺教文組織対策局次長

⑨第 10 回地域ゼネラル連合創設準備会

日 時／2025 年 9 月 3 日（水）10：00～12：00
場 所／連合会館 3 階 A 会議室
内 容／①統一共済制度の運用開始に向けた対応状況について、②地域ゼネラル連合運営委員会の構成について、③ 2026 年度地域ゼネラル連合の取り組みの策定について
出席者／皆川洋仁組織対策局長、小野寺教文同次長

(2) (拡大) 組織委員会（※「拡大」時のみの参加のため、開催回数は連続しない）

①第 8 回（拡大）組織委員会

日 時／2024 年 10 月 7 日（月）13：30～
参加方法／Zoom による Web 参加
参加者／皆川洋仁組織対策局長

②第 9 回（拡大）組織委員会

日 時／2024 年 11 月 6 日（水）10：00～12：00
場 所／連合会館
出席者／皆川洋仁組織対策局長
内 容／集团的労使関係の強化・構築に向けた基盤整備の具体的な取り組みやオルガナイザー意見交換会の開催など、2025 年度の重点分野や基盤強化の取り組みについて本部より提起があった。
北海道からは、総合警備保障北海道支社ユニオンの組織化報告と、同様の事業継承を他府県で

も行われる可能性があることを述べ、情報の共有化を図った。また、就労系障害者福祉サービス報酬が下げられたことにより、全国の就労継続支援A型事業所、約300か所の閉鎖と5千人が解雇されている現状を述べ、地域に「連合」を浸透させる組織拡大に向けた取り組みとして、就労事業者労組も視野に入れる必要があると意見を述べた。

③臨時（拡大）組織委員会

日 時／2025年3月6日（木）16：30～17：30

場 所／連合会館8階三役会議室（WEB参加）

参加者／皆川洋仁組織対策局長

④第11回

日 時／2025年4月9日（水）13：30～15：30

場 所／連合会館8階三役会議室

参加者／皆川洋仁組織対策局長

⑤第13回（拡大）組織委員会

日 時／2025年8月1日（金）15：00～17：00

場 所／連合会館

内 容／①「2026～2027年度運動方針（素案）」について、②「連合組織拡大プラン2030 フェーズⅡ（たたき案）」について、③2026年度に実施する各種調査について、④地域ゼネラル連合創設に伴う地方連合会加盟の建設系労組への対応について、⑤2025年8月連合本部LINE労働相談の実施について

出席者／皆川洋仁組織対策局長

⑥第14回（拡大）組織委員会

日 時／2025年9月2日（火）13：30～15：45

場 所／連合会館3階 A・B会議室

内 容／①医薬化粧品産業労働組合連合会（略称：薬粧連合）の加盟について、②連合「組織拡大プラン2030」フェーズⅡ（素案）の策定について、③地域ゼネラル連合運営委員会の構成について、④2026年度活動計画について

出席者／皆川洋仁組織対策局長

（3）ホットライン事前学習会・労働相談情報共有会

①第28回労働相談情報共有会

日 時／2024年11月19日（火）13：30～16：00

参加方法／ZOOMによるWeb参加

参加者／産別地域協議会の労働相談担当者、組織対策局

内 容／1）講演「長時間労働について」（講師：厚生労働省 加納圭吾 室長）、2）情勢報告、3）意見交換、4）その他

②全国一斉集中相談ホットライン事前学習会・第29回労働相談情報共有会

日 時／2025年1月22日（水）13：30～16：00

形 式／ZoomによるWeb参加

内 容／1）講演：「解雇・雇止めに関する相談への対応について」、2）労働相談情報共有会、3）意見交換

参加者／組織対策局、産別・地域協議会の労働相談・組織化担当者、

③第 30 回労働相談情報共有会

日 時／2025 年 3 月 4 日（火）13：30～15：45

形 式／Zoom による Web 参加

内 容／1）学習会：「勤労者の相談支援業務の現実と使命～弱き者を慈しむという原点から、ハラスメント、ジェンダー等を読み解く～」2）情報共有会

④全国一斉集中労働相談ホットライン事前学習会・第 31 回労働相談情報共有会

日 時／2025 年 5 月 13 日（火）13：30～16：00

形 式／WEB 参加

内 容／1）講演：「改正育児・介護休業法」「改正次世代育成支援対策推進法」について

講師：連合本部 渡辺 茉奈ジェンダー平等・多様性推進局

⑤第 32 回労働相談情報共有会

日 時／2025 年 7 月 29 日（火）13：30～16：00

形 式／ZOOM による Web 参加

内 容／①学習会「年金制度改革および特定扶養控除について」、②労働相談の情勢報告

③労働相談ウォッチ、④労働相談ホットラインガイド

出席者／産別・地域協議会組織拡大担当者および労働相談担当者、組織対策局

⑥第 33 回労働相談情報共有会

日 時／2025 年 9 月 17 日（水）13：30～16：00

形 式／Zoom による Web 参加

内 容／①学習会「労働契約等解説セミナー」、②なんでも労働相談ホットライン 2025 年 8 月集計、③労働相談事例意見交換

（4）連合組織拡大推進会議

①第 1 回

日 時／2025 年 6 月 5 日（木）14：30～17：00

場 所／連合会館 3 階「A・B 会議室」

参加者／皆川洋仁組織対策局長

②第 2 回

日 時／2025 年 9 月 1 日（月）14：00～16：00

場 所／連合東京会議室

内 容／①「組織拡大プラン 2030」フェーズⅠの総括およびフェーズⅡの方針について、②フェーズⅡ提起までのスケジュールの確認

出席者／小野寺教文組織対策局次長

（5）ワークルール検定試験方式変更に関する説明会

日 時／2025 年 8 月 20 日（水）10：30～12：00

形 式／ZOOM による Web 参加

内 容／IBT 方式への変更内容を含む概要説明

出席者／小野寺教文組織対策局次長

9. 公職・諸会議への参加

(1) いのちの電話支援委員会理事会

日 時／2025 年 1 月 30 日（木）18：00～

出席者／皆川洋仁組織対策局長

(2) いのちの電話理事会

日 時／2025 年 3 月 15 日（土）10：30～

出席者／皆川洋仁組織対策局長

(3) いのちの電話理事会

日 時／2025 年 5 月 17 日（土）10：30～

出席者／皆川洋仁組織対策局長

(4) 「いのちの電話」総会

日 時／2025 年 5 月 31 日（土）15：00～

出席者／皆川洋仁組織対策局長

(5) いのち奏でるコンサート

日 時／2025 年 6 月 6 日（金）18：30～

場 所／日本基督教会札幌教会

出席者／皆川洋仁組織対策局長

Ⅱ. 組織拡大 添付資料はこちらから



Ⅲ．労働条件の改善と 働く者の権利確立

Ⅲ．労働条件の改善と働く者の権利確立

【総括と課題】

1. 格差是正をめざした中小労働運動及び地域の活動強化

「同一労働同一賃金」が事業所規模に関係なく全面適用となり、春季生活闘争や通年的な労使協議で雇用形態間等の格差是正に取り組んできた。今後もすべての働く者が生きがい・働きがいを通じて豊かに働くことのできるよう取り組みを進めなければならない。

地域ミニマム運動は、「地域において不合理な賃金格差を是正する」ことを目的に1995年から取り組んでおり、ミニマム運動を通じて、賃金分布など職場の賃金実態を的確に把握することができる。2025年は参加組合、参加組合員数が56組合・9,619人が参加し、平均賃金は271,040円となった。「同業他社、社会的水準等基礎資料」データとなるよう活用事例を周知するなどして、単組での集計結果の活用を促進し、より精度の高いデータとするために参加組合員数の拡大を図ることが必要である。

5月には地域の中小組合員を交えた研修と交流の場として、6年ぶりとなる「第16全道中小労働者研修交流会」を美瑛町で開催し、地域ミニマム運動の学習会や労使紛争の事例をテーマとして解決策をグループワーク形式で議論した。加えて、10月には「地域に根ざした顔の見える運動」としてあらゆる利害関係者が参加し、地域活性化について検討する「第7回地域活性化フォーラム」を網走地域協議会との共催で北見市で開催した。引き続き、広域な北海道における地域活性や中小組合員の底上げに向けて、研修や意見交換などネットワークづくりの取り組みを進める必要がある。

2. 最低賃金引き上げの取り組み

2025年度の北海道最低賃金は現行の1,010円から65円（目安額からプラス2円）に引き上がり、1,075円となった。（発効日は10月4日）。時間額表示に一本化された2002年以降、最高の引き上げ額となった。道内の消費者物価が高止まりしていることや連合北海道の春季生活闘争の賃上げ集計などの指標において、昨年以上の高水準の引き上げ額になっていること、地域間格差の是正などが勘案された。過去最高額となる目安にプラス2円での結審は影響率が全国平均より高い傾向にある北海道で全労働者の4人に1人以上が改善されることは評価できる。しかし最低賃金法第1条の「賃金の低廉な労働者の労働条件の改善を図る」を達成するための生活できる賃金水準や地域間格差是正の観点からすると十分な改定額とは言えない。今後は、改正される最低賃金の履行確保、法令遵守、更には緩和・拡充された「業務改善助成金」等、中小・小規模企業が賃上げしやすい環境整備にむけた政府施策の周知と確実な実施が必要である。

産別や地域には地方議会における意見書採択（審議会会長宛52議会）・審議会やマ場に向けたFAX行動（319組織）、集会などで審議を後方から支援いただいた。

3. 健康に安心して働き続けられる職場環境整備の取り組み

均等・均衡待遇の実現や時間外労働の上限規制などの働き方改革関連法に加えて、今年4月から順次施行された改正育児・介護休業法による両立支援の拡充や5月に公布された改正安全衛生法による全事業所でのストレスチェックの義務化などの職場環境整備が適切に職場に定着されるよう取り組まなければならない。

総合労働相談件数が過去最多を記録し、特に個別労働紛争を扱う労働審判への申立件数は高止まり傾向にある中、労働紛争の解決に際し、労働委員会委員、労働審判員のスキルアップが欠かせない。今年度は判例研究会を通年開催するなど、スキルアップに取り組んだ。

令和6年度の労働災害発生状況は死亡者数が過去最少となっているものの、休業4日以上死傷者数は4年連続で増加している。引き続き、労働災害・疾病、職業病の根絶に向け、北海道勤労者安全衛生センターと連携して取り組みを進め、過労死防止、ハラスメント対策、アスベスト対策等、職場の安全衛生と労働者の安全教育、職場点検活動が重要である。

1. 中小・パート労働対策の取り組み

(1) 第1回中小・パート労働条件委員会

日 時／2024年12月25日（火）13：30

場 所／ホテルポールスター札幌

議 題／①2025年度委員会委員の確認について

②2025春季生活闘争方針について

③第16回全道中小労働者研修・交流集会の開催について

(2) 第2回中小・パート共闘会議および第1回C部門（流通・食品・建設・一般）合同会議

日 時／2025年2月20日（木）15：00

場 所／ホテルポールスター札幌

議 題／①2025春季生活闘争 当面の取り組み（その1）

②産別要求状況 意見交換

③その他

(3) 第3回中小・パート共闘会議および第2回C・D・E部門連絡会 合同会議

日 時／2025年4月14日（月）13：30

場 所／ホテルポールスター札幌

議 題／①2025春季生活闘争・当面の取り組み（その3）について

②各産別妥結状況 意見交換

③地協闘争方針（地域の経済団体との懇談の場の設定、世論喚起を促す行動、組織強化）情報交換

(4) 第16回全道中小労働者研修・交流集会

日 時／2025年5月31（土）13：20～6月1日（日）9：40

場 所／森の雫 RIN（上川群美瑛町宇白金）

内 容／①開会・オリエンテーション

②主催者挨拶 奈良 中小パート労働条件委員長

③講演「地域ミニマム運動の必要性和地域最低賃金」について

講師：連合本部 労働条件・中小地域対策局 長江 部長

④ワークルール等出前講座

講師：北海道労働委員会 八代 公益委員（弁護士）

山崎 使用者委員（元北海道ガス 執行役員）

辻田 労働者委員（元連合北海道 次長）

⑤分散会・発表、⑥第27回参議院議員選挙候補予定者ビデオメッセージ

⑦総括・まとめ 金子 中小パート労働条件副委員長

参 加／61名（10産別・3地協・講師・事務局局）

(5) 2025地域ミニマム運動の取り組み（2024年度賃金実態調査）

データ数／9産別・2地協、55組合、9,619名が参加（前年54組合9,846人）

平均賃金／271,040円（前年256,378円）

2. 最低賃金に関する取り組み

(1) 最賃対策委員会

1) 第1回

【Ⅲ労働条件改善・資料1】

日 時／2024年12月23日（金）13：30

場 所／連合北海道会議室

議 題／① 2025年度対策委員会委員の確認について
② 2025年度最低賃金に関する取り組み方針（案）

2) 第2回

【Ⅲ労働条件改善・資料2】

日 時／2025年7月30日（月）16：00

場 所／NEU札幌ビル会議室

議 題／① 2025年度北海道地方最低賃金の取り組み経過報告
② 最低賃金をめぐる情勢について
③ 2025年度北海道の最低賃金の取り組み その1（案）

3) 第3回

【Ⅲ労働条件改善・資料3】

日 時／2025年9月25日（木）13：30

場 所／連合北海道会議室

議 題／① 2025に関する取り組み方針（その2）について
② 2025年度特定（産業別）最低賃金の対応について

(2) 2025年度北海道最低賃金改正等に関する要請

【Ⅲ労働条件改善・資料4】

日 時／2025年6月13日（金）15：00

場 所／札幌第1合同庁舎

出席者／連合北海道最賃対策委員会委員12名

対応者／足立労働基準部長、中川雇用環境・均等部企画課長、牧野労働基準部賃金室長、菅原労働基準部賃金室長補佐、小田桐労働基準部主任監察監督官

(3) 2025北海道最低賃金審議会ヤマ場に向けたFAX行動

期 間／7月14日（月）～30日（水）

対 象／全産別・単組、地協・地区連合、各青年・女性組織など

結 果／319組織

(4) 2025最低賃金審議会の動向に合わせた昼休み集会

日 時／2025年7月30日（水）12：15～（20分間）

場 所／第1合同庁舎前

内 容／①主催者あいさつ ②これまでの経過 ③方針確認 ④シュプレヒコール

参加者／60名

(5) 2025年度北海道最低賃金改正等に関する談話の発出

【Ⅲ労働条件改善・資料5】

(6) 2025年度全国の地域別最賃改訂状況

【Ⅲ労働条件改善・資料6】

(7) 2025年度北海道最低賃金改正に伴う周知街宣

日 時／2025年10月3日（金）12：00

場 所／札幌三越前
共 催／連合北海道石狩地域協議会
弁 士／金子副事務局長、山田組織労働局長、山口石狩地協事務局長

(8) 2025 年度特定最低賃金改定結果

	鉄 鋼	電 機	乳 糖	船 舶
金 額	1,165 円 (+65 円)	1,116 円 (+67 円)	1,113 円 (+65 円)	1,105 円 (+65 円)
発効日	2025.12.1	2025.12.1	2025.12.1	2025.12.1

(9) 連合北海道最賃情報の発行

【Ⅲ労働条件改善・資料 7】

第 1 号 (2025 年 7 月 31 日)、第 2 号 (2025 年 8 月 12 日)、第 3 号 (2025 年 10 月 14 日)

3. 第 8 回医療職場の意見交換会の開催

日 時／2025 年 5 月 30 日 (金) 13:30～17:00
場 所／ホテルライフオー ト札幌
次 第／①講演「令和時代の医療機関が生き延びていくために」
講師 藤田 晃 医療経営・医療労務管理アドバイザー
②意見交換 (全体討議)
参 加／9 病院労組 21 人・講師・事務局 7 名

4. ワークルールを確立する取り組み

(1) 判例研究会

1) 2024 年 11 月

日 時／2024 年 11 月 28 日 (木) 18:30

場 所／かでの 2.7

テーマ／アイグラフィックサービス事件

「業務委託契約終了にあたって、原告の労働者性が否定された例」

判 決／①労働契約法上の地位確認請求 棄却

②東京地裁 令和 5 年 3 月 2 日判決

発表者／概要：連合北海道 辻田 一浩 組織対策局次長

意見：北海道労働委員会 労働者委員 成田 了子 氏

前美唄市議・ライフサポート相談員 柴藤 政則 氏

2) 2024 年 12 月

日 時／2024 年 12 月 19 日 (木) 18:00

場 所／かでの 2.7

テーマ／社会福祉法人紫雲会事件

「嘱託職員の賞与・休暇等にかかるパート有期法違反該当性」

判 決／①損害賠償請求 一部認容 一部棄却

②宇都宮地裁 令和 5 年 2 月 8 日判決

発表者／概要：連合北海道 辻田 一浩 組織対策局次長

- 意見：1) 連合北海道道民運動局 次長 石田 敬雅 氏
2) 連合北海道組織労働局 次長 有山 恒太 氏

3) 2025 年 1 月

日 時／2025 年 1 月 16 日（木）18：30

場 所／かでの 2.7

テーマ／社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会事件

「職種限定合意成立時における配転の違法性」

判 決／①損害賠償等請求上告 一部破棄差し戻し

②最高裁 令和 6 年 4 月 26 日判決

発表者／概要：連合北海道 辻田 一浩 組織対策局次長

意見：元北海道労働委員会 使用者委員 土屋 善嗣 氏

元北海道労働委員会 事務局職員 福田 正彦 氏

4) 2025 年 2 月

日 時／2025 年 2 月 20 日（木）18：30

場 所／かでの 2.7

テーマ／司法書士はたの法務事務所事件

「契約期間の記載のない求人と無期雇用労働契約の成否」

判 決／①損害賠償請求 棄却

②札幌地裁 令和 5 年 11 月 22 日判決

発表者／概要：連合北海道 辻田 一浩 組織対策局次長

意見：前北海道労働委員会 労働者委員 馬場 修 氏

自治労全道庁労委支部 OB 大須田正美 氏

5) 2025 年 4 月

日 時／2025 年 4 月 15 日（木）18：30

場 所／かでの 2.7

テーマ／日本郵便（寒冷地手当・札幌）事件

「時給制契約社員に対する寒冷地手当不支給の旧労契法 20 条違反該当性」

判 決／①賃金請求 一部認容、一部棄却

②札幌地裁 令和 5 年 3 月 31 日判決

発表者／概要：元連合北海道 辻田 一浩

意見：北海道労働委員会 労働者委員・電機連合 片桐 秀人 氏

元北海道労働委員会 使用者委員 土屋 善嗣 氏

6) 2025 年 5 月

日 時／2025 年 5 月 20 日（木）18：30

場 所／かでの 2.7

テーマ／東光高岳事件

「吸収合併後の再雇用契約更新の成否」

判 決／①地位確認等請求控訴 棄却

②東京高裁 令和 6 年 10 月 17 日判決

発表者／概要：元連合北海道 辻田 一浩

意見：北海道労働委員会 労働者委員 成田 了子 氏

元北海道労働委員会 事務局職員 福田 正彦 氏

7) 2025 年 6 月

日 時／ 2025 年 6 月 17 日（火） 18：30

場 所／ NEU 札幌ビル 2 階会議室

テーマ／ アクセンチュア事件

「原告が履歴書および職務経歴書に真実と異なる記載をしたことを理由とした内定取り消しが有効か否か」

判 決／ ①地位確認等請求 棄却

②東京地裁 令和 6 年 7 月 18 日判決

発表者／ 概要：元連合北海道 辻田 一浩

意見：前北海道労働委員会 労働者委員 馬場 修 氏

自治労全道庁労委支部 OB 大須田正美 氏

8) 2025 年 9 月

日 時／ 2025 年 9 月 16 日（木） 18：30

場 所／ かでる 2.7

テーマ／ 社会福祉法人恩賜財団済生会事件

「格差是正を目的とした就業規則・給与規定変更の有効性」

判 決／ ①賃金未払い請求 棄却

②山口高裁 令和 5 年 5 月 24 日判決

発表者／ 概要：元連合北海道 辻田 一浩

意見：北海道労働委員会 労働者委員 三浦 和枝 氏

連合北海道 組織労働局次長 有山 恒太 氏

(2) 第 22 回労働審判員推薦委員会の開催

日 時／ 2025 年 9 月 26 日（金）

場 所／ 札幌ガーデンパレス

内 容／ 2026 年 4 月期（2026.4.1 ～ 2028.3.31）労働審判員選考について

構 成／ 産別：自治労、基幹労連、電力総連、UA センセン、JR 連合、情報労連

地協：石狩地協

連合北海道：事務局長、組織労働局長

(3) 2025 年度労使関係問題研究会総会

日 時／ 2024 年 12 月 13 日（金） 15：30

場 所／ 連合北海道会議室

出席者／ 辻田組織対策局次長、北海道労働委員会労働者委員 6 名

5. 就労支援・促進に関する取り組み

(1) 2025 インターンシップ生の受入れについて

日 時／ 2025 年 9 月 2 日（火）～ 5 日（金）

場 所／ 連合北海道会議室など

内 容／ 座学や職場視察など全 9 項目

参加者／ 2 名（札幌大学学生）

6. 関係組織・団体の取り組み

(1) 連合北海道金属機械部門連絡会関連

1) 第5回幹事会

日 時／2025年8月6日（月）～9日（木）

場 所／広島市内、北九州

内 容／①第5回幹事会②県内戦跡視察③長崎平和集会

出 席／有山組織労働局次長

(2) 連合北海道公務・公共サービス労働組合協議会関連

1) 第22総会

日 時／2025年3月25（金）18：00

場 所／北海道自治労会館

議 事／①2024年度経過報告および会計決算報告・監査報告

②2025年度活動方針（案）および予算（案）

③2025年度役員選出、新旧役員あいさつ

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長、組織労働局次長

7. 青年委員会の取り組み

【総括】

青年委員会では、「産別を越えた青年労働者の学習と交流」を柱にしながら、仲間づくり、運動の担い手育成、また、地区・地協との連携強化を目標に運動を進めてきた。長期にわたるコロナ禍によって、連合北海道青年委員会のみならず、多くの産別・単組の青年部運動・労働運動に大きな影響を与えている。そういったなかでも青年同士の横のつながりを意識し、対面やウェブを使いながら、多くの仲間との学習と交流を積み重ねてきた。

2月に開催した「スプリングフォーラム」では「春闘の役割」について学び、「自分たちの課題を他産別と協力しながら解決していきたい」「今後もたくさんの仲間を誘いながら集会に参加したい」という感想が出された。

また、6月に開催したSNT（須間会長とニューリーダートーク）では、連合推薦議員と意見交換や青年意識調査から、各産別で何ができるかを議論してきました。

労働者が抱える悩みや、職場で起きている問題は一朝一夕に解決するものではなく、連合北海道青年委員会が先頭に立って仲間同士の連帯・共闘の輪を拡大することが課題です。

職場の最前線で奮闘する青年労働者の生活の底上げ、安心して働き続けられる社会の実現にむけ、今後も仲間との実態討論の強化と地区・地協、産別、各種団体との連携を密にしながら、青年委員会の活動を強化していく。

(1) 第32回連合北海道青年委員会総会

日 時／2024年10月5日（土）13：00

場 所／ビジネスセンター赤れんが前

議 事／①議案審議 ②活動報告 ③役員選出

出 席／須間連合北海道会長

参 加／10産別5地区1地協・34人

概 要／長山青年委員長、須間連合北海道会長のあいさつの後、高校生平和大使の高佐安里さんから活動報告を受けた。

次に、佐々木副委員長より 2024 年度経過報告、活動総括および 2025 年度活動方針（案）を提起した。

全体討論では、自治労から「全道統一アンケートおよび総務省との意見交換」の取り組み、JR 総連からは「沖縄平和研修」の取り組み、北労金労組からは、「一年間の運動から青年部運動の前進について」など、各産別・地区から 8 本の発言があった。

最後に、長山青年委員長が「連合・産別・単組に結集する仲間は同じような課題や悩みを持っている。抱えている課題に対して、漠然と諦めるのではなく『どんな取り組みならできるのか』『どこまでならできるのか』を議論しあうことが、運動を前進させる一歩であり、担い手づくりにもつながってくる。また、働くものが主役となる社会の実現には、私たちの声を届けてくれる人を政治の場へ送ることが重要である。連合が推薦するすべての候補者の勝利にむけ、一団となって取り組んでいこう」と集約し、引き続き、役員選出を行い、長山青年委員長の団結ガンバローで終了した。

2025 年度青年委員会役員体制

委員長	長山 翔太	自治労	幹 事	入澤 奎輔	電力総連
副委員長	佐々木貴大	JR 総連	〃	和泉 圭太	電力総連
事務局 長	酒井 友希	北教組	〃	宮口 高虎	JP 労組
事務局次長	瀬尾 裕紀	情報労連	〃	熊谷 伶斗	運輸労連
幹 事	橋詰 拓也	全労金	〃	伝甫 直幸	北教組
〃	金子 純也	全労金			
〃	沼田 紀天	自治労			
〃	櫻庭 温大	JR 総連			

(2) 2025 スプリングフォーラムの開催

日 時／2025 年 2 月 24 日（月）13：00

場 所／北海道自治労会館

内 容／①講演：「春季生活闘争 闘争（春闘）の歴史（なぜ格差がひろがったのか？）」

講師：山田連合北海道組織労働局長

②産別報告、③グループディスカッション

参加者／8 産別 4 地区 2 地協・47 人

概 要／はじめに連合北海道青年委員会の長山青年委員長のあいさつの後、連合北海道山田新吾組織労働局長から講演があった。

続いて、ろうきん学習の後、グループディスカッションを行い、各参加者の生活・職場状況や春闘期で行った取り組みを報告しあいつつ、「なぜ、どうして」といった視点を交えながら議論の深堀を行った。

最後に、長山青年委員長から集約があり終了した。

(3) 須間会長とニューリーダーとの直接対話

日 時／2025 年 6 月 7 日（土）15：00～8 日（日）12：00

場 所／自治労会館・かでの 2.7

内 容／①講演：「政治闘争の必要性」

講師：須間連合北海道会長

②産別報告、③グループディスカッション

参加者／7 産別 27 人

概 要／はじめに長山青年委員長のあいさつの後、連合北海道・須間会長から講演と意見交換があった。続いて、高校生平和大使の取り組み報告、連合推薦議員とのトークセッションを行った後、連合が行った青年意識調査をもとに分散会を行い、それぞれが政治について思っていることや生活・職場の悩

みについてから、グループごとに「自分たちは何ができるか」を議論しました。最後に、佐々木副委員長から集約があり終了した。

(4) 幹事会

1) 第1回

日 時／2024年11月26日（火）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

議 題／①第32回総会総括について、②2025年度の活動方針について、③その他

2) 第2回

日 時／2024年12月19日（木）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

議 題／①スプリングフォーラムについて、②その他

3) 第3回

日 時／2025年1月23日（木）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

議 題／①スプリングフォーラムについて、②その他

4) 第4回

日 時／2025年2月24日（月）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

議 題／①スプリングフォーラムについて、②その他

5) 第5回

日 時／2025年4月24日（木）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

議 題／①スプリングフォーラムの総括について
②須間会長とニューリーダーとの直接対話（SNT）について
③青年意識調査について

6) 第6回

日 時／2025年5月29日（木）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

議 題／①須間会長とニューリーダーとの直接対話（SNT）について、②その他

7) 第7回

日 時／2025年8月28日（木）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

内 容／①須間会長とニューリーダーとの直接対話（SNT）について
②連合北海道青年委員会第33回総会にかかる議案作成について

8) 第8回

日 時／2025年9月24日（水）19：00

場 所／自治労会館（WEB併用）

議 題／①連合北海道青年委員会第33回総会にかかる議案作成について、②その他

8. 北海道退職者連合の取り組み

(1) 北海道退職者連合は、この一年間、第32回定期総会のメインスローガンにあるとおり「暮らしに安心を 未来に希望を」をめざして広範な運動に取り組んできました。運動の重点課題は、組織拡大・強化、連合北海道・労福協等との連携強化、高校生平和大使・1万人署名活動、北海道シニアの集い、ジェンダー平等などに取り組むことでした。

(2) 退職者連合の組織は、18産別集計で2.9万人、32地区退職者連合集計で2.7万人となっています。最重点課題である組織の拡大強化は、連合北海道との連携で現職組織への要請など進めてきました。しかし、現職組織の退職者数減少、定年年齢の延長、会員の高齢化に伴う減少傾向が続いています。道退連では2月～4月に組織拡大強化月間を設定し取り組みを進めてきました。しかし、会員数減少の歯止めがかからない状況が続いています。

また、石狩管内の地区退職者連合と連携し、石狩管内における自治退組織の結成に向けて取り組みを進めてきましたが、まだまだ多くの課題があることから、引き続き取り組みを進めていかなければなりません。

今後は、新たな地区・産別組織の加入や地区加盟組織の全道加入などに向け、地区連合・連合推薦議員などの協力、産別組織と連携して体制立て直しを進めていくことが重要です。さらに、地区退職者連合の組織の活性化を求めて取り組みを進めます。各ブロックごとの意見交換会は開催できなかったことから、今後はブロック単位の意見交換会を追求します。

組織拡大の取り組みの一つとして、「ふれあい北海道」を発行してきました。ほぼ毎月発行することで、道退連の取り組み報告やジェンダー平等、各地区退職者連合・産別退職者の会への訪問記事、高校生平和大使・1万人署名活動など会員へ報告してきました。また、地協・地区連合、各級議員へ送付していますが、それを活用して連携を進めるよう取り組みます。

(3) 2025年9月24日「2025北海道シニアの集い in ちとせー今!輝こうシニアー」を千歳市で開催しました。

第一部は、弦楽四重奏団による演奏、第二部は講演として「健康寿命とシニアの栄養学」（講師：千歳市保健福祉部保健師 広瀬あずみさん）、第三部はお楽しみ抽選会として、多くの会員が参加しました。また、多くの組織から後援をいただいたことに感謝いたします。

2026年は地区退職者連合と連携し開催地区を決定し取り組みを進めていきたいと考えます。

(4) 制度・政策要求は道退連と地区退職者連合が自治体議員と連携し、首長へ要請してきました。さらに、国会議員との意見交換については、衆議院議員が各選挙区に誕生したことから、1区～5区（札幌市・石狩管内地区退）、6区（旭川退）、12区（網走地区退・北見地区退）がそれぞれ議員との意見交換を行ってきました。

2026年度政策・制度要求は、9月4日北海道へ要請（保健福祉部対応）を行い、意見交換を行ってきました。

特に重点課題として、単身高齢者の身元保証、アビランスクエアに対する自治体の補助制度を重点課題として取り組みを進め、道議会議員・連合北海道と連携してきました。

今後は、第一次回答を受けて第二次重点要請を行い次年度の予算編成へつなげる取り組み、さらに多くの国会議員等との意見交換により、安心の社会づくりを取り組みます。

(5) 連合北海道と北海道退職者連合による高校生平和大使派遣実行委員会を設置し、「核兵器廃絶・世界の平和を目指す高校生平和大使派遣、高校生1万人署名・カンパ」の取り組みを進めてきました。

今年度も全道で署名やカンパ活動を通年で実施し、公募による2人の高校生平和大使を選出し、札幌市・北広島市における署名活動、広島市・長崎市での研修を行い、ジュネーブにある国連欧州本部などを訪問してきました。これからも若い世代に平和運動を継承していく取り組みを進めます。

今後も「核兵器の廃絶と平和な世界を目指す高校生1万人署名活動」を道退連として各地域での取り組みに積極的に関り、今後もしっかり支援します。

「被爆80年 高校生被爆ピアノコンサート」(2025.3.29-4.1開催)が高校生による実行委員会を立ち上げ、クラウドファンディングやカンパにより実施することができました。多くのみなさんによるご支援に感謝

します。

また、高校生平和大使による札幌市立宮の森中学校3年生に対する「平和授業」を実施しました。学校長やクラス担任の協力により、新たな取り組みとして次世代への継承となる内容で、学校長などからも評価をいただきました。

- (6) 10月27日第50回衆議院選挙の投開票が行われ、自公が過半数割れ、国民の審判は下されました。自公は215議席と15年ぶりに過半数を下回り、自民党が191議席、公明党が24議席、立憲民主党が148議席、国民民主党が28議席などとなり、北海道では小選挙区・比例と合わせて、20議席のうち13議席を確保することができました。

北海道退職者連合は2023年の幹事会で候補予定者の推薦決定を行い、連合北海道は2024年9月25日に連合北海道第50回衆議院議員選挙対策委員会を設置し、道退連会長・事務局長が役員として参加してきました。10月10日第32回道退連定期総会では各候補予定者へ推薦状を手渡し、勝利に向けて意思統一を行い、総決起の場としてきました。

推薦候補者を確認し解散総選挙までの期間はたくさんありましたが、結果として政治闘争の取り組みが動き始めたのは、2024年9月以降で、結果的に時間のない中となってしまいました。道退連は選対委員会を設置し、支持拡大の取り組みや定例のふれあい北海道だけでなく、ふれあい北海道号外を発行しましたが、取り組み期間が短いことから、すべての会員までの配布はできなかったことは反省をしなければなりません。第51回衆議院議員選挙は常在戦場として、すべての選挙区の推薦候補予定者を確認しました。今後想定される解散総選挙に向けてこれまでの取り組みをしっかりと総括し、政治の流れを変える運動を進めます。

- (7) 第27回参議院議員選挙は、立憲民主党現職勝部賢志議員、国民民主党公認鈴木まさきさんを推薦し取り組みました。勝部賢志議員は当選となりましたが、鈴木まさきさんについてはあと一步となりました。道退連として支持拡大の取り組みや比例候補との連携など、ふれあい北海道号外の発行を行ってきました。今後、連合北海道の総括を踏まえて道退連として総括議論を進めます。

- (8) ジェンダー平等の取り組みは、ジェンダー平等推進委員会とジェンダー平等ネットワーク会議が連携し、4月23日合同学習会を「認知症とともに寄り添い、自分らしく」として、坪井奈美子さん（保健師・介護支援専門員・認知症ケア専門士）を講師に招き開催しました。

また、ジェンダー平等推進委員会とジェンダー平等ネットワーク会議の二つの組織を統合し、より強固な取り組みを進めることを確認し、第33回定期総会運動方針で提起します。また、女性副会長の複数化についても議論を進めてきました。10月3日にはジェンダー平等集会（講師は皆川洋美弁護士、「ジェンダー平等」とは～弁護士の目から見るバックラッシュ～）の開催準備を進めています。

- (9) 選択的夫婦別姓の取り組みは、日本退職者連合による「選択的夫婦別の早期実現を求める」団体署名と連合本部による「選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願」署名活動を取り組みました。しかし、国会情勢により継続審議となったことから、今後もしっかり取り組みを進めなければなりません。

- (10) 2025年年金制度改革に向けて、社会保障審議会年金部会・医療保険部会における議論が本格化する中で、具体的な改革内容としては、次の点が検討されました。①基礎年金の拠出期間延長：基礎年金の拠出期間を延長することで、年金の水準向上を図る。②高年齢者在職老齢年金（高在老）の見直し：高齢期に働きながら年金を受け取る際の「在職老齢年金」について、見直しを行う。

③加給年金の廃止：加給年金の改革が議論されており、女性の特老厚（特別支給の老齢厚生年金）の支給開始年齢引き上げとともに、この制度の矛盾が加速していくことが課題。④遺族年金の有期化・ジェンダー平等化：遺族年金について、有期化やジェンダー平等化の観点から改革が検討されています。⑤マクロ経済スライドのフル適用：年金の給付額を経済状況に応じて調整する「マクロ経済スライド」のフル適用を検討。⑥年金課税の強化：年金課税についても改革が議論されており、課税の強化が検討。

このように、多くの課題や複雑な仕組みを学習するため、第3回四役会・第1回幹事会（2025.2.19）終了後に、日退連岩崎副事務局長を講師に「年金学習会」を開催してきました。

6月13日に成立した年金制度改革法案は2026年4月1日から施行されますが、まだまだ多くの課題あり今後とも注視していかなければなりません。

- (11) 労働福祉団体等の取り組みでは、各種会議において、北海道労働金庫・こくみん共済 coop 北海道推進本部・北海道共済会から講師を招いて学習を行うことや資料配布、ふれあい北海道にそれぞれ広告の掲載を行ってきました。今年度も「ろうきん友の会会員加入」「年金口座移管の取り組み」「自賠責加入予約の取り組み」を改めて提起し、大きな成果となっています。このため、次年度についても同様に取り組みの強化を進めていかなければなりません。また、旭川地区退職者連合は「第2回シニア文化作品展」をろうきん友の会との共催で開催されました。2回目の開催でしたが、出展者は地区退の事業に参加したことのない会員や友の会会員が出品するなど、より充実し活性化した取り組みとなりました。
- (12) 連合北海道との連携協力は、両組織の課題や運動方針などをすり合わせることで大きな力となります。そのために、意見交換会や組織拡大の要請、高校生平和大使派遣実行委員会の運営、政策委員会への参加、各種選挙闘争の連携などの取り組みにより大きな成果となりました。今後もしっかり連携し、より大きな成果を上げられるように進めます。

(1) 第 32 回定期総会

日 時／2024 年 10 月 10 日（木）13：00

場 所／札幌ガーデンパレス

内 容／①開会 ②議長団選出 ③総会設立宣言 ④会長挨拶 ⑤来賓挨拶
⑥報告事項 ⑦議案 ⑧総会スローガン ⑨総会宣言採択
⑩議長団解任 ⑪閉会

(2) 四役会・幹事会

1) 第 1 回四役会

日 時／2024 年 12 月 6 日（金）16：00

場 所／ほくろうビル 2F 会議室

議 題／①幹事の補充について ②当面する取り組み

2) 第 2 回四役会

日 時／2025 年 1 月 16 日（金）16：00

場 所／ホテルポルスター札幌 3F 多目的ホール

議 題／①連合北海道との意見交換について ②当面する取り組み

3) 第 3 回四役会・第 1 回幹事会 合同開催

日 時／2025 年 2 月 19 日（水）13：30

内 容／かでの 2・7

議 題／第 27 回参議院議員選挙について

4) 第 4 回四役会・第 2 回幹事会 合同開催

日 時／2025 年 5 月 9 日（金）11：00～

場 所／北農健保会館

議 題／①第 27 回参議院議院選挙について ②当面の取り組み

5) 第 5 回四役会

日 時／2025 年 8 月 21 日（木）13：00

場 所／かでの 2・7 540 会議室

議 題／①第 33 回定期総会に向けて ②北海道シニアの集い
③衆議院議員選挙候補予定者の推薦 ④その他

6) 第3回幹事会

日 時／2025年8月21日(木) 14:00

場 所／かでの2・7 540会議室

議 題／①第33回定期総会に向けて ②北海道シニアの集い
③衆議院議員選挙候補予定者の推薦 ④その他

7) 第6回四役会の開催について

日 時／2025年9月12日(金) 10:00

場 所／ほくろうビル5階会議室

議 題／①第33回定期総会に向けて
②北海道シニアの集い

(3) 2025年度組織代表者会議

日 時／2025年5月9日(金) 13:00～

場 所／北農健保会館

議 題／①第27回参議院議員選挙について
②ろうきん・こくみん共催 coop 運動の取り組み ③当面の取り組み

(4) ジェンダー平等推進委員会・ジェンダー平等ネットワーク会議

1) 第1回ジェンダー平等推進委員会・第1回ジェンダー平等ネットワーク会議幹事会

日 時／2024年11月25日(月) 13:30

場 所／ほくろうビル 2F 会議室

議 題／①ジェンダー平等集会総括 ②2025年の取り組み

2) 第2回ジェンダー平等推進委員会・第2回ジェンダー平等ネットワーク会議幹事会

日 時／2025年2月25日(火) 13:30

場 所／連合北海道会議室

議 題／2025年度の取り組み

3) 第3回ジェンダー平等推進委員会・第3回ジェンダー平等ネットワーク会議幹事会

日 時／2025年4月23日(木) 学習会終了後

場 所／連合北海道会議室

議 題／学習会総括

4) 第4回ジェンダー平等推進委員会・第4回ジェンダー平等ネットワーク会議幹事会

日 時／2025年7月30日(水) 13:30～

場 所／ほくろうビル 5階会議室

議 題／10.3 ジェンダー平等集会について

5) ジェンダー平等合同学習会

日 時／2025年4月23日(木) 13:00

場 所／連合北海道会議室

内 容／合同学習会

基調講演「認知症を取り巻く情勢について」(仮)

講師 社会福祉法人 西平和会

保健師・介護支援専門員・認知症ケア専門員 坪井 奈美子 さん

(5) その他

1) 連合北海道、北海道退職者連合 懇談会

日 時／2025 年 1 月 16 日（木）16：30

場 所／ホテルポールスター札幌 3F「多目的ホール」

内 容／①開会 ②代表あいさつ③両組織の主要な運動提起

連合北海道 第 27 回参議院議員選挙について

退職者連合

①組織強化拡大の取り組みについて

②第 50 回衆議院議員選挙の取り組み

③高校生被爆ピアノコンサートの取り組み

2) 年金学習会

日 時／2025 年 2 月 19 日（水）15：00

場 所／かでの 2・7

講 演／「2025 年度年金改正について」（仮）

講 師／岩崎 長久 日本退職者連合副事務局長

3) 第 3 回役員選考委員会

日 時／2025 年 7 月 1 日（火）15：00

場 所／カナモトホール（札幌市民ホール）2F 第 6 会議室

議 題／第 33 回定期総会に向けて

4) 第 4 回役員選考委員会

日 時／2025 年 8 月 8 日（金）15：00

場 所／ほくろうビル 5 階会議室

議 題／第 33 回定期総会に向けて

5) 2026 年度政策・制度要求道への要請

日 時／2025 年 9 月 4 日（木）13：30

場 所／北海道保健福祉部 次長室

6) 「2025 北海道シニアの集い in ちとせ 今!輝こうシニア」

日 時／2025 年 9 月 24 日（水）13：00～15：40

場 所／千歳北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

内 容／①開会

②主催者あいさつ 北海道退職者連合 会長 峯後 樹雄 氏

③開催地区代表あいさつ 千歳地区退職者連合 会長 石野 正信 氏

④来賓あいさつ

⑤演奏会 弦楽四重奏 モデラート弦楽四重奏団

⑥講演 「健康寿命とシニアの栄養学」

講師 千歳市保険福祉部 保健師 広瀬あずみ 氏

⑦おたのしみ抽選会 ⑧閉会

9. 北海道勤労者安全衛生センターに関する取り組み

(1) 理事会

1) 2024 年度

－第2回－

日 時／2024 年 12 月 3 日（火）15：00

場 所／連合北海道会議室

議 事／①北海道労働局と産別で休業4日以上の方災が発生する件数が多い業種との意見交換について
②「2024 年度ハラスメント防止に関わるアンケート調査」について
③ 2025 年度総会に日程等について
④第 28 回全道セーフティネットワーク集会について

－第3回－

日 時／2025 年 4 月 2 日（水）15：30

場 所／連合北海道会議室

議 事／① 2025 年度総会日程等について
②第 28 回全道セーフティネットワーク集会について

－第4回－

日 時／2025 年 6 月 3 日（火）16：00

場 所／連合北海道会議室

議 事／① 2025 年度総会について（議案検討）
②第 28 回全道セーフティネットワーク集会について

(2) 2025 年度通常総会

日 時／2025 年 6 月 20 日（金）15：00

場 所／北海道自治労会館 3 階「中ホール」

議 事／① 2024 年度活動報告（案）、会計決算報告（案）、会計監査報告（案）
② 2025 年度活動方針（案）、活動予算（案）、会費（案）
③ 2025 年度役員体制（案）

北海道勤労者安全衛生センター 2025 年度役員体制

理事長	萩原 光典	連合北海道
副理事長	金子 ユリ	連合北海道
副理事長	高倉 司	北海道労働福祉協議会
専務理事	山田 新吾	連合北海道
事務局長理事	木下 真一	連合北海道
監事	柴野 一彦	北海道住宅生協
監事	植田 竜司	全水道

(3) 第 28 回全道セーフティネットワーク集会

日 時／2025 年 6 月 20 日（金）16：30

場 所／北海道自治労会館（WEB 併用）

内 容／①開会
②講演：「カスタマーハラスメントによるメンタルヘルスへの影響を考える
～ 2024 年度カスタマーハラスメントアンケート調査結果からの考察～」

講師：桐生 正幸 氏 東洋大学社会学部心理学科 教授
ココロバランス研究所理事

参加者／80名（オンライン参加含め）

（4）全国産業安全衛生大会

1）第83回大会 in 広島

日 時／2024年11月13日（水）～15日（金）

場 所／広島県立総合体育館

主 催／中央労働災害防止協会

内 容／①総合集会、②基調講演、③分科会

参 加／山田組織労働局局长

2）第84回大会 in 大阪・近畿

日 時／2025年9月10日（月）～12（日）

場 所／インテックス大阪・ATCホール

主 催／中央労働災害防止協会

内 容／①総合集会、②基調講演、③分科会

参 加／有山組織労働局次長

（5）9.10 世界自殺予防デー電話相談周知街宣行動

日 時／2025年9月12日（月）12：30

場 所／札幌三越前

参 加／組織労働局

10. 本部諸会議への出席

（1）2024 春季生活闘争・中央討論集会

日 時／2024年11月1日（金）13：00

場 所／アートホテル日暮里ラングウッド（web 併用）

内 容／①基調講演Ⅰ「2025 春闘の課題－労使関係の正常化－」

②基調講演Ⅱ「日本経済の現状と見直し」

③基本構想策定に向けた各委員会の討議報告

④基本構想提起 ⑤全体討論

出席者／和田事務局長、金子副事務局長、組織労働局

（2）2025 春季生活闘争（案）説明会（地方連合会向け）

日 時／2024年11月22日（金）13：30

場 所／web 開催

内 容／2025 春季生活闘争（案）の説明

出 席／金子副事務局長、各局長、組織労働局

（3）2025 春季生活闘争格差是正フォーラム

日 時／2024年12月4日（水）14：30

場 所／東商渋谷ホール（web 併用）

内 容／①主催者あいさつ ②中小企業庁報告 ③公正取引委員会報告、

- ④厚生労働者報告 ⑤日本商工会議所報告 ⑥構成組織報告
⑦まとめ

出席者／金子副事務局長、組織労働局

(4) 第4回全国最低賃金対策会議

日 時／2024年12月9日（月）15：30

場 所／連合会館（WEB併用）

議 題／①2024年度最低賃金取り組み報告

②2025最低賃金取り組み方針（案）

出席者／金子副事務局長、組織労働局

(5) 「2025 連合白書」説明会

日 時／2025年1月16日（木）11：00

場 所／WEB開催

内 容／2025連合白書の解説

出席者／各局長、組織労働局

(6) 公務労協方針等の地方代表者説明会

日 時／2025年1月29日（水）13：30

場 所／連合会館

内 容／2025春季生活闘争方針の取り組みと具体化について

出席者／有山組織労働局次長

(7) 「同一労働同一賃金」学習会

1) 第1回

日 時／2025年1月24日（金）10：30

場 所／連合会館（WEB併用）

内 容／講演「法整備を踏まえた非正規雇用で働く労働者の現状と課題」

講師 前浦 穂高 労働政策研究・研修機構副主任研究員

出席者／組織労働局

2) 第2回

日 時／2025年2月13日（金）10：30

場 所／連合会館（WEB併用）

内 容／講演「派遣労働者の均等・均衡待遇規定の内容と課題等」

講師 沼田 雅之 法政大学法学部教授

出席者／組織労働局

3) 第3回

日 時／2025年3月18日（金）13：30

場 所／連合会館（WEB併用）

内 容／講演「パートタイム労働者・有期雇用労働者の均等・均衡待遇規定の内容と課題等」

講師 原 雅登 成蹊大学法学部教授

出席者／山田組織労働局長

(8) 2025 春季生活闘争 4.4 中小組合支援共闘推進集会

日 時／ 2025 年 4 月 4 日（金） 14：30

場 所／日本教育会館（WEB 併用）

議 題／① 3 月内決着回答ゾーン集計結果について

② 構成組織からの取り組み報告について ③ 決意表明

出席者／山田組織労働局長

(9) ビジネスと人権に関する学習会

日 時／ 2025 年 4 月 22 日（火） 15：00

場 所／ WEB 開催

議 題／① 講演「職場の人権をめぐる世界の潮流と連合の取り組み」

講師 則松 佳子 連合副事務局長

出席者／荒木副事務局長、有山組織労働局長

(10) 第 1 回労働法制担当者会議

日 時／ 2025 年 4 月 24 日（木） 10：00

場 所／連合会館（WEB 併用）

内 容／① 講演「働き方改革の現在地」

講師 水町 勇一郎 早稲田大学法学部教授

② 連合報告「労働関係法令の改正動向について」

③ 構成組織・地方連合会報告

情報労連「つながらない権利に関する取り組み」

連合兵庫「過半数代表制をめぐる政労使の取り組み」

出席者／有山組織労働局次長

(11) 公務員連絡会 2025 人勧期方針説明会

日 時／ 2025 年 6 月 2 日（月） 13：30

場 所／連合会館

議 題／① 公務員連絡会 2025 人勧期方針について

② 地方公務員部会 2025 年春季生活闘争期の経過と人事院勧告期を視野に入れた人事院勧告期の取り組みについて

出席者／有山組織労働局次長

(12) 第 1 回春季生活闘争勉強会

日 時／ 2025 年 6 月 3 日（火） 11：00

場 所／連合会館（web 併用）

内 容／講演「韓国の労使関係と賃金について」

講師 呉学殊 労働政策研究・研修機構特任研究員

出席者／山田組織労働局長

(13) 第 2 回全国労働条件・中小労働担当者会議

日 時／ 2025 年 6 月 9 日（月） 14：00

場 所／ web 開催

内 容／① 2025 地域ミニマム運動報告

② 2026 地域ミニマム運動の進め方（案）

出席者／有山組織労働局次長

(14) 第2回春季生活闘争勉強会

日 時／2025 年 6 月 11 日（水）11：00

場 所／連合会館（web 併用）

内 容／講演「韓国における最低賃金の現状と今後の課題」

講師 金 明中 ニッセイ基礎研究所生活研究部上席研究員

出席者／山田組織労働局長

(15) 第5回全国最低賃金対策会議

日 時／2025 年 6 月 11 日（水）14：30

場 所／web 開催

内 容／①産別・地方連合会取り組み報告

②2025 年度中央最低賃金審議会及び目安小委員会に挑むにあたって

出席者／金子副事務局長、山田組織労働局長

(16) 第6回全国最低賃金対策会議

日 時／2025 年 8 月 1 日（金）9：30

場 所／web 開催

内 容／令和7年度地域別最低賃金金額改定の目安について

出席者／山田組織労働局長

(17) 2025 人事院勧告等の地方連合担当者説明会

日 時／2025 年 8 月 22 日（金）13：30

場 所／TKP ガーデンシティプレミアム秋葉原

議 題／①2025 人事院勧告・報告の内容について

②意見交換

出席者／有山組織労働局次長

11. 公職諸会議への出席

(1) 最低賃金審議会関連

1) 令和7年度北海道地方最低賃金審議会

－第1回－

日 時／2025 年 7 月 14 日（月）14：00

場 所／TKP 札幌駅カンファレンスセンター

議 事／①北海道地方最低賃金審議会会長及び会長代理の選任

②北海道地方最低賃金審議会運営規則等について

③北海道最低賃金の改正諮問について

④事業場実施視察について

⑤特定最低賃金の意見表明状況について

出席者／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第2回－

日 時／2025 年 7 月 30 日（水）10：00

場 所／TKP 札幌駅カンファレンスセンター

議 事／①中央最低賃金審議会における目安の答申について

- ②北海道最低賃金の改正決定に係る意見聴取について
- ③北海道地方最低賃金審議会専門部会委員の任命について
- ④特定最低賃金改正に係る必要性の有無の諮問について

出席者／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第3回－（答申）

日 時／2025年8月8日（月）14：00

場 所／TKP 札幌駅カンファレンスセンター

議 事／①北海道最低専門部会の審議報告について

②北海道最低賃金の改正決定について

③特定最低賃金の改正決定に係る必要性の有無について

④特定最低賃金の改正決定の諮問について

出席者／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第4回－（異議審）

日 時／2025年8月26日（火）10：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 事／①北海道最低賃金の改正に係る審議会の意見に対する異議申出について

②その他

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

2）令和7年度北海道最低賃金審議会専門部会

－第1回－

日 時／2025年7月30日（水）13：30

場 所／札幌第1合同庁舎

議 事／①専門部会部会長及び同代理の選出について

②専門部会運営規則等について

③関係労働者（参考人）からの意見聴取について

出席者／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第2回－

日 時／2025年8月1日（金）14：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 事／①専門部会運営規則第6条について

②北海道最低賃金の改正に係る労使の意向表明について

③北海道最低賃金の改正決定の審議について

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第3回－

日 時／2025年8月5日（火）14：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 事／①中央最低賃金審議会における目安の答申について

②北海道最低賃金の改正決定の審議について

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第4回－

日 時／2025 年 8 月 6 日（水）13：30

場 所／札幌第1 合同庁舎

議 事／①中央最低賃金会長からのメッセージ

②北海道最低賃金の改正決定の審議について

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第5回－

日 時／2025 年 8 月 7 日（金）9：30

場 所／札幌第1 合同庁舎

議 事／①北海道最低賃金の改正決定の審議について

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

－第6回－

日 時／2025 年 8 月 8 日（金）10：00

場 所／札幌第1 合同庁舎

議 事／①北海道最低賃金の改正決定の審議について

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

3）北海道地方最低賃金審議会労働者代表委員

藤田鉄平（UA ゼンセン）、渡辺謙一（JP 労組）、入江健太郎（フード連合）、金子ユリ（連合北海道）、山田新吾（連合北海道）

4）2025 年度北海道特定（産業別）最低賃金専門部会開催状況

業種	第 1 回	第 2 回	第 3 回
鉄鋼	9 月11日（木）15：00	9 月24日（水）13：30	10月 1 日（水）15：00
乳糖	9 月 8 日（月）15：00	9 月12日（金）15：00	10月 2 日（木）15：00
電機	9 月 8 日（月）13：30	9 月29日（月）15：00	
船舶	9 月 2 日（火）15：00	9 月17日（水）10：00	9 月25日（木）10：00

5）2025 年度特定最賃専門部会委員

業種	本審委員	産業別委員	
鉄鋼	山田 新吾（連合北海道）	西 良太（基幹労連）	幅田 尚之（JAM 北海道）
電機	金子 ユリ（連合北海道）	片桐 秀人（電機連合）	村川 哲広（電機連合）
乳糖	入江 健太郎（フード連合）	井上 大作（フード連合）	宮崎 圭（フード連合）
船舶	藤田 鉄平（UA ゼンセン）	加賀屋 進（全造船）	橋本 康憲（全造船）

(2) 北海道労働審議会

1）令和 6 年度第 1 回

日 時／2024 年 12 月 4 日（水）10：00

場 所／北海道第 2 水産ビル

議 事／①会長・会長代理の選任について、②部会委員の選任について

③北海道カスタマーハラスメント防止条例の指針について

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

2) 令和6年度第2回

日 時／2025年1月27日（水）15：00

場 所／北海道第2水産ビル

議 事／①北海道カスタマーハラスメント防止条例に係る指針について

②次期「今後の高等技術専門学院の運営方針」の策定について

出 席／金子副事務局長、山田組織労働局長

3) 令和7年度第1回職業能力開発部会

日 時／2025年5月19日（月）14：00

場 所／MONO テク札幌

議 題／①MONO テク札幌の訓練視察

②次期「今後の高等技術専門学院の運動方針」の策定について

出席者／山田組織労働局長

(3) 北海道地方労働審議会

1) 令和6年度第1回

日 時／2024年11月8日（金）10：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 題／令和6年度行政運営方針に基づく労働施策の進捗状況について

出席者／金子副事務局長、山田組織労働局長、菊池女性委員会事務局長

2) 令和6年度第2回

日 時／2025年3月7日（金）10：00

場 所／京王プラザホテル

議 題／令和7年度行政運営方針（案）について

出席者／金子副事務局長、山田組織労働局長、菊池女性委員会事務局長

(4) 令和6年度労使関係セミナー

日 時／2024年10月1日（火）13：30

場 所／かでる2.7

議 事／①講演「職種・勤務地限定社員に対する解雇・雇止め・退職勧奨について」

講師 渡邊 絹子 中央労働委員会東日本区域地方調整委員

筑波大学ビジネスサイエンス系准教授

②事例紹介「道内における労働問題に関する労使紛争事例」

発表 山下 史生 北海道労働委員会公益委員

片桐 秀人 北海道労働委員会労働者委員

佐々木八起 北海道労働委員会使用者委員

参 加／組織労働局

(5) 令和6年度第1回北海道職業病対策懇談会

日 時／2024年10月22日（火）9：30

場 所／道庁本庁舎

内 容／①講話「室内空気質とシックハウス症候群」

②関係機関からの情報提供及び意見交換

出席者／山田組織労働局長

(6) 令和6年度北海道若年者雇用問題検討会議

日 時／2024年10月30日（水）10：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 事／①新規学卒者及びフリーター等若年失業者の就職支援について

②新規学卒者及び若年者に係る職業訓練支援について

③各種団体・機関等における各種取り組みの現状について

④意見交換

出 席／金子副事務局長

(7) 北海道労働局安全衛生労使専門家会議

1) 令和6年度第2回

日 時／2024年12月2日（月）10：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 題／①各課から令和6年度状況等説明及び対策等について

②各委員からのご意見・ご要望等

出席者／山田組織労働局長

2) 令和7年度第1回

日 時／2025年5月29日（木）10：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 題／①令和7年度における労働基準行政の推進について

②令和7年度における安全確保対策について

③令和7年度における健康確保対策について

④各委員からのご意見等

出席者／山田組織労働局長

(8) 北海道独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 関連

1) 北海道独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会

－令和6年度第2回－

日 時／2025年2月17日（火）14：00

場 所／北海道職業能力開発促進センター

議 題／①令和6年度事業実施状況について

②北海道訓練計画専門部会の報告について

③令和7年度職業能力開発事業実施計画について

④各施設部会の報告について

出席者／金子副事務局長

－令和7年度第1回－

日 時／2025年8月26日（火）14：00

場 所／北海道職業能力開発促進センター

議 題／①令和6年度事業実施状況について

②令和7年度事業計画及び進捗状況について

③各施設部会の報告について

出席者／金子副事務局長

2) 北海道職業能力開発大学校（北海道ポリテクカレッジ）部会

－令和6年度第2回－

日 時／2025年1月23日（木）13：30

場 所／北海道職業能力開発大学校

議 題／①令和6年度の高度技能者養成のための職業訓練の実施

②令和6年度の在職者を対象とする職業訓練及び事業主等との連携

③令和7年度の業務運営方針・主要事業の目標値について

④校内視察

出席者／山田組織労働局長

－令和7年度第1回－

日 時／2025年7月10日（木）10：00

場 所／北海道職業能力開発大学校

議 題／①令和6年度の高度技能者養成のための職業訓練の実施

②令和6年度の在職者を対象とする職業訓練及び事業主等との連携

③令和7年度の業務運営方針・主要事業の目標値について

出席者／山田組織労働局長

3) 令和6年度第2回 北海道訓練計画専門部会

日 時／2024年12月9日（月）10：30

場 所／北海道職業能力開発促進センター

議 題／①令和6年度訓練の実施状況について

②令和7年度訓練の実施計画について

出席者／山田組織労働局長

(9) 北海道政労使会議 関係

1) 北海道政労使会議担当者会議

日 時／2024年12月13日（金）14：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 事／①政労使会議のスケジュール及びメッセージの発出内容提案について

②意見交換

出 席／山田組織労働局長

2) 北海道政労使会議

日 時／2025年1月22日（水）10：30

場 所／札幌ビューホテル大通公園

議 題／①行政からの施策等説明

（北海道労働局、北海道経済産業局、公正取引委員会事務総局北海道事務所）

②構成員発言（使用者団体、労働団体、金融機関）

③意見交換

④共同宣言（案）について

出席者／須間会長（随行：山田組織労働局長、有山組織労働局次長）

3) 北海道政労使会議担当者会議

日 時／2025年6月2日（月）13：30

場 所／札幌第1合同庁舎

議 事／①「共同宣言」のあり様について

②意見交換

③次回政労使会議開催予定日と次回担当者開催予定日について

出 席／山田組織労働局長

(10) 令和6年度第2回北海道地域職業能力開発促進協議会

日 時／2025年2月26日（水）14：00

場 所／書面開催

議 題／①公的職業訓練の令和6年実施状況について

②令和7年度北海道地域職業訓練実施計画（案）の策定について

(11) 第3回北海道パートナーシップ構築宣言普及促進会議

日 時／2025年3月27日（火）10：00

場 所／札幌第1合同庁舎

議 題／①パートナーシップ構築宣言に係る取組状況等について

②価格転嫁の課題、実効性確保に向けた取り組み等の意見交換

③今後の取り組み

出席者／山田組織労働局長

(12) 令和7年度地域活性化雇用創造プロジェクト北海道事業協議会

日 時／2025年7月29日（火）10：00

場 所／第二水産ビル 3S会議室

議 題／①令和4～6年度「地域活性化雇用創造プロジェクト事業」実績

②令和7～9年度「地域活性化雇用創造プロジェクト事業」実績

③講演「北海道雇用労働センターの紹介と進出・創業企業の相談事例」（仮）

講師 木村 彰夫 有限責任監査法人トーマツ札幌事業所パートナー公認会計士

④意見交換

出 席／山田組織労働局長

(13) 令和7年度北海道中高年世代活躍応援プロジェクト協議会の開催

日 時／2025年7月29日（火）14：00～16：00

場 所／TKP 札幌駅カンファレンスセンター ホール3B

ベルビュオフィス札幌3階

議 事／①北海道就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画における令和6年度の取組状況について

②令和7年度北海道中高年世代活躍応援プロジェクト協議会事業実施計画の策定について

③令和7年度北海道中高年世代活躍応援プロジェクト協議会における取組方針について

④意見交換

出 席／金子副事務局長

(14) 第21回 北海道トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

日 程／2025年8月18日（月）13：30～15：30

場 所／公益社団法人北海道トラック協会 4階会議室

議 題／①令和6年度地方協議会の活動報告

②公益社団法人北海道トラック協会からの説明事項「2024年問題等に対する取組について」

③公正取引委員会事務局北海道事務所からの説明事項「改正下請法について」

- ④経済産業省北海道経済産業局からの説明事項「取引適正化の取組について」
- ⑤農林水産省北海道農政事務所からの説明事項「未定」
- ⑥厚生労働省北海道労働局からの説明事項「荷主等に関する取組について」
- ⑦国土交通省北海道運輸局からの説明事項「物流改正法について」
- ⑧その他「モーダルシフト実証事業について」

出 席／金子副事務局長

Ⅲ. 労働条件 添付資料はこちらから



IV. 暮らしの安心と社会的 公正を確立する政策制度 実現の取り組み

IV. 暮らしの安心と社会的公正を確立する政策制度実現の取り組み

【総括と課題】

1. 政策制度実現に向けた取り組み

(1) 2025 年度予算等に向けた取り組み

「2025 年度道政に対する要求と提言」については、2024 年 8 月に要請書を手交し、1 次回答を経て 10 月 17 日に対道交渉（意見交換）を実施し、30 項目で意見交換を行いました。また、ラピダスの北海道進出に係る課題 6 項目についても意見交換を実施しました。それぞれの課題の所管部である経済部、総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、農政部、教育庁に対応頂きました。北海道の予算・施策に対して意見反映を行う貴重な場ですので、引き続き、産別・地協の協力のもと、現場や地域の具体的な実態を把握しながら取り組みを進めていくことが求められます。

(2) 2026 年度予算等に向けた取り組み

- ① 2025 年 1 月に第 1 回政策委員会を開催し、今年度の政策・制度実現に向けた「取り組みの基本方針」（案）を提起・確認しました。昨年同様、連合北海道として目玉となる労働政策の項目に、ディーセントワークの実現を項目建てして、1) 2024 年に成立した主な法律、2) 2025 年に施行される主な法改正の課題を基本方針に盛り込み、課題の解決をめざす方針を組み込んだことについては産別からも評価を頂きました。また、2026 年度「要求と提言」の策定作業の進め方については、昨年同様、3 月 25 日に「2026 年度政府予算に対する要求と提言」（たたき台）を提示し、また、4 月 16 日に「2026 年度道政に対する要求と提言」（たたき台）を示し、各産別・地協からの政策提言やヒアリングをもとに集約し、5 月の第 2 回政策委員会において「2026 年度政府予算への要求と提言」（案）を提起し、また、7 月の第 3 回政策委員会において、「2026 年度道政に対する要求と提言」（案）を提起し、それぞれ議論を踏まえた後、執行委員会において成案化しました。昨年から全体のスケジュールを早めたことから、産別、地協からの提言内容を吟味する時間が確保され、「要求と提言」をより一層ブラッシュアップすることができました。また、連合北海道結成 35 年目にして初めて、「要求と提言」の内容をより詳しく説明した解説を作成することができ、「要求と提言」の内容を、政府・道に対して主張することが出来た点は次年度以降にも引き継ぐべきものであると考えます。
- ② 2025 年 8 月に、「2026 年度政府予算に対する要求と提言」中央要請行動を実施し、連合北海道国会議員団 15 名および 14 府省庁へ 12 分野 140 項目におよぶ要請書を提出しました。また、6 省庁に対し、1) スマート農業と農業・農村づくりの推進、2) 国際観光旅客税を財源とした観光地の駐車場整備や空港における出入国や手続きの効率化、3) フェリー旅客船の維持・存続に向けた支援、4) 買い物や通院に伴う交通インフラの整備・支援、5) 高レベル放射性廃棄物最終処分場の選定、6) カリキュラムオーバーロードや教職員の多忙化解消のための学習指導要領の見直し、7) 保育士の配置基準の見直しと保育士に処遇改善手当がつながるルール等の構築、8) 訪問介護の基本報酬見直しと介護報酬上の 2 人以上訪問加算への支援、9) 誰もが安心して受けられる地域医療の確保に向けた財政支援や診療報酬の改善など、39 項目の重要課題を取り上げ、国会議員団 15 人の参加のもと意見交換を実施し、政策実現を迫った結果、一部課題について我々の指摘を認識させることができました。引き続き、連合北海道国会議員団と連携して、職場・地域の課題の前進・解決が図られるよう粘り強く求めていく必要があります。
- ③ 「2026 年度道政に対する要求と提言」は、2025 年 8 月に要請書を手交し、1 次回答を経て 10 月 16 日に対道交渉（意見交換）を実施、意見交換を行い、道に対して課題の実現や国に対する働きかけなどを求めました。また、昨年単独で提出した「ラピダスの北海道進出に係る北海道に対する要請書」を「要求と提言」の中に組み込み提出しました。要請書は、連合北海道の構成組織、地域協議会からの声を踏まえて働く者の立場や生活者の視点として、労働環境、人材確保、交通をはじめとした 9 分野の課題を解決するよう求めたものです。特に、IIM-1（第 1 工場）建設工事で明らかとなった、労働環境のうち、関連社屋の工期や設備等の納期が厳しい日程で進められていることを指摘し、過重労働とならないよう労働基準監督署との連携を図るよう求めてきました。

④ 各地協・地区連合の取り組みについては、8月の第9回執行委員会にて、「2026年度市町村予算に関する要求と提言」のモデル文（75項目）を確認し、予算編成前の9月～11月を目途に自治体要請を実施しました。モデル文は、昨年実施した「自治体実態調査」の結果も一部反映し、特に国や道に対する働きかけ内容（51項目）は、連合北海道として既に要請行動（国は8月6～7日、道は10月16日）を行っている課題であり、各自治体と連携し課題の解決をめざしていくことが例年と違う取り組みであります。また、「市町村予算に関する要求と提言」も、政府予算及び道政に対する「要求と提言」と同様、内容をより詳しく説明した解説を作成することができ、「要求と提言」の内容を、市町村に対して主張することが出来た点は次年度以降にも引き継ぐべきものであると考えます。

⑤ 昨年度、初めての試みとして、道内市町村を対象とした「自治体への実態調査」（回答数135市町村、回収率75.4%）を活用し、「2026年度の要求と提言」、中央要請行動や対道交渉（意見交換）、各種審議会、連合本部の重点政策討論集会などの場において道内市町村の実態を訴えることができました。この調査は、単なる調査ではなく、市町村自治体の厳しい実態を国や道に対して訴えていくための極めて重要な調査であり、数年に一度ブラッシュアップしていく必要があると考えます。

引き続き、連合北海道・地域協議会・地区連合は、課題の改善に向けて、各市町村と連携しながら国や道に対する働きかけを強めていくことが重要であると考えます。

⑥ 連合北海道国会議員団会議との連携では、今年の中央要請行動に道内選出国會議員16人中15人が参加し、6省庁に対する要請行動への後ろ盾となりました。「2026年度政府予算に対する要求と提言」140項目に対する文書回答を2年連続で得ることが出来たことも、国会議員団との連携の効果の表れであるといえます。

また、道政に関しては、年4回の道議会開会時期に道議会民主・道民連合との連携会議や政策協議、加えて北海道結志会との意見交換を開催し、連合北海道の「要求と提言」を中心とした課題の情報を共有し、道議会における代表質問や各委員会の中で、働く者の視点や立場で知事に対する姿勢を質すことができたことは成果であると考えます。加えて、昨年度からこれらの諸活動について、政策情報を逐次作成し、ホームページや「マンスリーれんごう」で組合員・道民にPRし、政治活動の重要性を発信することができました。

2. エネルギー・環境政策に関する取り組み

① 2025年度「エネルギー・環境政策委員会」の取り組みについては、1月開催の第1回委員会で提起・確認しました。昨年度に引き続き、「2050年カーボンニュートラル」に向けた再エネ・省エネや電力を取り巻く諸課題について理解を深める学習や視察・調査に取り組むことを提起しました。視察活動は、2年に1回の開催に変更となり、今年度は学習活動によりエネルギー・環境政策の取り組みを進めていくこととしていましたが、参議院選挙等により、学習会を開催するに至らなかったことは反省すべき事項です。次年度は、視察活動を行う予定であることから、その履行に向けて取り組むこととします。

② 「北海道原子力防災訓練」は、2024年10月に実施されましたが、解散総選挙の関係から参加が実らず連合北海道の調査活動に至らなかったことは反省すべき点となりました。新型コロナウイルス感染症流行以降、地域住民へのアンケート調査の取り組みなど、産別・地協への参加要請が行われずにいます。また、2025年訓練も、10月29日（連合北海道定期大会当日）であり、前年同様、調査活動に参加できていません。2026年度以降、訓練の目的である「地域住民の防災意識の高揚、理解促進を図る」よう、産別・地協の参加体制を確立し、原子力防災訓練がより実効性のあるものとなるよう、調査活動の再開をめざしていかなければなりません。

③ 幌延深地層研究センターについては、地下坑道施設を深度500mまで掘削する工事計画が2023年4月から再開し、東立坑、換気立坑、西立坑ともに掘削が500mに到達し、水平坑道掘削についても、概ね11月頃には終了し、以降、平日の地下坑道視察が可能となる予定となっています。2028年度までとしている研究期間がなし崩し的に延長されることがないよう、連合北海道は、引き続き「確認会議」における精査内容を注視・点検するとともに、道民の疑念や不安解消に向けた丁寧な説明・協議に努めるよう、道と幌延町、原子力機構に求めています。併せて、関係5団体による「幌延深地層研究センター

事業計画説明会」、関係地協・地区連合で構成する「幌延深地層研究監視連絡会」等の監視活動を継続して行わなければなりません。

- ④ 2020年11月から原子力発電環境整備機構（NUMO）により寿都町及び神恵内村で行われている「高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査」以降、4年10ヵ月を経過しようとしています。2024年12月、原子力発電環境整備機構（NUMO）は、「文献調査報告書」を北海道知事、寿都町長、神恵内村長へ送付し、その後、公告・縦覧、意見の受付、説明会を実施してきました。特に2025年1月、東京で開催された対話型説明会で、最終処分場を北方四島に建設することを参加者に提案された経産省やNUMOの幹部が「魅力的だ」と発信したことに対する批判もあり、住民感情への配慮不足に厳しい視線が向けられていることも浮き彫りとなりました。当初、今夏とも言われていた、経済産業大臣から知事、町村長の判断を聴取する意見照会が、NUMOがまとめる「見解書」作成に遅れが出たことや、10月23日告示、同28日投開票の寿都町長選なども影響し、10月までに照会を行うのは難しい状況にあることが判明しました。

連合北海道は、この間「政府予算及び道政に対する『要求と提言』」の中で、「『概要調査』は、『特定放射性廃棄物の持ち込みは受け入れ難い』とする道条例を踏まえ、道内のいかなる地域においても国が最終処分地の設置につながる調査は行わないこと。また、国民的な議論が必要であり、最終処分地の社会的合意プロセスを整備すること」などを直接要望しました。さらに、2025年8月の中央省庁要請行動において、経済産業省から、知事と町村長の意向を尊重する回答を得たことから、その意見に反して先に進むことがないように再確認しました。知事には、「概要調査」には移行しないなど、道条例に基づく毅然とした対応を取るとともに、使用済み核燃料の最終処分場選定問題が全国的な課題であるとの立場で、行動と発信を強めることを引き続き求めていかなければなりません。

3. 地域医療・介護・地域福祉、社会保障政策に関する取り組み

- ① 昨年、4年ぶりに開催した連合北海道「地域福祉・社会保障研究会」（3回開催）は、今年度は残念ながら開催に至らなかったことは次年度への課題の先送りとなり反省すべき点です。

なお、昨年度の医療部会による議論をもとに、2024年度問題に関わる医師の働き方改革等により、病院に勤務する看護師・技師等がこれまで以上に過重労働となる可能性があること。このため、勤務時間前の「前超勤」なども含めて「勤務時間管理の方法（PC、タイムカード等）」の課題について、各委員の医療職場の実態等を踏まえた意見交換を行い、その結果、病院職場を対象とした「実態調査」を実施（集約数は19病院）しました。看護師等の離職防止の観点も含めて、病院職場の処遇・勤務環境の改善に向けて、国や道に対する連合北海道の「要求と提言」への反映や、6月には、「北海道医療勤務環境改善支援センター運営協議会」の中で、調査結果を報告しました。今後、「実態調査」の結果を分析するとともに、マスコミ媒体などを活用して労働法違反とならないPR活動などの展開も考える必要があります。

なお、前述のとおり、今年度は連合北海道「地域福祉・社会保障研究会」の開催は叶いませんでしたが、特に、医療・介護の課題については、「要求と提言」への反映や、各種審議会、中央省庁への要請や対道交渉、連合本部の重点政策討論集会等へ反映し、一部課題について前進回答を得ることができました。

次年度は、医療・介護部会（クラフトユニオン北海道、北海道社会福祉協議会、留萌地域ユニオン羽幌福祉分会、十勝地域ユニオン慧誠会労働組合、他の民間団体＜全国介護事業者協議会、北海道ホームヘルパーサービス協議会ほか＞などとの意見交換、学習会などを通じて現場の実態を把握し、課題を洗い出し、厚労省や北海道に対する「要求と提言」に反映させていく必要があります。

- ② 審議会等対応では、3月に「北海道介護労働安定センター介護労働懇談会」に、2年続けて参加し、訪問介護の基本報酬のみが引き下げられたことへの対策を連合としても取り組むことを発言し、6月には、「北海道医療勤務環境改善支援センター運営協議会」の中で、連合北海道医療（看護師）職場の意見交換会で学んだ「リファラル採用」「オンライン採用」、タスクシフト・タスクシェアを行う前に、タスクキルの視点を持つこと、診療報酬改定に伴う看護師等の賃上げ（2.5%）に結び付けるためのアド

バイス、病院経営について、新型コロナ関連の補助金が無くなり、多くの病院経営が深刻化している中、厚労省による「病床数適正化支援事業」が財政支援されないことに対する対策などについて発言しました。さらに、5月に開催した「北海道ケアラー支援推進協議会」では、ワーキングケアラー（307万人）の潜在化の中、ワークサポートケアマネージャーへの支援や、ケアラー支援関係機関等職員研修の基礎と応用研修への受講呼びかけなどについて意見反映を行いました。加えて、6月に書面開催された「北海道高齢者保健福祉施策検討協議会」において、訪問介護の基本報酬見直しと介護報酬上の2人以上訪問加算への支援として、国の「地域医療介護総合確保基金」の活用などについて意見反映を行いました。引き続き、現場・地域の声を踏まえて、「要求と提言」は勿論のこと、各種審議会において、働く者の勤務環境の改善、地域医療、介護、地域福祉の充実に向けた発信を行っていく必要があります。

4. 公共交通・物流ネットワーク政策に関する取り組み

- ① 昨年、4年ぶりに開催した「2024年度地域公共交通を考えるPT」会議でしたが、2025年度は開催することができなかったことは反省すべき点です。引き続き、課題となっている1)「2024年問題」による自動車運転業（トラック・バス・タクシー）の現状と課題、2) JR北海道が存続をめざす赤字8区間（通称：黄色線区）の利用促進策、3) 政府が進めるライドシェア課題、4) 港湾、5) 航空、6) 海員課題なども含めて、参画する構成組織との連携のもと、意見交換、視察や調査活動をもとに課題を洗い出し、道および国に対する「要求と提言」に反映させていく必要があります。さらに次年度の「視察・調査活動」をはじめ、2024年問題等、地域公共交通に関するシンポジウム」の開催の検討、対道交渉の追求などについて、PT会議で検討・議論するなど、課題の洗い出しを含めて対策を進めていかなければなりません。
- ② 連合北海道と航空連合北海道による対道交渉（意見交換）は、今回で3回目となり定着しつつあります。「2025年度 北海道に対する航空課題に係る要請書」は、3分野15項目におよぶ要請書を北海道知事に提出しました。対道交渉は5月に開催し、2時間にわたる意見交換となりました。1) 雇用の確保・獲得に向けて、航空各社に対して「学生に対する航空関連業務の認知度向上」に向けた継続的な支援、2) 航空整備士やグランドハンドリングスタッフを志す学生に対する無利子貸与奨学金の新設、3) 航空人材を守るための取り組みとして、カスハラ未然防止ポスターのわかりやすい位置への提示、4) 空港内旅客エリア・ランプエリア内の機能強化、5) 空港アクセス・利便性向上、6) 降雪に伴う各種対応の強化、7) 空港を起点とした需要喚起、8) インバウンド需要拡大に伴う対応など、多岐にわたる課題を指摘し、道との意見交換が出来たことは今後につながる取り組みの成果と言えます。グランドハンドリングスタッフの確保やカスハラ対策など一部課題について相違があることから、民主道民連合議員による道議会での追及や、中央要請行動における国交省への要請などを通じて課題解決の前進につながったことも、次年度につながる取り組みであったと考えています。

1. 政策・制度実現に向けた取り組み

(1) 国・道予算に関する取り組み

1) 政策委員会の開催

①第1回政策委員会

日 時／2025 年 1 月 28 日（火） 13：30～17：00

場 所／ホテルポールスター札幌 4 階「ラベンダー」

議 題／ア)【講演】：「仕事と介護の両立に向けて」

講師：星槎道都大学准教授 大島 康雄 氏

イ) 2025 年度 政策委員会の構成

ウ) 2025 年度 政府予算及び道政に対する「要求と提言」の報告

エ) 2025 年度 政策・制度実現に向けた取り組みの基本方針

【IV政策・資料1】

出席者／産別・地協 政策担当者 50 人

その他／詳細について「政策情報 No.1（2025 年 1 月 30 日）」を発信

【IV政策・資料2】

②第2回政策委員会

日 時／2025 年 5 月 21 日（水） 10：00～12：00

場 所／ニューオータニイン札幌 2 階「北星の間」

議 題／ア) 2026 年度 政府予算に対する「要求と提言」（案）の提起・確認

イ) 2026 年度 道政に対する「要求と提言」（素案）の提起

ウ) 2026 年度 政府予算の「要求と提言」（案）に対する意見交換

出席者／和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長、永田総合政策局長、山田組織労働局長、小倉総務財政局長、産別・地協 政策担当者 40 名

（事務局：林総合政策局次長、河原同担当）

その他／詳細について「政策情報 No. 5（2025 年 5 月 27 日）」を発信

【IV政策・資料3】

③第3回政策委員会

日 時／2025 年 7 月 24 日（木） 13：30～15：30

場 所／ホテルポールスター札幌 4F「ラベンダー」

議 題／ア) 2026 年度 道政に対する「要求と提言」（案）の討議・確認

イ) 2026 年度 道政に対する「要求と提言」（案）に対する意見交換

出席者／和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長、永田総合政策局長、山田組織労働局長、皆川組織対策局長、小倉総務財政局長、産別・地協 政策担当者 40 名

（事務局：林総合政策局次長、河原総合政策局担当）

その他／詳細について「政策情報 No. 7（2024 年 7 月 25 日）」を発信

【IV政策・資料4】

2025年度 連合北海道 政策委員会の構成

【委員長】 和田 英浩（連合北海道事務局長）
 【副委員長】 荒木 敏安（連合北海道副事務局長）
 【事務局長】 永田 重人（連合北海道総合政策局長）

【産別委員】

	産 別 名	氏 名	役 職		産 別 名	氏 名	役 職
1	自治労	山木 紀彦	書記長	20	サービス連合	石川聡一郎	事務局長
2	北教組	佐野 和孝	書記長	21	J R 連合	斎藤洋治郎	事務局長
3	U A ゼンセン	藤田 鉄平	主任	22	全水道	植田 竜司	書記長
4	J P 労組	軽木 清勝	書記長	23	全自交	鈴木 久雄	執行委員長
5	情報労連	山根 義治	事務局長	24	全国ガス	普本 寿	執行委員長
6	自動車総連	山本 泰敬	事務局長	25	J E C 連合	鶴山 雄汰	事務局長
7	電力総連	赤坂 匡章	政策局長	26	ゴム連合	下川原 渉	執行委員長
8	J R 総連	宮地 司	政策・賃金部長	27	メディア労連	古川 一喜	議長
9	運輸労連	後藤 進	副委員長	28	港運同盟	服部 千年	議長
10	国公連合	齋藤 教一	書記長	29	全労金	酒井 寛人	書記長
		末富 ゆき	執行委員	30	北海道私教協	森田 正治	副委員長
11	森林労連	澤田 友和	書記長	31	印刷労連	竹淵 聖也	委員長
12	紙パ連合	佐々木浩二	書記長	32	航空連合	滝谷健太郎	事務局長
13	フード連合	入江健太郎	議長	33	労済労連	小島 純一	分会委員長
14	交通労連	高橋 英雄	執行委員長	34	セミックス連合	富士 哲也	支部長
		黒坂 肇	副書記長	35	全造船機械	橋本 康憲	議長
15	基幹労連	西 良太	事務局長	36	道季労	山本 功	事務局長
16	電機連合	片桐 秀人	事務局長	37	全建総連	矢萩 毅	書記長
17	海員組合	池上 幸太	副支部長	38	道学組	小山内 智	執行委員長
18	私鉄総連	鈴木 富夫	書記長	39	住宅生協職組	往田 久代	執行委員長
19	J A M 北海道	長田 泰幸	書記長				

【地協委員】

	地 協 名	氏 名	役 職		地 協 名	氏 名	役 職
1	石 狩	山口 裕一	事務局長	7	留 萌	野呂 照幸	事務局長
2	渡 島	長谷川義樹	事務局長	8	宗 谷	宮森 貴大	事務局長
3	檜 山	西海谷幸恵	副会長	9	網 走	武田 研二	事務局長
		鍵谷 琴美	特別執行委員	10	胆 振	松田 潤	事務局長
4	後 志	石川誠一郎	事務局長	11	日 高	榊 浩明	事務局長
5	空 知	萩尾 竜司	事務局長	12	十 勝	齊藤 雅彦	事務局長
6	上 川	楠本 大輔	事務局長	13	釧 根	赤田 昌也	事務局長

2) 2025 年度 道政に対する「要求と提言」およびラピダス進出に係る要請書に対する道との意見交換の実施

日 時／2024 年 10 月 17 日（木） 13：00 ～ 17：00

場 所／道庁 9 階「経済部会議室」

出席者／北海道

総 務 部：林下改革推進課長、土田危機対策課長補佐、中島学事課長補佐

総合政策部：交通企画課 齋藤地域交通担当課長（課長補佐 1 名同席）、佐藤鉄道企画 担当課長、
小林並行在来線担当課長、椋平物流企画担当課長

環境生活部：循環型社会推進課 高橋水・大気環境担当課長

保健福祉部：子ども政策企画課 工藤子ども政策企画課長、中村子ども成育支援担当課長、地域
医療課 角井がん対策等担当課長、川上地域医療課長、高齢者保健福祉課 佐々木介
護運営担当課長（課長補佐 2 名同席）、中田地域福祉課長補佐経 済 部：次世代半導体戦略室 真鍋参事、米地参事、伊藤主幹、伏見主幹、雇用労政課 齋野
働き方改革推進室主幹、産業人材課 赤川産業人材課長、資源エネルギー課 原田課
長補佐、ゼロカーボン産業課 中川課長補佐

農 政 部：食品政策課 森みどりの食料システム戦略室主幹、畜産振興課 安藤環境飼料担当課長

教 育 庁：教職員課 安保課長補佐、遠藤課長補佐、教育政策課 林課長補佐、義務教育課 田中
課長補佐、藤本係長、高校教育課 藤田係長、健康・体育課 中野課長補佐、学力向
上推進課 佐藤課長補佐、ICT 教育推進課 石川課長補佐、中田係長、部活動改革推
進課 長居部活動改革推進課長事 務 局：雇用労政課 藤田雇用労政課兼働き方改革推進室長、伊藤課長補佐、田中総括主査
兼雇用労政係長

連合北海道：和田事務局長、荒木副事務局長、永田総合政策局長

（事務局：林総合政策局次長、同河原担当）

関 係 産 別：片桐事務局長（電機連合）、西部教育文化部長・大野教育財政部長（北教 1 次回答
／9 月 13 日（金） ※ラピダス要請書

指摘事項を道へ再提出／10 月 2 日（水） 要求と提言 52 項目、意見交換 30 項目

指摘事項に対する回答／10 月 11 日（金） 15 日（火） ラピダス 12 項目、意見交換 6 項目

概 要／【IV政策・資料5】

その他／2025 年度第 1 回政策委員会（2025 年 1 月 28 日）で意見交換も含めた回答内容を産別・地協へ
報告

3) 2026 年度政府予算に対する「要求と提言」中央要請行動

【IV政策・資料6】

日 程／2025 年 8 月 6 日（水）～7 日（木）

①要請書提出のみの省庁要請

提出日／2025 年 8 月 6 日（水） 15：00 ～ 17：00

提出先／内閣官房、内閣府、総務省、法務省、外務省、環境省、防衛省、デジタル庁

対 応／連合北海道／永田総合政策局長、林同次長

道下事務所／佐藤秘書

②連合北海道国会議員団への要請

日 時／2025 年 8 月 7 日（木） 8：30 ～ 8：50

場 所／衆議院第 2 議員会館 1 階「多目的会議室」

出席者／国会議員団：徳永会長、道下幹事長 他議員団

連合北海道：須間会長、和田事務局長、永田総合政策局長

（事務局：林総合政策局次長、海野政治センター次長、三上次長）

③省庁要請

日 時／2025 年 8 月 7 日（木） 9：00 ～ 12：30

場 所／衆議院第2議員会館1階「多目的会議室」

要請先／農林水産省、国土交通省、経済産業省、文部科学省、厚生労働省、こども家庭庁

出席者／国会議員団：徳永会長、道下幹事長 他議員団

連合北海道：須間会長、和田事務局長、永田総合政策局長

(事務局：林総合政策局次長、海野政治センター次長、三上次長)

その他／詳細について「政策情報 No. 9 (2025年8月18日)」を発信

【IV政策・資料7】

④要請項目

要望項目総数／15府省庁 77項目 提出のみ府省庁～9月10日(水)までに文書回答

重点要望項目数／10省庁 63項目 文書回答済

意見交換項目数／6省庁 39項目 文書回答済

2026年度第1回政策委員会で回答内容を産別・地協へ報告

4) 政府予算に対する「要求と提言」(案) 策定に向けた産別・地協へのヒアリング行動

【1回目】

①北教組／5月7日(水) 13:30～15:00 ②U Aゼンセン／5月8日(木) 13:30～15:00

③電機連合／5月8日(木) 15:30～17:00

【2回目】

①U Aゼンセン 6月5日(木) 13:00～14:00、②電機連合 6月5日(木) 14:00～15:00

③北教組 6月5日(木) 15:30～16:30

5) 2026年度道政に対する「要求と提言」の道への提出

日 時／2025年8月21日(木) 10:00～10:30

場 所／道庁3階「副知事会議室」

出席者／和田事務局長、荒木副事務局長、永田総合政策局長、林同次長、河原同担当

対 応／三橋副知事、安彦経済部労働政策局長、藤田雇用労政課長、同岩渕課長補佐

概 要／【IV政策・資料8】

6) 2024年度 連合北海道「道内市町村の実態調査の結果」について

取組期間／2024年5月8日(水)～6月28日(金)

実態調査締切／7月1日(月) 連合北海道必着→7月31日(水)→8月30日(金)

報告市町村／2024.11.7 現在

【石狩→8/8】①恵庭市、②江別市、③札幌市、④北広島市、⑤千歳市、⑥石狩市、⑦新篠津村、
〔100%〕 ⑧当別町

【渡島→5/11】①鹿部町、②森町、③函館市、④知内町、⑤長万部町
〔45.5%〕

【檜山→7/7】①せたな町、②上ノ国町、③厚沢部町、④奥尻町、⑤今金町、⑥江差町、⑦乙部町
〔100%〕

【後志→13/20】①ニセコ町、②古平町、③黒松内町、④寿都町、⑤小樽市、⑥赤井川村、⑦島牧村、
〔65%〕 ⑧留寿都村、⑨真狩村、⑩神恵内村、⑪岩内町、⑫京極町、⑬倶知安町

【空知→20/24】①雨竜町、②浦臼町、③月形町、④砂川市、⑤上砂川町、⑥新十津川町、⑦赤平市、
〔83.3%〕 ⑧滝川市、⑨秩父別町、⑩奈井江町、⑪南幌町、⑫美瑛市、⑬北竜町、⑭由仁町、
⑮沼田町、⑯妹背牛町、⑰三笠市、⑱歌志内市、⑲夕張市、⑳岩見沢市

【上川→10/23】①旭川市、②鷹栖町、③富良野市、④幌加内町、⑤上富良野町、⑥東神楽町、
〔43.5%〕 ⑦上川町、⑧名寄市、⑨南富良野町、⑩中川町

【留萌→8/8】①遠別町、②初山別村、③増毛町、④天塩町、⑤小平町、⑥羽幌町、⑦留萌市、
〔100%〕 ⑧苫前町

【宗谷→8/10】①猿払村、②稚内市、③幌延町、④利尻町、⑤利尻富士町、⑥礼文町、⑦豊富町、
〔80%〕 ⑧浜頓別町

【十勝→13/19】①浦幌町、②音更町、③芽室町、④新得町、⑤足寄町、⑥鹿追町、⑦陸別町、
〔68.4%〕 ⑧士幌町、⑨帯広市、⑩本別町、⑪幕別町、⑫上士幌町、⑬大樹町

【網走→17/18】①遠軽町、②訓子府町、③大空町、④滝上町、⑤置戸町、⑥津別町、⑦美幌町、
〔99.4%〕 ⑧北見市、⑨湧別町、⑩雄武町、⑪興部町、⑫佐呂間町、⑬網走市、⑭斜里町、
⑮清里町、⑯紋別市、⑰西興部村

【胆振→9/11】①安平町、②伊達市、③洞爺湖町、④苫小牧市、⑤豊浦町、⑥室蘭市、⑦むかわ町、
〔81.8%〕 ⑧厚真町、⑨登別市

【日高→7/7】①浦河町、②新ひだか町、③新冠町、④日高町、⑤平取町、⑥様似町、⑦えりも町
〔100%〕

【釧路→6/8】①釧路市、②釧路町、③鶴居村、④厚岸町、⑤浜中町、⑥弟子屈町
〔75%〕

【根室→4/5】①根室市、②中標津町、③標津町、④別海町
〔80%〕

計 135 自治体（報告率 75.4%）

7) 2024 年度連合北海道 病院職場への実態調査結果

内 容／【IV政策・資料9】

(2) 連合「政策・制度」実現に向けた取り組み

1) 連合本部主催「北海道ブロック政策担当者会議」の開催

日 時／2025 年 5 月 21 日（水） 13：30～16：30

場 所／ニューオータニイン札幌 3 階「青葉の間」

議 題／①「要求と提言」「重点政策」を中心とした本部との意見交換

②北海道ブロックにおける政策課題など

出席者／連合本部：（対面参加 13 人、WEB 参加 3 人、計 16 人）

連合北海道：和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長、永田総合政策局長、山田組織労働局長、皆川組織対策局長、小倉総務財政局長

各地協事務局長（事務局：林総合政策局次長、河原同担当）

2) 連合 2025 年公的年金制度改革に向けたシンポジウム

日 時／2024 年 10 月 9 日（水） 18：00～20：00

場 所／WEB 開催

内 容／①主催者代表挨拶

②講演「2025 年年金制度改革に向けた重要な論点」

講 師：駒村 康平 慶応義塾大学経済学部教授

③パネルディスカッション

「被用者保険の適用拡大に向けた具体的な課題と今後の方向性」

「基礎年金の給付水準の底上げに向けた具体的な課題と今後の方向性」

「その他、次期年金制度改革に向けた課題」

登壇者：駒村 康平 慶応義塾大学経済学部教授

西沢 和彦 株式会社日本総合研究所理事

永井 幸子 U Aゼンセン副書記長（連合中央執行委員）

佐保 昌一 総合政策推進局長

④報告：「2025 年年金制度改革に向けた連合の考え方」

参加者／永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当、構成組織、地域協議会

3) 働き方などに中立的な社会保険制度に対する連合の考え方（案）に対する連合北海道の意見について

【IV政策・資料 10】

4) 連合経済・社会政策学習会

①第2回

日 時／2024 年 12 月 11 日（水） 16：00～17：30

場 所／WEB 開催

内 容／テーマ「日本の税制の現状と課題-2025-」

講 師／土居 丈朗 氏（慶應義塾大学経済学部教授）

出席者／永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

概 要／【IV政策・資料 11】

②第3回

日 時／2025 年 1 月 29 日（水） 10：00～11：00

場 所／WEB 開催

内 容／テーマ「不正競争防止法の概要と従業員が留意すべきポイント」

講 師／石原 優輝 氏（経産省知的財産政策室 不正競争防止法調査員）

出席者／林総合政策局次長、河原総合政策局担当

概 要／冒頭「不正競争防止法」は、事業者間の公正な競争及びこれに関する国際約束の的確な実施を確保するため、不正競争の防止、不正競争の損害賠償措置等を講じ、国民経済の健全な発展に寄与することを目的とした法律であるとの説明があった。次に不正競争の定義として「周知な商品等表示の混同惹起」、「著名な商品等表示の冒用」、「他人の商品形態を模倣した商品の提供」、「営業秘密の侵害」等、10 項目が示された。中でも「営業秘密の侵害」についてトラブル事例が示されたほか、「知っておきたい営業秘密」として、営業秘密となる条件、営業秘密上してはいけないこと、営業秘密侵害をしてしまったら刑事罰・民事責任を負うこと、トラブルに巻き込まれないための具体策について説明があった。最後に困った時の相談先のほか、営業秘密・不正競争防止法・情報漏えい対策への理解を深めるテキスト等の Q R コードが紹介され、必要に応じて職場で活用してほしいと主張した。

5) 連合「企業年金・個人年金制度に関する勉強会」

日 時／2024 年 12 月 13 日（金） 14：00～15：30

場 所／WEB 開催

内 容／①主催者挨拶

②講演：企業年金・個人年金制度と労働組合の取り組み

講師：労働金庫連合会 営業推進部 野沢 忠博 上席調査役

労働金庫連合会 営業推進部 秋山 翔 部長代理

③報告：「次期改正に向けた連合の考え方」 佐伯 連合総合政策推進局生活福祉部部长

④まとめ 松田 連合総合政策推進局生活福祉局局长

出席者／永田総合政策局長、河原総合政策局担当

概 要／現在、社会保障審議会企業年金・個人年金部会において、2025 年の企業年金・個人年金制度の

見直しに向けた議論が進められている中、現行制度のポイントや改正に向けた連合の考え方が示され、労働組合として今後の取り組みにつなげることを目的に開催された。①現役世代が迎える老後として、「人生100年時代」、ア.老後は長いことを知ろう、イ.老後に必要な生活資金、ウ.日本の年金制度（私的年金・公的年金）、エ.老後に向けた自助努力の必要性（65歳以上、月2万円生活資金不足）、②退職給付制度では、ア.企業年金と退職金、イ.確定給付型（DB）と確定拠出型（DC）の違い、ウ.退職金と比較した企業年金のメリット（退職金原資の外部積立、キャッシュフローの平準化、さまざまな税制上の優遇措置、③確定給付企業年金（DB）の仕組み、「基本型」と「規約型」の比較、給付の種類・要件、主な給付設計（キャッシュバランス方式等の4方式）、リスク分担型企業年金、④確定拠出年金（DC）の仕組み、企業型DCとiDeCoの比較、掛金の算定方法、拠出限度額（2024年12月改正）、マッチング拠出、選択制DC（給与切り出し型DC、報酬ファウンド型DC）、資産運用、給付、脱退一時金の支給要件、iDeCoとiDeCoプラスなどについての説明がされた。その後、労働組合としての取り組みとして、①退職給付制度の見直し、企業型DCの導入・運営、組合員の資産形成に向けての考え方の解説がされた。最後に、「ろうきん」における確定拠出年金商品などの説明がなされ、勤労者の皆さんの夢と共感を創造する福祉金融機関としての役割発揮に努める、と締めくくった。

6) 2024年度 連合・社会保障講座（基礎編）

日 時／2025年1月16日（木） 10:00～12:00

1月17日（金） 10:00～12:00

場 所／WEB開催

内 容／【1日目】①10:00～ 介護保険制度・高齢者福祉

②11:00～ 医療・医療保険制度の概要

【2日目】③10:00～ 子ども・子育て支援

④11:00～ 公的年金制度の概要

出席者／永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

概 要／①「介護保険制度・高齢者福祉」では、介護保険の概要として制度創設の背景、2024年介護報酬の改定、年齢階級別の介護状況、介護納付金の仕組み、介護サービスなどについて説明があり、介護保険制度を取り巻く課題として介護サービス量が増加し介護人材が不足していること、介護職員の賃金も全産業との比較で格差が大きくなっていることが報告された。これらを踏まえ、現在、訪問介護の基本報酬引き下げに伴うサービス継続への影響が懸念されているなか介護離職を防ぐためにも在宅ケアの確保と介護職員の処遇改善が不可欠であり、業務負担軽減に向けたICTやAIの活用促進が必要であるとの連合の考え方が示された。

②「医療・医療保険制度の概要」では、日本の医療の特徴として医療制度におけるお金の流れ、医療体制の現状などの説明があり、課題として年々伸び続けている医療費に対する社会保障費の確保や地域医療における医師数・病床数の偏在是正の必要性などが報告された。これらを踏まえ、「要求と提言」において、良質で切れ目のない医療提供体制の構築、安心・信頼の患者本位の医療の確立、安心できる保険給付の保障、生活保護受給者を含めた公的医療保険制度の再構築、国民の予防・健康づくりへの意識啓発を盛り込み、取組を進めていくとの連合の考え方が示された。

③「子ども・子育て支援」では、現状として、共働きなど働く保護者世帯数、女性就業率、第1子出産前後の妻の就業経歴、保育所等の待機児童数、保育士の有効求人倍率、保育士の処遇改善状況などが報告された。次に子ども・子育て支援制度の概要、子どもの権利（こども基本法、こども大綱）、児童虐待、こども家庭センター、社会的擁護などの現状について説明があった。これらを踏まえ、親の状況に左右されずに子どもの権利や人権を守るため、生活者の視点、子どもの視点から子ども施策に取り組んでいくとの連合としての考え方が示された。

④「公的年金制度の概要」では、前段に公的年金の必要性、年金制度の仕組みや保険料、給付要

件、年金額、マクロ経済スライドについて説明があった。最後に公的年金制度改革に向けた連合の対応として、雇用形態、勤務先、労働時間、収入などにより被用者保険の適用の有無が変わることのないよう、全被用者に被用者保険を適用すべきであり、また、配偶者の働き方などにより第3号被保険者に該当するかが決まる現行制度も社会保険の原理原則や負担と給付の関係性を踏まえ、第3号被保険者制度については廃止して中立的な制度構築を目指していくとの考え方が示された。

7) 2025 年度 連合重点政策討論集会

日 時／2025 年 3 月 31 日（月） 13：00～17：30

場 所／ホテルラングウッド、WEB 併用

内 容／①政策3 構想（社会保障・教育・税制）（改訂版）素案提起・全体討論

②重点政策（素案）提起・全体討論

③政策・制度全体討論

出席者／394 人（対面：170 人、WEB：224 人）

永田総合政策局長、林総合政策局次長（WEB）、河原総合政策局担当（WEB）

概 要／連合は、3 月 31 日「2025 年度 重点政策 討論集会」を開催し、構成組織、地方連合会、政党・連合組織内議員懇談会・連合フォーラム議員、関係組織・関連団体、マスコミなど計 394 名が参加した。＜講演会＞では、重点政策討論集会に先立ち、株式会社日本総合研究所 翁百合 理事長より、「負担と給付の公平性確保と人材の潜在力発揮に向けて」と題して講演いただき、人口減少により人手不足が問題となりつつある中、税や社会保障制度の検討の方向性について、ご示唆を頂いた。＜重点政策討論集会＞では、冒頭、主催者を代表して芳野友子会長より 3 月 28 日に発生したミャンマーでの地震に対してお悔やみとお見舞いを申し上げた上で、「第 217 通常国会では、予算・税制の審議が大詰めを迎えているが、連合が求めた所得税の課税最低限は引き上げられたものの所得額で差が設けられ、ガソリン税の暫定税率廃止は廃止時期が明確にならなかった。加えて、年金制度改革は、7 月の参院選を睨んで、現在も国会に提出されておらず、与党が国民生活の改善や社会保障の持続性に正面から向き合っているのか、疑念を感じえずにはいられない。後半国会では、労働安全衛生法、下請法、給特法など、雇用、産業にかかわる重要法案が審議される。引き続き、熟議が尽くされる国会審議となるのか見守るとともに、連合の重点法案については、実現にむけて、連合組織内議員懇談会、連合フォーラム議員との連携を密にして対応していく」と挨拶を行った。続いて、富田珠代総合政策推進局長より「政策3 構想（社会保障・教育制度・税制改革）（改訂版）素案」、「2025 年度 連合の重点政策（素案）」をそれぞれ提起し、討論を行った。その後、「政策・制度 要求と提言」「政策実現行動」など連合の政策実現全般について討論を行った。最後に、清水事務局長が議論を総括した上で、「本日の討論を経て、政策3 構想は5 月の中央委員会で、2025 年度連合の重点政策は4 月の中央執行委員会で最終確認いただく。その後、重点政策については、首相官邸、政党、各省庁などへの要請行動を速やかに開始する重点政策の実現の先には、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現があり、その実現に向けて一層の連携をお願いし、まとめの挨拶に代えさせていただきたい」とし集会を締めくくった。連合北海道の発言内容は【IV 政策・資料 12】

8) 2025 年度 消費者政策シンポジウム

日 時／2025 年 4 月 23 日（水） 10：00～12：00

場 所／連合会館 2F 大会議室

テーマ／公益通報者保護制度の概要と今後の課題

内 容／①講演「公益通報者保護制度の概要と改正法案の内容」

講師 浪越 祐介 消費者庁参事官（公益通報・協働担当）

②パネル討論「制度の課題と今後の対応を考える 近年の事例と改正法案を踏まえて」

パネリスト：志水芙美代 弁護士

日野 勝吾 淑徳大学副学長

松本 貴宗 日本製鉄法務部国内法務室コーポレート法務課主幹

片山 銘人 連合経済・社会政策局長

進行：富田 珠代 連合総合政策推進局長

出席者／林総合政策局次長（WEB） 河原同担当（WEB）

9) 地方連合会政策担当者会議

日時／2025年1月28日（火） 10：00～12：00

場所／WEB開催

内容／①「2025年度連合の重点政策」の策定について

②その他 第217回通常国会における法案対応について

出席者／全体88人、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

概要／【IV政策・資料13】

2. エネルギー環境政策に係わる取り組み

（1）エネルギー・環境政策委員会の取り組み

第1回エネルギー・環境政策委員会の開催

日時／2025年1月28日（火） 13：30～17：00

場所／ホテルポールスター札幌 4階「ラベンダー」

議題／①2025年度エネルギー・環境政策委員会の構成

②2025年度エネルギー・環境政策委員会の取り組みの基本方針【IV政策・資料14】

出席者／産別・地協 エネルギー・環境政策担当者55人

2025年度 連合北海道 エネルギー・環境政策委員会の構成

- 【委員長】 和田 英浩（連合北海道事務局長）
 【副委員長】 荒木 敏安（連合北海道副事務局長）
 【事務局長】 永田 重人（連合北海道総合政策局長）

【産別委員】

	産 別 名	氏 名	役 職		産 別 名	氏 名	役 職
1	自治労	山木 紀彦	書記長	20	サービス連合	石川聡一郎	事務局長
2	北教組	佐野 和孝	書記長	21	J R連合	斎藤洋治郎	事務局長
3	U Aゼンセン	藤田 鉄平	常任	22	全水道	植田 竜司	書記長
4	J P労組	平川 雄一	執行委員	23	全自交	鈴木 久雄	執行委員長
5	情報労連	山本 智也	副議長	24	全国ガス	普本 寿	執行委員長
6	自動車総連	山本 泰敬	事務局長	25	J E C連合	鶴山 雄次	事務局長
7	電力総連	佐藤 誠	会長代理	26	ゴム連合	下川原 渉	執行委員長
8	J R総連	畑 正利	政策・賃金部長	27	メディア労連	里舘 一成	議長
9	運輸労連	後藤 進	副委員長	28	港運同盟	服部 千年	議長
10	国公連合	齋藤 教一	書記長	29	全労金	酒井 寛人	書記長
		末富 ゆき	執行委員	30	北海道私教協	森田 正治	副委員長
11	森林労連	澤田 友和	書記長	31	印刷労連	竹淵 聖也	委員長
12	紙パ連合	佐々木浩二	書記長	32	航空連合	滝谷健太郎	事務局長
13	フード連合	入江健太郎	議長	33	労済労連	小島 純一	分会委員長
14	交通労連	高橋 英雄	執行委員長	34	セラミックス連合	福士 哲也	支部長
		黒坂 肇	副書記長	35	全造船機械	橋本 康憲	議長
15	基幹労連	西 良太	事務局長	36	道季労	山本 功	事務局長
16	電機連合	片桐 秀人	事務局長	37	全建総連	矢萩 毅	書記長
17	海員組合	池上 幸太	副支部長	38	道学組	小山内 智	執行委員長
18	私鉄総連	鈴木 富夫	書記長	39	住宅生協職組	往田 久代	執行委員長
19	J A M北海道	長田 泰幸	書記長				

【地協委員】

	地 協 名	氏 名	役 職		地 協 名	氏 名	役 職
1	石 狩	山口 裕一	事務局長	8	宗 谷	宮森 貴大	事務局長
2	渡 島	長谷川義樹	事務局長	9	網 走	武田 研二	事務局長
3	檜 山	北浦 勇	会長	10	胆 振	松田 潤	事務局長
4	後 志	石川誠一郎	事務局長	11	日 高	榊 浩明	事務局長
5	空 知	萩尾 竜司	事務局長	12	十 勝	齊藤 雅彦	事務局長
6	上 川	楠本 大輔	事務局長	13	釧 根	赤田 昌也	事務局長
7	留 萌	野呂 照幸	事務局長				

(2) 幌延深地層研究センターに関する取り組み

1) 2025 年度 幌延深地層研究センター事業計画 連合北海道への説明会

日 時／2025 年 4 月 16 日（水） 10：00～11：00

場 所／連合北海道会議室

内 容／① 2024 年度（令和 6 年度）調査研究成果報告について

② 2025 年度（令和 7 年度）調査研究計画について

参 加／①国立研究開発法人日本原子力研究開発機構幌延深地層研究センター／佐藤所長、館副所長、見掛研究主席、星野総務・共生課長、棚井札幌事務所長

②連合北海道／和田事務局長、荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

2) 2025 年度 連合北海道幌延深地層研究監視連絡会の開催

日 時／2025 年 9 月 28 日（日） 9：30～13：00

場 所／幌延深地層研究センター（集合：「ゆめ地創館 多目的室」）

内 容／第 1 部：9：30～11：40 センター設立の経緯及び沿革、調査研究の現況、センター地上施設及び地下調査坑道の視察 等

第 2 部：11：50～12：50 監視連絡会 総会

参加者／12 人、うち連合北海道からは和田事務局長、荒木副事務局長、永田総合政策局長（事務局：林総合政策局次長、河原同担当）

その他／詳細について「政策情報 No.13（2025 年 9 月 30 日）」を発信 【IV政策・資料 15】

3) 2025 年度 連合北海道深地層研究監視連絡会 構成メンバー

役 職 名	氏 名	役 職 名	備 考
代 表	和田 英浩	連合北海道 事務局長	再任
副 代 表	荒木 敏安	連合北海道 副事務局長	再任
〃	中内 孝	留萌地協 会長	再任
〃	溝口 信之	上川地協 会長	再任
〃	河原 史敏	宗谷地協 会長	再任
事務局長	永田 重人	連合北海道 総合政策局長	再任
事務局次長	宮森 貴大	宗谷地協 事務局長	再任
委 員	野呂 照幸	留萌地協 事務局長	再任
〃	楠本 大輔	上川地協 事務局長	新任
〃	大平 智	留萌地協・天塩地区連合 会長	再任
〃	山上 諒	留萌地協・天塩地区連合 事務局長	再任
〃	橋本 朋樹	上川地協・中川地区連合 副事務局長	再任
〃	高崎 敏弥	宗谷地協・豊富地区連合 事務局長	再任
〃	橘 泰雅	宗谷地協・幌延地区連合会長	再任
〃	山本 晋	宗谷地協・猿払地区連合 事務局長	新任
〃	堀 貴博	宗谷地協・浜頓別地区連合 事務局長	新任
〃	—	宗谷地協・中頓別地区連合	
事 務 局	林 貴子	連合北海道 総合政策局次長	再任
〃	河原 希之	連合北海道 総合政策局担当	再任

4) 2025 年度 幌延深地層研究センター事業計画説明会の開催

日 時／2025 年 7 月 31 日（木） 10：00～12：00

場 所／ポールスター札幌 4F「ライラック」

議 題／① 2024 年度 幌延深地層研究センター調査研究成果報告

② 2025 年度 幌延深地層研究センター調査研究計画

出席者／連合北海道 和田事務局長、荒木副事務局長、永田総合政策局長

立憲民主党、国民民主党、北海道民社協会、北海道平和運動フォーラム

連合北海道の各構成組織、石狩地協、道退職者連合

(事務局：林総合政策局次長、河原総合政策局担当)

概 要／【IV政策・資料 16】

(4) 公職・諸会議への出席

1) 令和 7 年度（2025 年度）北海道石炭対策連絡会議総会（書面開催）

①付議事項 議案第 1 号 令和 6 年度事業報告及び収支決算について

議案第 2 号 令和 7 年度（2025 年度）事業計画（案）及び収支予算（案）について

議案第 3 号 監事の選出（案）について

②開催結果 開催年月日 2025 年 4 月 22 日

開催方法 書面による

開催結果 北海道石炭対策連絡会議規約第 6 条の規程により、総会（書面）は成立し、書面評決会員全員の同意があり、原案どおり承認された。

2) 北海道再生可能エネルギー振興機構令和 7 年度定時社員総会及び第 4 回情報プラットフォーム会議

日 時／2025 年 6 月 24 日（火）

14：00 ～ 15：00 令和 7 年度 定時社員総会

15：10 ～ 16：40 「第 4 回情報プラットフォーム会議～再エネ機構会員の取組み紹介」

17：00 ～ 19：00 懇親会

開催方法／会場（札幌エルプラザ 2F）とオンラインの併用開催

主 催／北海道再生可能エネルギー振興機構

参 加／林総合政策局次長

内 容／北海道再生可能エネルギー振興機構の会員間での情報交流を目的として、「情報プラットフォーム会議」を開催した。地域脱炭素や再生可能エネルギー推進の為には、様々な経験・ノウハウ・知見や多様なステークホルダーの関わりがかかせない。一方、地域の担当者には人材や専門的知見が不足している事が課題として指摘されている。北海道再生可能エネルギー振興機構は再エネによる地域活性化を目的として活動しており、59 の道内自治体と 14 の企業、13 名の個人会員に賛同頂き活動している。このネットワークを活かし、今回、道内各地で再エネに取り組まれている当機構会員よりそれぞれの取り組みを報告し、地域脱炭素を進めるヒントの場となった。

3) 文献調査報告書の概要説明と質疑の場

日 時／2025 年 3 月 16 日（日） 14：00 ～ 16：30

場 所／アスティ 45 4F アスティホール

内 容／①NUMO 坂本理事挨拶

②文献調査報告書の概要説明

③これまでの質疑に対する回答

④口頭での質疑

主 催／原子力発電環境整備機構（NUMO）

参 加／永田総合政策局長（全体 113 名）

概 要／2024 年 11 月から 2025 年 2 月にかけて、道内 25 箇所で開催し、延べ参加者 1,517 名、質問票 2,114 枚となったが、これまでの質疑は紙で提出された質問や意見に答えるのみで、参加者から批判の声が多く出されていた。このため、NUMO は参加者から要望が多かった口頭での質問を受け付けるために開催されたもの。延べ 34 人が質問し当初予定していた時間の倍の約 5 時間に及んだ。参加者からは「多くの活断層が存在する日本で地層処分することのリスクが高いことを理

解しているのか」「安全性に疑いのある地域は候補地から除外すべきだが、文献調査ではそれが行われていない」と、地層処分事業の安全性や第2段階の概要調査候補区域を決めた選定基準に疑問視する声が相次いだ。これに対してNUMOは、従来の見解を繰り返すにとどまったことから、多くの参加者からの怒号が会場に鳴り響いた。また、概要調査への移行前に経産大臣が知事、両町村長に意見照会し、いずれかが反対した時の対応の質問に対してNUMOは、「反対すれば先には進まないし、両町村に開設したNUMO職員が常駐する事務所も撤退せざるを得ない」と回答した。さらに、参加者からは「質疑の場」の追加開催を求める声も多く寄せられ、NUMOの坂本理事は「今後も何らかの形で道民とコミュニケーションを図る場を検討したい」と述べた。

4) エネルギー講演会

日 時／2025年3月12日（水） 14:00～15:30

場 所／ホテルポールスター札幌2F ポールスター

内 容／テーマ「日本のエネルギー政策の現状と課題～電力需要の増大に備えて～」

講演者 松尾 豪 氏（エネルギー経済社会研究所代表）

主 催／北海道エナジートーク 21

出席者／河原総合政策局担当

概 要／講演では、北海道は今後10年間でラピダス進出や苫東に建設予定のデータセンターにより、最大需要電力の急激な増加が見込まれており、世界各国では脱炭素、エネルギー自給率向上に資する原子力の重要性が再認識され、データセンターにおける原子力活用の動きが加速しているとの現状を述べられた。今般、閣議決定した第7次エネルギー基本計画では、現在、依存比率の高い火力から2040年には再エネ（4～5割程度）、火力（3～4割程度）、原子力（2割程度）への移行が意識されているが、再エネが伸びなかった場合にはLNG（液化天然ガス）火力の電源の比率が上昇するとみられており、安定供給への期待も大きい。あらゆる地域で以前にも増して「S（安全性）+3E（経済性・安定供給・環境適合性向上の両立）」の重要性が高まってきており、カーボンニュートラルに当たって、化石資源の開発を継続しながら、環境面だけでなく社会・経済の視点からも持続可能な形でエネルギーの移行を目指していく必要があるとともに、カーボンニュートラル時代に向けては、再エネ・火力・原子力のエネルギーベストミックスの議論をさらに行っていく必要があると主張した。

5) 環境・エネルギーセミナー 2025

日 時／2025年2月12日（水） 14:00～16:00

場 所／JRタワーホテル日航札幌36階スカイバンケットルーム「たいよう」

主 催／北海道エネルギー基本問題懇話会

概 要／①（株）JTB企画開発プロデュースセンター 企画開発担当部長 曾根 進 氏

※GXの切り口が、観光や地域創生につながることを事例や取り組みから講演を頂いた。

②東日本電信電話（株）北海道事業部ビジネスイノベーション部 高島 和博氏

「北海道の未来をつくる～カーボンニュートラルとDX～」

※地方自治体等の業務効率化（DX）が、GXに繋がることを、事例やサービスから講演を頂いた。

参 加／永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

6) 北海道エネルギー基本問題懇話会 第41回総会・記念視察会の開催

日 時／2025年8月18日（月） 14:00～15:30

場 所／エア・ウォーターの森1階イベントホール

総 会／（14:00～14:40）

① 2024年度活動報告および収支決算

② 2025 年度 活動計画および収支予算

記念視察会／（14：50～15：30）

視察先／エア・ウォーターの森

出席者／河原総合政策局担当

概 要／総会では、2024 年度事業報告・収支決算・監査報告、2025 年度事業計画案・収支予算案が審議され、全会一致で承認された。総会終了後、2024 年 12 月に開設したオープンイノベーション施設「エア・ウォーターの森」の記念視察会が行われ、大学や自治体、地元企業やスタートアップなどとの連携や地域住民との交流を深めながら新しいアイデアと発想で北海道の社会課題に取り組んでいる様子を見学してきた。

3. 医療・介護・福祉に関する取り組み

（1）令和 7 年度ケアラー支援関係機関職員等 研修（基礎・応用）の案内

日 時／①基礎研修 2025 年 7 月 9 日（水）～2026 年 2 月 28 日（金）

（オンデマンド：約 140 分）

②応用研修 2025 年 7 月 30 日（水）～2026 年 1 月 28 日（水）

全会場共通 13：00～16：30（受講地域ごと集合開催：約 180 分）

会 場／①基礎研修 オンデマンド研修

②応用研修 14 振興局単位の 12 の指定場所

主 催／北海道社会福祉協議会「ケアラー支援推進センター」（北海道委託研修）

内 容／①基礎研修：オンデマンド動画約 140 分を視聴し、ケアラー支援の基礎を学びます。動画視聴後は、受講完了報告の送信をもって終了とみなし、「ケアラーサポーター認定終了証（基礎）」が発行される。

②応用研修：グループワークを中心とした集合研修で、具体的な事例検討を通して、ケアラーへの支援や連携について学ぶ。基礎研修の受講完了が必須。受講後、「ケアラーサポーター修了証（応用）」及び「ケアラーサポーターピンバッジ」が交付される。

目 的／「北海道ケアラー支援条例（令和 4 年 4 月施行）」に基づいて、令和 5 年 3 月に「北海道ケアラー支援推進計画」が策定され、また、令和 6 年 6 月に「改正子ども・若者育成支援推進法」が成立したことで、ヤングケアラーへの支援も法律に位置付けられた。ケアラーは要ケア者を支えるための「資源のひとつ」として見られてきた傾向があるが、ケアラー自身も「孤立することなく、健康で心豊かな生活を営み、将来にわたり夢や希望をもって暮らすことができる社会」を実現するため、様々な関係機関の職員がケアラーへの理解を深め、支援に向けて連携・協働することが重要である。本研修は、ケアラーやその家族からの相談に適切に応じられるよう、ケアラーへの支援について学ぶことを目的とし、産別（単組）・地協（地区連合）等に広く呼びかけた。

（3）ほっかいどう若者応援連絡会議の取り組み

1) ひとり親支援（クリスマス企画）ボランティア

日 時／2024 年 12 月 20 日（金）13：00～16：00（準備時間）、16：00～19：30（配布時間）

場 所／札幌エルプラザ 3 階大ホール

手伝い／連合北海道：永田・林・河原・宮本・石田

札幌地区連合：山口・深田・上田

構 成／連合北海道、札幌地区連合、北海道労福協、北海道生協連、大学生協連

概 要／ほっかいどう若者応援会議は、しんぐるまざあずふおーらむ北海道のひとり親の方へのクリスマス支援の手伝いを行った。今回の支援に際して、北海道労福協の杉山理事長から、しんぐるまざあずふおーらむ北海道の平井代表へ、「ろうふくエール基金」を活用した 20 万円が寄贈され、この資

金を活用し、クリスマスクッキー、チョコレート、コーンスープなど15種類以上の食品詰め合わせを、また、クリスマスケーキやオードブル、絵本、駄菓子くじ、衣料品、化粧品、労福協からお米券、牛乳券を寄贈し、105人のひとり親世帯の方たちにプレゼントした。上記の構成団体のメンバーが、クリスマス支援の準備や片付けの手伝いをした。

(4) 公職・諸会議への出席

1) 令和6年度（2024年度）ケアラー支援推進シンポジウム

日 時／2024年11月21日（木） 13：30～16：00

場 所／TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前 ホール5G

テーマ／支える人を、ひとりにしない～介護で人生や仕事をあきらめないために～

内 容／①基調講演／「ケアラー支援を取り巻く状況について」

星槎道都大学准教授 大島 康雄 氏

②パネルディスカッション／

コーディネーター 一般社団法人日本ケアラー連盟 理事 中村 健治 氏

コメンテーター 星槎道都大学 准教授 大島 康雄 氏

パネリスト ア) 事例紹介「当事者のケアによるひきこもり8050問題」

特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク理事長
田中 敦 氏

イ) 事例紹介「子育てと介護のダブルケアについて」

Ka.ELLE 代 表 野嶋 成美 氏

ウ) 事例紹介「本人と家族のはたらくについて」

特定非営利活動法人北海道若年認知症の人と家族の会副理事長
森林 美恵子 氏

エ) 事例紹介「働く（ビジネス）ケアラーの支援について」

株式会社ネクストご近所テラス札幌管理者 秋場 隆章 氏

主 催／北海道保健福祉部

参 加／林総合政策局次長、河原総合政策局担当

2) 令和7年度第2回北海道ケアラー支援推進協議会の開催

日 時／2025年8月26日（火） 13：30～15：30

場 所／北海道第二水産ビル3S会議室3階

議 題／①報告事項：関係調査（実態調査、道民・市町村・企業向け調査）結果について

②協議事項：次期「北海道ケアラー支援推進計画」の方向性について

出席者／永田総合政策局長

3) 連合「介護保険制度の見直しに向けた勉強会」の開催

日 時／2025年7月29日（火） 15：30～17：30

開催方法／完全WEB開催（Zoom）

プログラム／①講演「介護保険制度の見直しに向けて」

講師 結城 康博 淑徳大学総合福祉学部 教授

②質疑

③その他

出席者／永田総合政策局長、林総合政策局次長、全体で57人（構成産別28人、地方連合29人）

概 要／【IV政策・資料17】

4) 令和7年度第1回ケアラー支援推進センター運営委員会（兼研修・地域アドバイザーワーキングチーム

合同会議)

日 時／2025 年 6 月 2 日 (月) 15:00～17:00

場 所／北海道第二水産ビル 3 G 会議室

議 題／①令和 6 年度事業実施結果について

②北海道におけるケアラー支援に向けた令和 7 年度取組について (道庁より)

③令和 7 年度事業の実施に向けて

④令和 7 年度研修のプログラムについて

出席者／永田総合政策局長

概 要／【IV 政策・資料 18】

5) 北海道ケアラー支援推進協議会

①令和 6 年度第 2 回

日 時／2025 年 2 月 13 日 (木) 13:30～15:30

場 所／かでの 2.7

議 題／ア) 令和 6 年度におけるケアラー支援の取組について

イ) 第 2 期「北海道ケアラー支援推進計画」(仮称) 及びケアラー・ヤングケアラー実態調査について

出席者／永田総合政策局長

概 要／議題①については、1) 道のケアラー・ヤングケアラー支援の取り組みとして、支援推進月間における集中的な広報啓発活動、ケアラー支援推進シンポジウム (11/21 参加 211 名<会場+WEB 参加>)、早期発見・相談の場の確保及びケアラーを支援するための地域づくりなどが報告された。事例紹介 1 として、2) 「北海道ケアラーキャラバン 2024」の取り組みについて、一社) 北海道ケアラーズ代表理事の加藤高一郎氏から、延べ 23 市町村、186 人の参加者が集い、「大人ケアラー」「ヤングケアラー」どちらの内容も基礎を学べる研修会となったこと、広報も地域の自治体、振興局、地元フリーペーパー等を活用したことなどが報告された。また、事例紹介 2 として、3) 親子参加型イベント「みんなまんなか～未来を創るプロジェクト C」について、北海道社会福祉協議会ケアラー支援推進センターの中村健治センター長から、大学生による参加型イベントを開催し、当日の内容が上映され、「ふらぽっと報告」がなされた。議題②については、令和 4 年度に北海道ケアラー支援条例が出来て、第 1 期の計画期間 (令和 5 年 4 月～令和 8 年 3 月までの 3 年間) が終了し、第 2 期の計画策定に向けた策定スケジュールをはじめ、現行計画の概要と数値目標、次期計画策定に係る調査概要として、1) 道民意識調査、2) ケアラー実態調査 (前回、設問 38 問)、3) 市町村取組状況調査の対象者、調査概要、実施時期などについて提案された。各委員からも意見があったが、連合北海道からは、計画の総括と分析を行ってから、アンケートの内容を検討すべきであると指摘したところ、福祉局長から北海道で策定する計画は 6 年が基本であり、北海道医療計画は 3 年で中間見直しが行われることや、介護や障がい者福祉などの予算が絡むものは 3 年となっており、現在の 3 年計画で良いのか、また、「ケアラー計画」は他の計画と 1 年ずれていることなどの背景にあることから、計画期間も含めて検討する旨の答弁がなされた。提案されたスケジュールでは、4～5 月で「市町村取組状況調査」、5～8 月に「ケアラー実態調査」、8～10 月で「道民意識調査」を行い、推進協議会を開催し、10 月に「計画素案」を協議、1 月に「計画案」を協議する、同時に、道議会には 11 月に「素案報告」、2 月に「計画案報告」となっており、来年 3 月に計画を決定する時間軸となっている。

②令和 7 年度第 1 回

日 時／2025 年 5 月 16 日 (金) 15:30～17:00

場 所／TKP 札幌赤れんが前「カンファレンスルーム 5J」

議 題／①第 2 期「北海道ケアラー支援推進計画」について

②ケアラー実態調査に係る調査票について

出席者／永田総合政策局長

6) 北海道医療勤務環境改善支援センター運営協議会

①令和6年度第2回

日 時／2025年2月6日（木） 18:00～19:30

場 所／未定（オンラインまたは会場参集とオンラインのハイブリッド開催）

議 題／①令和6年度 北海道医療勤務環境改善支援センター活動実績について

②令和7年度 北海道医療勤務環境改善支援センター運営方針（案）について

②令和7年度第1回

日 時／2025年6月4日（水） 18:00～19:30

場 所／TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前ホール5G

議 題／①報告事項 北海道医療勤務環境改善支援センター活動実績について

②協議事項 北海道医療勤務環境改善支援センターの事業計画について

③その他／情報提供 令和7年度における特定労務管理対象機関の指定状況
及び令和7年度の指定スケジュールについて

参 加／永田総合政策局長

概 要／【IV政策・資料19】

7) 北海道医療費適正化計画検討協議会（書面開催）

①令和7年度第1回

日 時／2025年6月20日（金）までに意見等提出期限

議 題／第4期北海道医療費適正化計画の一部改定について

意 見／【IV政策・資料20】

8) 北海道高齢者保健福祉施策検討協議会

【令和6年度第3回】

日 時／2024年12月20日（金）

場 所／WEB会議➡書面開催へ変更

議 題／①「令和6年度北海道計画（介護分）」の進捗状況について

②令和7年度「北海道地域医療介護総合確保基金（介護分）」事業提案への対応の方向性

出席者／永田総合政策局長

概 要／1月10日まで意見報告を求められていたため、2号被保険者として、内容を絞って別添のとお
り意見反映を行った。【IV政策・資料21】

【令和7年度第1回】

日 時／2025年6月6日（金）までに意見等提出

場 所／札幌ガーデンパレス2階「孔雀・白鳥2」

議 題／①報告事項…1) 協議会委員の変更について、2) 有料老人ホーム紹介事業者に関する事項につい
て、3) 介護サービス事業者協働化等促進事業の実績について②協議事項…令和7年度「北海道地域医療介護総合確保基金（介護分）」を活用した事業一覧に
ついて

意 見／【IV政策・資料22】

9) 協会けんぽ北海道支部評議会

①令和6年度第2回

日 時／2024 年 10 月 21 日（月） 14：00～16：00

場 所／全国健康保険協会 北海道支部 4 階会議室

議 題／①令和 7 年度保険料率について

②令和 7 年度北海道支部事業計画および保険者機能強化予算策定に向けた検討について

出席者／永田総合政策局長

概 要／【IV政策・資料 23】

②令和 6 年度第 3 回

日 時／2025 年 1 月 16 日（木） 14：00～16：00

場 所／全国健康保険協会「北海道支部 4 階会議室」

内 容／①令和 7 年度北海道支部保険料率（案）について

②令和 7 年度北海道支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）

出席者／永田総合政策局長

概 要／令和 7 年度北海道支部保険料率（案）については、令和 3 年度の 10.45%から 3 年連続で減少し、この 3 年間で 0.24 ポイントの引き下げが実現していたが、令和 6 年度保険料率 10.21%から 0.1 ポイント引き上げ、10.31%とすることが提案された。これに対して連合北海道からは、全国の平均保険料率が 10.0%となった以上、不満であるが提案内容はやむを得ないこと。しかし、令和 8 年度の保険料率を検討する際には、今後も 5 兆円、6 兆円と積み上がる準備金残高をそのままにすることは課題である。協会けんぽは全国組織でありながら、支部間の保険料率の格差が 1.34%もあることに強い違和感がある。中長期の平均保険料率 10.0%は堅持しつつ、10.0%を超える支部間の保険料率の格差解消、保険料率の平準化に向けた料率算定ルールの見直しを行うよう、本部に意見具申すべきである、と要請した。

③令和 7 年第 1 回

日 時／2025 年 7 月 23 日（水） 14：00～16：00

場 所／全国健康保険協会北海道支部（4 階会議室）

議 題／①2024 年度決算（見込み）について

②2024 年度北海道支部事業結果報告について

③その他報告事項

参 加／永田総合政策局長

10) 令和 6 年度介護労働懇談会

日 時／2025 年 3 月 12 日（水） 9：30～11：30

場 所／かでる 2.7「730 研修室」

議 題／①講演：「介護現場における生産性向上の取組状況について」

講師：沖本 崇 & Consulting Firm 代表

②関係機関の令和 6 年度事業等について

③意見交換

主 催／（公財）介護労働安定センター北海道支部

出席者／永田総合政策局長

概 要／①の講演を 1 時間受けた後、②の関係機関・団体からの報告等が行われた。北海道労働 局、ハローワーク札幌、北海道保健福祉部高齢者保健福祉課、札幌市保健福祉局介護保険課、社会福祉協議会北海道福祉人材センター、介護労働安定センター北海道支部からそれぞれ報告があり、連合北海道からは、以下の 10 点について報告した。1) 連合北海道 2025 年度 政府予算に対する「要求と提言」（要請と 1 次回答）、2) 2025 年度政府予算に対する「要求と提言」知友旺要請行動、3) 連合北海道 2025 年度 道政に対する「要求と提言」（要請と 1 次回答／再指摘事項）、4) 2025 年度 道

政に対する「要求と提言」北海道との意見交換（対道交渉）、5) 2024 年度 連合北海道 道内市町村の実態調査の実施概況、6) 2025 年度 政策・制度実現に向けた取り組みの基本方針、7) 令和 6 年度 第 1 回高齢者保健福祉施策検討協議会における連合北海道の意見等、8) 令和 6 年度 第 3 回高齢者保健福祉施策検討協議会における連合北海道の意見等、9) 連合北海道 地域福祉・社会保障研究会、10) 連合 2024 年度重点政策討論集会における発言内容（すべての世代が安心できる社会保障の確立）についての取り組みを報告した。

11) 2025 年度「地域医療セミナー」

日 時／2025 年 2 月 22 日（土） 13：00 ～ 17：45

場 所／WEB 参加

主 催／自治労衛生医療評議会

出席者／永田総合政策局長／全体 WEB、対面併せて 450 人

概 要／①テーマ／「地域医療構想の現状と 2040 年にむけた今後の展望 ～医療現場の人材育成と労働環境改善を考える～」

②開催趣旨／現在、日本の地域医療は人口減少や高齢化、医療人材の慢性的な不足、さらに物価・人件費高騰によって厳しい病院経営に直面している。また、204 年を見据えた医療体制の再構築が求められる中で、医療現場における人員確保と人材育成、賃金・労働環境の改善が地域医療の持続可能性を支える上で重要である。このセミナーでは、医療現場の現状を共有するとともに、その課題を解決するための具体的な取り組みについて議論した。初日の全体会では、地域医療構想の進展や公立病院における医療 DX 推進の状況、災害時における公立病院の役割について講演や報告をいただき、地域医療の現状と今後の課題について学んだ。さらに、組織内国会議員からの活動報告を通じて、医療現場の課題について国の動きや国会議員の役割について共有した。

12) 令和 6 年度（2024 年度）北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会

日 時／2025 年 1 月 22 日（水）14：00 ～ 15：30

場 所／かでの 2.7「820 研修室」

議 題／①北海道福祉のまちづくり条例の見直しに関する報告

②北海道福祉のまちづくり条例施行規則の改正に関する報告

③北海道における障がい者等用駐車場スペース適正利用について

④福祉のまちづくりに関する取組実績及び計画、関連施策

⑤福祉のまちづくりに関する要請

⑥協議会構成団体の取組

⑦その他連絡事項

出席者／林総合政策局次長

概 要／「北海道福祉のまちづくり条例」の附則では、5 年ごとに社会情勢の変化等を踏まえ、見直しを検討することとしており、今年で 5 年を経過することから、条例見直しの必要性について検討した。公共施設の整備基準などハード面および啓発活動や学習機会の提供などソフト面については、本条例に影響する法改正等はなく、現段階で条例改正の必要性は生じていないことから、事務局（北海道保健福祉部福祉局地域福祉課）より「現行どおりとすることとしたい」旨の提起があった。また、本条例施行規則については、「誘導基準省令」の改正があったことから、整備基準の一部改正が示された。加えて、北海道におけるパーキング・パーミット制度（P P 制度）を含めた障がい者等駐車スペース適正利用については、P P 制度導入における調査結果の概要について事務局より報告があった。当面、道として、障がい者等用駐車スペースの適正利用に向けては道民に対し、より積極的な普及啓発に取り組むこととし、P P 制度の導入については道が独自に推進するのではなく、都府県の動向も踏まえつつ実効性の伴う全国一律の制度を構築するよう、国へ要望していくと述べた。

そのほか、福祉のまちづくりに関する取り組み実績などが示された。

13) 医療・介護フェス 2025「安心と信頼の医療と介護」中央集会

日 時／2025 年 5 月 17 日（土） 13：00～16：00

場 所／秋葉原コンベンションホール、WEB 併用

テーマ／地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて

～医療と介護の現場にさらなる処遇改善を！～

内 容／①主催者挨拶：芳野友子会長

②講 演：「これからの地域包括ケアシステムと人材確保」

講 師 医療介護福祉政策研究フォーラム 中村秀一 理事長

③トークセッション

テーマ：「医療・介護現場で働くすべての労働者の処遇改善、医療・介護の連携強化、組織拡大・強化などの取り組みや課題について

登壇者：医療・介護現場の組合員、連合、有識者など

④アピール採択

出席者／永田総合政策局長（WEB）、林総合政策局次長（WEB）、河原同担当（WEB）

14) 連合「患者本位の医療を確立する連絡会（第 21 回）」の開催

日 時／2025 年 8 月 18 日（月） 16：30～18：00

開催方法／完全 WEB 開催（Zoom）

プログラム／①高額薬剤の適正使用や費用対効果に関する勉強会

講演「高額薬剤の適正使用に向けて」

講師 國頭 英夫 日本赤十字社医療センター 化学療法科部長

②質疑応答、意見交換

③ HPV ワクチン男子接種問題について（堀委員）

④高額療養費制度の見直しなどに対する連合の考え方（連合本部）

⑤まとめ、閉会 佐保 連合総合政策推進局長

出席者／永田総合政策局長、林総合政策局次長、全体で 24 人

15) 全国健康保険協会（協会けんぽ）支部評議員および 地方連合会担当者会議（第 18 回）」開催

日 時／2025 年 9 月 12 日（金） 10：00～12：00

方 式／Zoom によるオンライン開催

参加者／永田総合政策局長

地方連合会推薦の協会けんぽ支部評議員、社会保障政策担当者、合計 50 名

内 容／

10：00 主催者挨拶

10：05 講演（40 分＋質疑応答 10 分）

テーマ：協会けんぽの現状と課題

講 師：松崎 俊久 全国健康保険協会（協会けんぽ）企画部長

11：00 意見交換

テーマ：協会けんぽ 2026 年度保険料率設定に向けて

12：00 閉会

概 要／【IV政策・資料 24】

4. 公共交通・物流ネットワーク政策に関する取り組み

(1) 連合北海道・航空連合北海道「北海道に対する航空労働者課題の要請」

1) 航空連合北海道との「要求と提言」対道交渉に向けた意見交換

日 時／2025 年 2 月 10 日（月） 14：30～16：00

場 所／さっぽろ創世スクエア 4 階会議室

内 容／①航空連合北海道「2025 年 北海道に対する航空課題に係る要請書」の検討について

②対道交渉（意見交換）の日程／2025 年 5 月 9 日（金） 15：00～17：00

参 加／航空連合：本部 赤池副事務局長、北海道 松本会長、滝谷事務局長

連合北海道：永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

2) 航空連合北海道「北海道に対する航空労働者課題の要請」に係る意見交換（交渉）

日 時／2025 年 5 月 9 日（金） 15：00～17：00

場 所／北海道庁本庁舎地下 1 階 危機管理センター B

参加者／航空連合北海道：松本会長、松村副会長、滝谷事務局長

航空連合本部：赤池副事務局長

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林同次長、河原同担当（計 8 人）

相手方／北海道庁総合政策部／藤嶋航空港湾局長、丹野航空課長、竹内空港戦略担当課長、松岡課長補佐（航空企画）、幅口課長補佐（航空ネットワーク）、原田主幹（空港戦略・国際航空）、日比野総括主査、藤井主事（計 8 人）

概 要／詳細について「政策情報 No. 4（2025 年 5 月 16 日）」を発信

【IV政策・資料 25】

(2) JR総連 2025 年 安全・政策フォーラム

日 時／2025 年 5 月 11 日（日） 13：00～16：00

場 所／北海道自治労会館 5 階大ホール

主 催／北海道旅客鉄道労働組合

内 容／①開会あいさつ

②主催者あいさつ

③来賓あいさつ

④提言

⑤まとめ

⑥閉会あいさつ

参 加／全体 280 人、荒木副事務局長

5. 定例道議会对応

(1) 連合北海道道議会議員団との連携

1) 2024 年度第 4 回定例道議会

①会 期／2024 年 11 月 26 日（火）～12 月 12 日（木）

②民主・道民連合政策審議会との政策協議

日 時／2024 年 11 月 19 日（火） 11：00～12：00

場 所／民主・道民連合会議室

参 加／民主・道民連合：中川政審会長、瀧上政審筆頭副会長、木葉政審副会長、小林委員、清水委員、鈴木委員、田中委員、小泉委員、岡田委員

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

③報告・提起項目

- ア) 連合北海道 2025 春季生活闘争 基本構想（案）について
- イ) 連合北海道 2025 年度 道政に対する「要求と提言」対道交渉（意見交換）について
- ウ) 「ラピダスの北海道進出に係る北海道に対する要請書」対道交渉（意見交換）について
- エ) 2024 年度 連合北海道 道内市町村の実態調査の結果について

2) 2025 年度第 1 回定例道議会

①会 期／2025 年 2 月 19 日（水）～3 月 18 日（水）

②民主・道民連合議会との連携会議

日 時／2025 年 2 月 19 日（水） 7：50～8：30

場 所／ホテルポールスター札幌 3 階「多目的ホール B」

出席者／

【民主・道民連合】

梶谷会長、松山副会長、畠山副会長、池端幹事長、川澄副幹事長、山根副幹事長、清水副幹事長、菅原
議会対策委員長、中川政策審議会長、測上政策審議会筆頭副会長

【連合北海道】

須間会長、和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長、山田組織労働局長、皆川組織対策局長、
小倉総務財政局長、永田総合政策局長（事務局：林総合政策局次長、河原総合政策局担当）

その他／詳細は「政策情報 No. 3（2025 年 2 月 20 日）」を発信

【IV政策・資料 26】

③民主・道民連合政策審議会との政策協議

日 時／2025 年 2 月 4 日（火） 16：00～17：00

場 所／民主・道民連合会議室

出席者／民主・道民連合：中川政審会長、木場政審副会長、小泉政審副会長、田中委員、鈴木委員、宮崎
委員、小林委員

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原同担当

④要請・報告事項

- ア) 2025 春季生活闘争について
- イ) 2025 年度 政策・制度実現に向けた取り組みの基本方針
- ウ) 2025 年度 エネルギー・環境政策委員会の取り組みの基本方針
- エ) 2024 年連合北海道 道内市町村の実態調査「調査・分析結果」

⑤その他／詳細は、政策情報 No.2（2025 年 2 月 7 日）」を発信

【IV政策・資料 27】

3) 2025 年度第 2 回定例道議会

①会 期／2025 年 6 月 17 日（火）～7 月 4 日（金）

②民主・道民連合政策審議会との政策協議

日 時／2025 年 6 月 3 日（火） 10：00～11：00

場 所／道議会民主・道民連合会議室

出席者／民主・道民連合：畠山政審会長、鈴木政審筆頭副会長、田中副幹事長、測上委員、小林委員、清
水委員、岡田委員、山根委員

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原同担当

③要請・報告事項

- ア) 2025 春季生活闘争の中間まとめ（素案）
- イ) 2026 年度政府予算に対する「要求と提言」（案）及び道政に対する「要求と提言」（原案）
- ウ) 第 2 回定例会における意見書採択の要請
- エ) 2024 年度 連合北海道 病院職場への実態調査結果

④その他／詳細は「政策情報 No. 6 (2025 年 6 月 9 日)」を発信

【IV政策・資料 28】

4) 2025 年度第 3 回定例道議会

①会 期／2025 年 9 月 9 日 (火) ～ 10 月 3 日 (金)

②民主・道民連合議会との連携会議

日 時／2025 年 9 月 9 日 (火) 7:50 ～ 8:30

場 所／ホテルポールスター札幌 2 階「コンチェルト」

出席者／民主・道民連合：梶谷会長、松山副会長、畠山副会長、池端幹事長

山根副幹事長、清水副幹事長、菅原議会对策委員長、

中川政審会長、瀧上政審筆頭副会長

連合北海道：須間会長、和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長、山田組織労働局長、

皆川組織対策局長、小倉総務財政局長、永田総合政策局長、

(事務局：林総合政策局次長、河原総合政策局担当)

③その他／詳細は「政策情報 No.12 (2025 年 9 月 9 日)」を発信

【IV政策・資料 29】

④民主・道民連合政策審議会との政策協議

日 時／2025 年 9 月 2 日 (火) 11:00 ～ 11:50

場 所／民主・道民連合会議室

出席者／民主・道民連合：畠山政審会長、田中議員、瀧上議員、山根議員、清水議員、宮崎議員、鈴木 (仁)

議員、岡田議員、小泉議員、小林議員、鈴木 (一) 議員、川澄議員

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原同担当

⑤要請・報告事項

ア) 2025 年度政府予算に対する「要求と提言」中央要請行動〔報告〕

イ) 2024 年度道政に対する「要求と提言」要請行動〔報告〕

ウ) 2023 年度北海道地域最低賃金〔報告〕

エ) ラピダスの北海道進出に係る北海道への要請について

オ) 自治体実態調査の結果について

⑥その他／詳細は「政策情報 No.11 (2025 年 9 月 4 日)」を発信

【IV政策・資料 30】

5) 民主・道民連合議員 27 人とのラピダス課題の勉強会

日 時／2024 年 11 月 25 日 (月) 8:00 ～ 8:45

場 所／ホテルポールスター札幌「4 階ラベンダー」

内 容／ラピダスの北海道進出に係る課題

参 加／和田事務局長、永田総合政策局長

(2) 北海道結志会との意見交換

1) 2024 年度第 4 回定例道議会

①会 期／2024 年 11 月 26 日 (火) ～ 12 月 12 日 (木)

②北海道結志会との意見交換

日 時／2024 年 11 月 19 日 (火) 13:30 ～ 14:30

場 所／道議会北海道結志会会議室

出席者／結 志 会：佐藤会長、白川政審会長、新沼政審筆頭副会長、石川政審副会長、水口政審副会長、

池本顧問

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当

③報告・提起項目

ア) 連合北海道 2025 春季生活闘争 基本構想 (案) について

イ) 連合北海道 2025 年度 道政に対する「要求と提言」対道交渉 (意見交換) について

- ウ)「ラピダスの北海道進出に係る北海道に対する要請書」対道交渉（意見交換）について
エ) 2024 年度 連合北海道 道内市町村の実態調査の結果について

2) 2025 年第 1 回定例道議会

日 時／2025 年 2 月 4 日（火） 16：00 ～ 17：00

場 所／北海道結志会会議室

出席者／結 志 会：滝口顧問、赤根幹事長、白川政審会長、新沼政審筆頭副会長、石川政審副会長、水口政審筆頭副会長

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原同担当

3) 2025 年第 2 回定例道議会

日 時／2025 年 6 月 3 日（火） 15：00 ～ 16：00

場 所／道議会北海道結志会会議室

出席者／結 志 会：池本顧問、赤根幹事長、白川政審会長、新沼政審筆頭副会長、水口政審副会長、石川政審副会長

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林同次長、河原同担当

4) 2025 年第 3 回定例道議会

日 時／2025 年 9 月 2 日（火） 15：00 ～ 16：00

場 所／北海道結志会会議室

出席者／結 志 会：佐藤会長、赤根幹事長、新沼議員、石川議員、水口議員、白川議員、池本議員

連合北海道：荒木副事務局長、永田総合政策局長、林総合政策局次長、河原同担当

(3) カスタマー・ハラスメント道条例

1) 道条例制定に向けた道議会傍聴

日 時／2024 年 11 月 26 日（火） 10：00 ～ 11：00

場 所／北海道議会

内 容／カスタマー・ハラスメントに関する道条例の制定

参加者／荒木副事務局長、永田総合政策局長、山田組織労働局長、林総合政策局次長、河原総合政策局担当、U Aゼンセン 2 人、自治労 4 人、J R 総連 2 人、安全衛生センター 2 人 計 15 人

概 要／【IV政策・資料 31】

2) 道条例に係る指針（素案）に対するパブリックコメントの実施

2024 年 11 月 26 日、道議会本会議にて「北海道カスタマーハラスメント防止条例案」が全会一致で原案のとおり可決成立した。また、1 月 27 日には北海道労働審議会が開催され、「北海道カスタマーハラスメント防止条例に係る指針（素案）」について審議が行われた。

連合北海道は、この間、本条例の成立に向けて、勤労者安全センターと連携し、民主・道民連合、北海道結志会をはじめ、自民党を含む全会派に働きかけるなど、道議会対策を強めてきた。引き続き、カスタマーハラスメント対策の強化に向けて、より一層の啓発活動や相談体制の強化に努めるとともに、国に対して法制化を求めていく。

現在、今年 4 月からの条例施行に向けて、「北海道カスタマーハラスメント防止条例に係る指針（素案）」について、道民から広く意見をいただくための道民意見提出手続（パブリックコメント）が実施されており、産別・地域協議会において、指針（素案）に対する意見等があれば、パブリックコメント期間中に意見書提出様式により、下記の「(3) 意見等の提出方法及び提出先」まで電子メールにて報告されるよう、2025 年 2 月 17 日付け連合北海道発第 41 号により案内した。

(ア) 意見等の募集期間

2025 年 2 月 6 日（水）～ 3 月 5 日（水）

（イ）計画等の案及び参考資料の入手方法

ア）「北海道カスタマーハラスメント防止条例に係る指針（素案）」別添省略

イ）北海道のホームページ（経済部労働政策局雇用労政課働き方改革推進室ホームページ）に掲載

[Https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/212228.html](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/212228.html)

ウ）以下の場所での閲覧

- ・北海道経済部労働政策局雇用労政課働き方改革推進室（道庁 9 階）
- ・北海道総務部行政局文書課行政情報センター（道庁別館 3 階）
- ・各総合振興局及び振興局（石狩振興局を除く）の行政情報コーナー

（ウ）意見等の提出方法及び提出先

電子メール Keizai.korou3@pref.hokkaido.lg.jp

3) 北海道カスタマーハラスメント防止条例に係る指針（案）

① 2025 年 3 月 17 日（月）北海道議会経済委員会で決定

② 指針（案）～省略

③ 2025 年度カスハラ予算内訳

1) 情報収集 /200 万円、2) 相談（電話）/500 万円※社労士会へ委託

3) セミナー /200 万円、ポスターその他 /100 万円

・ 2024 年度のポスターの作成は、1,000 枚を作成し、すでに在庫は少数。また、ポスター制作費用は 1,000 枚で 12 万円

・ 2025 年度のポスターは、各自治体にも送付する予定

6. 地方議会意見書採択の取り組み

（1）道議会第 2 回定例会における意見書採択の結果

1) 会期／2025 年 6 月 17 日（火）～ 7 月 4 日（金）

2) 意見書採択の結果／【IV政策・資料 32】

① 令和 7 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書 ×

② 地方財政の充実・強化に関する意見書 ○

③ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書 ○

④ 道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改訂版）を見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書 -

3) 持続可能な学校の実現に必要な教育指導体制の充実を求める意見書について

【IV政策・資料 33】

7. 公職・関係組織会議対応

（1）北海道創生協議会

1) 令和 6 年度第 2 回

日 時／2024 年 12 月 10 日（火）

場 所／書面開催

議 題／①「北海道人口ビジョン（2024 年度改訂版）及び「第 3 期 北海道創生総合戦略」素案について

②「第2期 北海道創生総合戦略」の推進状況について

対 応／須間会長、永田総合政策局長

概 要／【IV政策・資料 34】

2) 令和6年度第3回

日 時／2025年2月5日（水） 13：30～17：00

場 所／京王プラザホテル札幌 2階エミネンスホール

【地域創生に関する講演会】13：30～14：30

基調講演「若者・女性にも選ばれる地方の生活環境・経済の創生について」

講師 株式会社 陽と人 代表取締役 小林 味愛 氏

今回の協議会では、次期北海道創生総合戦略の原案等について議論を予定していることから、国の「新しい地方経済・生活環境創生本部」の有識者会議構成員及び事務局職員を招き、「地方創生に関する講演会」を開催した。

【情報提供】14：30～15：00

「地方創生 2.0 の起動について」

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 参事官補佐 加藤 卓 氏

【北海道創生協議会】15：15～17：00

議 題／①「北海道人口ビジョン（2024年度改訂版 原案・事務局案）」及び「第3期北海道創生総合戦略 原案・事務局案」について

②意見交換

出席者／須間会長、（林総合政策局次長、河原担当 陪席）

概 要／【IV政策・資料 35】

3) 令和7年度第1回

日 時／2025年6月2日（月） 14：00～16：00

場 所／ホテルモントレエーデルホフ札幌 13階「ベルヴェデーレ」

議 題／①地方創生 2.0 に係る国の動向等について

②北海道創生総合戦略の今年度の推進方向等について

③意見交換

④その他

出席者／須間会長、（随員：林総合政策局次長）

概 要／【IV政策・資料 36】

(2) 北海道創生協議会幹事会

1) 令和6年度第3回

日 時／2024年10月28日（月） 10：00～11：30

場 所／北海道立道民活動センター かでる 2.7 10階 1050会議室

議 事／①「北海道人口ビジョン（2024年度改訂版）」及び「第3期北海道創生総合戦略」素案について

②「第2期北海道創生総合戦略」の推進状況について

出席者／永田総合政策局長

概 要／【IV政策・資料 37】

2) 令和6年度第4回

日 時／2025年1月23日（木） 10：00～11：30

場 所／かでる 2.7「1030会議室」

議 題／①「北海道人口ビジョン（2024年度改訂版）」及び「第3期北海道創生総合戦略」原案について

②「地方創生に関する講演会」及び「第22回北海道創生協議会」について

③今後のスケジュールについて

出席者／永田総合政策局長

3) 令和7年度第1回

日 時／2025年5月19日（月） 13:30～14:30

場 所／かでの2.7「1040会議室」

議 題／①令和7年度の北海道創生総合戦略の推進方向（案）について

②その他

出席者／永田総合政策局長

4) 令和7年度第2回・北海道創生2.0実務者ワーキング（第1回）

日 時／2025年7月28日（月） 10:30～11:30

場 所／石狩振興局5階 大会議室（WEB併用）

議 題／①実務者ワーキングの開催趣旨について

②実務者ワーキングのスケジュール（想定）について

③「地方創生タスクフォース会議」（6/30）について

④次回の実務者ワーキングに向けて

⑤その他（意見交換）

出席者／河原総合政策局担当

構成メンバー／北海道創生協議会を構成する各団体の実務者クラス

概 要／北海道創生に向け、国等の検討に呼応して「北海道の創生協議会幹事会」のもとに施策・主体等の連携の方向性や第3期北海道創生総合戦略の見直し検討に関する議論を行うため、今回、実務者ワーキングを設置したとの説明があった。また、道からは、6月30日に国主導で開催された「地方創生タスクフォース会議」で、「北海道における地方創生2.0の推進体制（イメージ）」を提案したとの報告があった。さらに、次回（8月or9月開催予定）の実務者ワーキングに向けて、「地方創生タスクフォース会議」での伊東大臣の発言内容も踏まえ、本ワーキング構成メンバーから地方創生に関する意見を聴取したいとして、調査票の提出要請があった。それら回答されたものに対する検討結果は、「第3期北海道創生総合戦略」の見直しの検討に反映させるとのことであった。

5) 令和7年度第3回・北海道創生2.0実務者ワーキング（第2回）

日 時／2025年9月17日（水） 10:00～11:30

場 所／道庁別館5階石狩振興局大会議室

議 題／①第3期北海道創生総合戦略の見直し方針について（情報提供）

②地方創生に係る「広域リージョン連携」について（情報提供）

③現状と課題（調査票）の共有について（意見交換）

出席者／永田総合政策局長

概 要／【IV政策・資料38】

(3) 令和6年度第1回北海道住宅対策審議会

日 時／2024年12月26日（木） 10:00～11:30

場 所／アスティ45「中研修室1206」

議 題／①道営住宅の利便性を踏まえた家賃等の見直しについて

②地域課題に対応した道営住宅の活用について

③道営住宅における子育て世帯の優先入居の拡充について

④道営住宅の新たな配置について

⑤性能向上リフォームの取り組みについて

出席者／永田総合政策局長

概 要／「北海道営住宅の入居需要を踏まえた管理のあり方について」を踏まえ、建物の立地や設備水準などによる入居の申し込みの偏りや長期空き家の解消に向けた検討状況など、審議会への報告案件が5件あり審議を行った。提案に対して、連合北海道から以下の点についての発言を行った。議題①について、個別団地ごとに算出した駐車料金が不明であり、その額と算出した根拠を示すべきである。また、見直しにより、駐車料金が減額、増額される世帯数の割合を質したところ、道からは、「増額で1,900円＝9,000台、減額で300円＝800～900台」と回答した。また、連合北海道から、今回の家賃見直しについて、負担増世帯が約42%、平均増額842円だが、駐車料金も増額となると2重の負担増となる。これでは、長期的な空き家対策と言えるのか疑問である。生活保護や家賃の減免対象世帯は、ある程度の家賃の減免制度により対応できるが、中間世帯層を立地不便地へ移動せざるを得ない状況を生み出し、空き家対策を図るということでは、本来のセーフティネットと言えるのか疑問であると指摘し、今回の見直し案で設備利便係数、立地利便係数は、加点を無くし、減点だけを設定する形で優劣をつけるようにすれば、利便性係数の見直しによる影響世帯の試算での42%の負担増世帯が無くなり、空き家対策に繋がっていくという考えもあることを指摘した。議題②について、空き家対策の1つとして、市町村では別途要領を定めて単身者も公営住宅に入居できるようにしていると聞く。同じ公営住宅である札幌市内の道営住宅においては、60歳以上なら入居できると聞いているが、応募倍率が低く一定の空き住戸がある団地をターゲットに60歳未満にも入居できるようにするなど、入居要件を緩和して空き家対策を進めるべきであると指摘した。議題⑤について、「住まいのゼロカーボン化推進事業」について、もっと市町村に周知し、活用を促す取り組みの必要性を指摘した。特に、ゼロカーボンシティ宣言し対象の補助事業を実施する市町村が令和5年実績21市町、令和6年度要望55市町村と増加していることから、より一層の市町村の取り組み促進を促すよう要請した。

(4) 北海道総合開発委員会

1) 令和7年度第1回

日 時／2025年6月6日（金） 13:00～15:00

場 所／札幌ガーデンパレス2階「孔雀・白鳥2」

議 題／①令和6年度 北海道総合計画の推進状況について

②その他

出席者／須間会長、（随員：林総合政策局次長）

概 要／【IV政策・資料39】

(5) 北海道公衆浴場問題協議会

1) 令和7年度第1回

日 時／2025年4月23日（水） 10:00～11:00

場 所／WEB開催

議 題／①報告／令和7年度公衆浴場関係予算の概要、令和6年度公衆浴場基本調査結果、
令和6年度公衆浴場物価高騰対策支援事業

②議事／令和7年度公衆浴場経営実態調査

出席者／永田総合政策局長

概 要／公衆浴場法第1条に基づく、普通公衆浴場（北海道内は212施設）の経営実態調査などを実施し、北海道としての物価高騰対策支援事業の実施や、料金改定の有無などを検討する協議会が開催された。会議では上記議題①、②の報告、提案がなされた。質疑では、連合北海道から3点について以下のとおり発言した。3年連続して、各10円の料金引上げが実施されたが、利用者の立場としては地域から公衆浴場が無くなると利用者にとっても深刻な問題となるものの、経営実態調査を精緻

に行い、極力利用料金のさらなる見直しは避けてほしい。また、物価高騰対策支援事業については、昨年と比べて低額（50,000 円→17,000 円）だが、利用していない施設等がないよう、すべての事業所に行き渡るような丁寧な支援をお願いする。さらに、公衆浴場経営実態調査については、協力する施設数が少なく、果たして正確な経営実態調査と言えるのか、公衆浴場業生活衛生同業組合の組合員へ働きかけをお願いするとのことだが、北海道としても努力するべきである、と発言し、道および公衆浴場業生活衛生同業組合から難しい課題もあるが検討する旨の回答があった。次回は 6 月開催とし、経営実態調査結果と料金改定の是非を問う審議会の設置などについて議論する予定。

2) 令和 7 年度第 2 回

日 時／2025 年 7 月 2 日（水） 13：30～14：30

場 所／WEB 開催

議 題／①報告事項…令和 7 年度公衆浴場経営実態調査結果について

②協議事項…公衆浴場入浴料金の取り扱いについて

参 加／永田総合政策局長

概 要／【IV政策・資料 40】

(6) 北海道地方自治研究所との連携

1) 北海道地方自治研究所主催 2024 自治講座

日 時／2024 年 11 月 23 日（土） 13：30～16：30

場 所／北海道自治労会館 4 階ホール（対面開催のみ）

テーマ／国・自治体関係はどうなるのかー地方自治法 2024 年改正を中心に

内 容／報告①「地方自治法 2024 年改正の概要と問題点」

講師 嶋田 暁文氏（九州大学教授）

報告②「改憲論の現下の動向と特徴」

講師 清末 愛砂氏（室蘭工業大学大学院教授）

パネルディスカッション

パネリスト 片山 健也氏（ニセコ町長）

清末 愛砂氏（室蘭工業大学大学院教授）

嶋田 暁文氏（九州大学教授）

司 会 山崎 幹根氏（北海道大学公共政策大学院教授）

会 費／1,000 円（当日会場にて）

概 要／現行憲法と同じ 1947 年 5 月 3 日の施行から 77 年を経た「地方自治法」が、2024 年をもって改定され、緊急時における国の自治体への指示権が法定化された。2000 年の同法改定、いわゆる第一次地方分権改革によって徹底されたはずの「国と自治体の関係は対等」という前提が崩され、かつての上下関係へと先祖返りしたかのような今回の強引な法改定に、国内では反対の声が静まらない現状にある。他方、2012 年の自民党憲法改正案の公表以来、改憲勢力は第 9 条への自衛隊の明記とともに、緊急時の内閣立法を可能とする「緊急事態条項の導入」を実現しようとしており、国（中央政府）への過剰な権力集中という点で、上記の地方自治法改定とその本質を共有している。地方自治と平和、そして民主主義の危機が叫ばれるなか、今回の自治講座では、2024 年に改定された地方自治法の問題性を捉えつつ、国と自治体が追求していくべき関係のあり方についてあらためて考えさせられた。

参加者／河原総合政策局担当

2) 2025 年度第 61 回北海道地方自治研究所定期総会及び定期総会記念講演会

【定期総会】

日 時／2025 年 6 月 13 日（金） 14：00～15：30

場 所／北海道自治労会館 3 階中ホール

議 題／①報告事項…2024 年度事業報告、同決算報告、同監査報告

②協議事項…2025 年度事業計画、同予算

参 加／河原総合政策局担当

【記念講演会】

日 時／2025 年 6 月 13 日（金） 15：30～17：00

テーマ／「北海道すら境界を超えて世界をかき混ぜる未来」

講 師／成田 智哉（マドラー株式会社代表取締役）

参 加／河原総合政策局担当

3) 現地視察「夕張市の今を見る」

日 時／2025 年 9 月 12 日（金） 9：00～17：30

場 所／夕張市役所、市内巡察（旧市民会館、下水道浄化センター、清陵地区住宅街、拠点複合施設りすたほか）

主 催／北海道地方自治研究所・夕張検証研究会

協 力／夕張市、私鉄総連北海道地方労働組合

参 加／林総合政策局次長、河原総合政策局担当

概 要／夕張市の財政再生計画（2009～2029 年度）は、計画自体は 2030 年 3 月末の終了とされつつも、実質的には赤字償還の完了する 2027 年 3 月末をもって終了となる見通しである。この十数年、同計画に基づく赤字償還と財政支出の節減を進めた結果、同市は旧産炭地自治体としてのハンデはそのままに、65 歳以上の比率は 54%、14 歳以下の比率は 5%弱といった超少子高齢・人口減少先進地としての様相をさらに強める現状に立ち至っている。このような現状を踏まえ、再来年春に財政再生計画の実質的な終了を迎える夕張市を訪ね、財政課長より、財政再建計画の計画概要をはじめ、廃止した多くの事業や人件費の見直し、コンパクトシティ、交通インフラなど財政再建に係る経過説明を受けた。その後、旧市民会館や旧図書館、旧診療所、老朽化市営住宅など廃墟と化した建築物の視察を行ったほか、「拠点複合施設りすた」（戸籍など手続き窓口や図書館、多目的ホールなどが入った施設）や再編した市営住宅など新たなまちづくりの現場を視察した。そのほか下水道浄化センターを視察するなど、同計画下での十数年を経た地域や住民生活の現状について学びを深めた。

（7）地方財政・自治体改革への参画

1) 2025 年度「地方財政セミナー」

日 時／2025 年 1 月 31 日（金） 11：00～17：00

場 所／WEB 参加

主 催／自治労本部

内 容／

①あいさつ、自治体議員連合代表あいさつ

② 11：15～記念講演「透明性と説明責任を重んじる財政運営」

大正大学・地域構想研究所 片山 善博所長（元鳥取県知事）

③ 13：15～「令和 7 年度地方財政の姿」

総務省自治財政局 神門 純一財政課長

④ 15：00～「地方財政分析の実践報告～大分県内自治体の財政状況推移」

大分県本部竹田市職員労働組合・自治体自立専門部会 園田友樹さん

（第 17 回地方自治研究賞：自治研究論文部門・奨励賞受賞）

飛田 博史 地方自治総合研究所副所長

⑤ 16：15～「2025 年度地方財政対策の分析とまとめ」

其田 茂樹 地方自治総合研究所常任研究員

⑥ 17:00 終了

出席者／林総合政策局次長、河原総合政策局担当

概要／記念講演では、鳥取県知事時代に透明性と説明責任を重んじる財政運営をしてきたことに触れられ、それには組織内でのミッションの確認と共有が重要であるとされ、また予算査定後に予算内容をHPに公開したことで予算編成の透明化につながり、真のDX化が進んだことが紹介された。「令和7年度地方財政の姿」では地財対策のポイントと概要などについて説明があり、「地方財政の分析の実践報告」では大分県内の財政状況の推移などについて考察した研究内容が紹介された。最後に「地方財政対策の分析とまとめ」として、2025年度予算は、物価高を背景とした歳出・税収の伸びに支えられた財政となっていると報告した。

(8) ダイバーシティ研究会

日時／2024年12月10日（火） 15:30～17:30

場所／北海道自治労会館「3階役員会議室」

内容／報告「2023年統一地方選にみる女性の政治参加－候補者データの分析に向けて」

北海道大学大学院法学研究科准教授／本研究所理事 馬場 香織 氏

主催／北海道地方自治研究所

出席者／林総合政策局次長、河原総合政策局担当

概要／報告内容としては、2023年の統一地方選挙では道府県で女性当選者が過去最多となったが、女性の政治参画への障壁が今でも残っており、地方に根強く残る伝統的な性別役割分業意識や三世同居率の高い所では立候補に理解してもらえないなどの文化的・構造的要因、また議員定数が少ないと当選しづらいこと、さらにバックに政党がないと立候補に至らないなどの制度的要因もある。立候補には3つの主要パターンとして、①地区推薦・産業代表型、②政党の推薦・支援型、③地域住民との交流などを起点とした草の根型があるが、女性議員をより増やすためには、文化的・構造的要因及び制度的要因に対する課題解決、家庭と議会の両立の確立、議員後のキャリアについても議論を深める必要があると主張した。

(9) 令和7年度第1回北海道カスタマーハラスメント対策推進協議会

日時／2025年6月4日（水） 10:30～12:00

場所／札幌ガーデンパレス2階「孔雀・白鳥2」

議題／①専門家によるカスハラ実態等の講演

②道の施策説明

③構成団体からの意見、情報提供（カスハラを取り組みや考え）など

参加／永田総合政策局長

概要／【IV政策・資料41】

(10) 構成組織への講師派遣

1) UAゼンセン アークスグループ労働組合連合 政策勉強会

日時／2025年7月28日（月） 13:00～17:00

場所／ホテルノースシティ

内容／①主催者挨拶【AG労連 鈴木 中央政策局長】

②連合北海道の活動と組織体系について（基礎知識）30分【永田 連合北海道総合政策局長】

③連合の政策実現に向けた取り組み 60分【永田 連合北海道総合政策局長】

④UAゼンセン北海道支部 地域における政策・制度要請について 45分

【UAゼンセン北海道 奈良 支部長、藤田 主任】

⑤分散会 60分

出席者／アークスグループ傘下組合単組（中執対象）29 人

（道内、宮城県、栃木県、イオン北海道）

目 的／勉強会を通じて、政策立案・実現を達成できるような人材を育成する。

目 標／産別の政策実現のための手段である連合への政策要請の取り組みに関して学習する。連合及び連合北海道について知識を深め、ナショナルセンターの意義や重要性について理解する。連合を通じた政策実現の好事例とその流れについて学習し、自分たちの政策実現行動への道筋の参考とする。

IV. 政策制度 添付資料はこちらから



V. ジェンダー平等局

V. ジェンダー平等局

【取り組みの総括と課題】

【ジェンダー平等推進計画フェーズ1】

「男女平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場・社会の実現」を掲げて、運動を進めてきました。

産別や地協においては、トップによる発信や執行委員会等による指導強化を求めるとともに、自組織や地域で開催される学習会・セミナーに参加して、推進計画の内容や労働組合が男女平等政策に取り組む意義などについての啓発に努めてきました。

「Change！達成目標」は、「必ず達成しなければならない目標」でしたが、未達の組織が少なくありませんでした。

【政策実現に向けて】

世界経済フォーラムが2025年6月発表した各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数において、日本の順位は、調査対象148か国のうち前年と同じく118位で主要7か国（G7）のうち最下位となっており、アジアのなかでは、タイ、ベトナム、韓国、中国などを下回り依然として男女平等で後れをとっています。

私たちは、次の世代へ続く持続可能な社会、お互いに認め合いSDGsの考えである「誰一人取り残さない」包括的な社会に変えていかなければなりません。SDGs「誰一人取り残さない」包括的な社会を実現するには、日本型の「雇用社会」が抱えてきた、長時間労働、雇用形態間格差、過労死・過労自殺、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、男女差別、性的指向及び性自認（SOGI）に関する差別など様々な問題について取り組みを強化していく必要があります。

ジェンダー平等局では、「ジェンダー平等推進計画フェーズ1」としてChange（達成目標）、Challenge（推進目標）へと踏み出し、Movement（ムーヴメント）として大きなうねりを創り出す運動を進めてきました。

2024年10月からは、「ジェンダー平等推進計画フェーズ2」が打ち出され、達成できなかった項目については引き続き目標とし、新たにトップリーダーのメッセージ発信、三役に女性の登用、執行機関への女性の参画率50%が追加されています。

各種ハラスメントの解消、ワーク・ライフ・バランスの実現、男女間賃金格差などの是正を目指し、引き続き取り組みを進めています。

今後も連合北海道の政策要求に係る要請行動や、各級女性議員等と連携した街頭行動など多様性を意識した取り組みを展開していきます。

【男女平等参画推進委員会・女性委員会活動】

連合北海道男女平等参画推進委員会と連携し、女性の社会的地位の向上や働き方の改善などを目指し活動してきました。

女性委員会は、月1回を目途とした幹事会をwebと対面で開催し、各種集会等もweb併用で開催し、参加参画の裾野を広げるとともに幹事の参加しやすさにも資する活動を展開しました。

2025年度は、「つながる力、広がる未来、ともに歩もうジェンダー平等の社会へ」をジェンダー平等！（産別選考のスローガン）を掲げ、活動を進めてきました。

6月の「男女平等月間」には、北海道労働局雇用環境・均等部に対し、「男女平等参画社会の実現に向けた要請」を行いました。連合北海道として、①行政窓口における充実した相談・支援業務および、行政サービスの質の向上に向け、臨時職員・非常勤職員の雇用の安定と処遇改善②防災・復興に関する意思決定の場への女性の参画を推進するとともに、防災の現場に置ける女性の参画を拡大③女性活躍推進法にもとづく特定事業主行動計画を策定するとともに、一般事業主同様、男女間格差の要因分析・是正に取り組むこと④カスタマー・ハラスメントを行ってはならないことについての社会における機運醸成のため、関係機関（消費

者教育推進地域協議会・地方消費者行政や県警察など）と連携し、必要な啓発を積極的に行うなどについて要請しました。労働局からは、「各種機関や団体との連携・協力」、「引き続き情報や取り組みの周知」を行っていく、また、本日の要請について、「当局のみで行えないことについては、機会をとらえ厚生労働省に要請の趣旨を伝えたい」と回答がありました。

「ジェンダー平等フェーズ2」の実行に向け、男女平等参画推進委員会でその概要について学習会を行いました。

現状の課題は、各産別、地協における女性役員のなり手不足と育成が進んでいないことが大きな要因であることと認識しており、引き続き様々な運動を展開するなかで女性参画の種となるよう取り組んでいかなければなりません。

1. 連合北海道 男女平等参画推進委員会

(1) 推進委員会体制

委員長	萩原 光典	連合北海道 副会長
副委員長	河原崎育子	女性委員会委員長・自治労
事務局長	金子 ユリ	連合北海道副事務局長
事務局次長	新名 玲子	女性委員会副委員長・JAM 北海道
〃	菊地 貴子	女性委員会事務局長・北教組
〃	横内 智子	女性委員会事務局次長・国公連合
〃	山田 新吾	連合北海道・組織労働局長
〃	皆川 洋仁	連合北海道・組織対策局長
〃	長山 翔汰	青年委員会委員長・自治労
〃	服部さおり	連合北海道執行委員
〃	中野 由郁	連合北海道執行委員
〃	勝又真由美	連合北海道・組織労働局兼ジェンダー平等局次長
幹 事	齋藤 教一	国公連合書記長
〃	末富 ゆき	国公連合執行委員
〃	立藏 賢司	自治労書記次長
〃	藤田 鉄平	UA ゼンセン常任
〃	大西 旨人	JP 労組北海道執行委員
〃	中川裕美子	情報労連事務局長
〃	大田原 優	電力総連副事務局長
〃	酒井 寛人	全労金書記長
〃	立崎 貴大	JR 総連・JR 北海道労組中央執行委員
〃	光崎 聡	札幌地区連合副事務局長

(2) 推進委員会の開催

1) 第1回男女平等参画推進委員会

日 時／2025 年 1 月 23 日（木）13：30～

場 所／連合北海道会議室

議 題／① 2025 年度委員会委員の確認について

② 2025 スローガンの募集について③ 2025 トップリーダー宣言

⑤ ジェンダー平等推進計画フェーズ2の概要について

2025 年度スローガン

つながる力、広がる未来、ともに歩もうジェンダー平等の社会へ

2) 6月男女平等月間の取り組み

【Vジェンダー資料1】

男女平等参画社会の実現に向けた北海道労働局要請行動

日 時／2025年6月13日（金）13：30～

場 所／札幌第1合同庁舎 2F 講堂

出 席／男女平等参画推進委員会メンバー

3) 選択別夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願について

【集計結果】

衆議院議員宛 4,831 筆

参議院議員宛 5,021 筆

2. 諸会議・集会等の開催

(1) 2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一行動北海道集会

【Vジェンダー資料2】

日 時／2025年3月8日（土）10：00

場 所／札幌ガーデンパレス

内 容／①開会 ②委員長あいさつ

③基調講演 「断捨離 今の自分を整えると過去と未来の自分も整う」

講師 やましたひでこ公認断捨離トレーナー うえだ ますみさん

④産別・地域の取り組み報告 ⑤女性委員会報告 ⑥閉会

参 加／9産別5地区 141名

(2) 2024 北海道ブロック女性会議

【Vジェンダー資料3】

日 時／2025年3月22日（土）10：00～

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／本部提起

①「改正育児介護休業法」「改正次世代育成支援対策推進法」労働組合の取り組み

②「ジェンダー平等計画」フェーズ2について

北海道提起

③女性委員会報告等 菊地女性委員会事務局長

参 加／8産別4地区 31名

(3) 2025 男女雇用機会均等法集会

【Vジェンダー資料4】

日 時／2025年6月7日（土）10：00

場 所／ホテルポールスター札幌 web 併用

内 容／①基調講演

「消防現場で感じたジェンダー視点による、誰もが安心出来る避難所運営」

講師 NPO 法人防災したっけ副代表

防災・救命アドバイザー 鈴木早織さん

②産別報告 JP 労組

「ジェンダー活動推進活動について」

参 加／10産別6地区 100名

(4) 連合北海道女性委員会レクリエーション【開催中止】

(5) 2025 はたらく女性の集会

【Vジェンダー資料5】

日 時／2025 年 9 月 6 日（土）10：00

場 所／ホテルポールスター札幌 web 併用

内 容／①開会 ②主催者挨拶 ③ろうきん講座

④基調講演 演題 ライフスキルセミナー

～包括的性教育の視点から「自分らしく幸せに生きる」を考える～

講師 助産院なりママ 代表助産師 中田 知穂さん

⑤まとめ ⑥閉会

参 加／10 産別 6 地区 76 名

3. 女性委員会の取り組み

(1) 連合北海道女性委員会第 35 回総会

【Vジェンダー資料6】

日 時／2024 年 10 月 5 日（土）10：00～12：00

場 所／ポールスター札幌 web 併用

議 事／①一般経過報告

②第 1 号議案 2024 年度活動に関する経過及び総括（案）

③第 2 号議案 2025 年度活動方針（案）④役員選出

2025 年度 連合北海道女性委員会幹事会体制

委 員 長	河原崎育子	自治労
副 委 員 長	新名 玲子	JAM 北海道
事 務 局 長	菊地 貴子	北教組
事務局次長	横内 智子	国公連合
幹 事	鈴木素能子	北教組
〃	對馬小百合	電力総連
〃	中田 舞	情報労連
〃	池山 直子	JP 労組
〃	倉原 千穂	自治労
〃	菅原まどか	全労金
〃	大竹 美佳	運輸労連
〃	加藤 美穂	運輸労連

(2) 2025 年度第 1 回女性委員会四役会議

日 時／2024 年 11 月 18 日（月）18：00～

場 所／北海道教育会館

議 題／① 2025 年度春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一北海道集会について

② 2025 年度北海道ブロック女性会議について

(3) 第 1 回女性委員会幹事会開催

日 時／2024 年 10 月 5 日（土）第 35 回定期総会終了後

場 所／ホテルポールスター札幌

議 題／①女性委員会幹事会について

②女性委員会主な活動について

③役割分担について

(4) 第2回女性委員会幹事会開催 【書面開催】

日 時／2024 年 11 月 19 日（火）

議 題／① 2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一北海道集会について
②北海道ブロック女性会議について

(5) 第3回女性委員会幹事会

日 時／2025 年 2 月 18 日（火）18：00

場 所／北海道自治労会館

議 題／① 2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一北海道集会について
②北海道ブロック女性会議について

(6) 第4回女性委員会幹事会開催

日 時／2025 年 3 月 8 日（土）9：20

場 所／札幌ガーデンパレス

議 題／2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一北海道集会について

(7) 第5回女性委員会幹事会開催

日 時／2025 年 3 月 22 日（土）9：20

場 所／ホテルポールスター札幌

議 題／①北海道ブロック女性会議について
②2025 男女雇用機会均等法集会について

(8) 第6回女性委員会幹事会の開催

日 時／2025 年 5 月 12 日（月）18：30

場 所／北海道教育会館 web 併用

議 題／2025 男女雇用機会均等法集会について

(9) 第7回女性委員会幹事会の開催

日 時／2025 年 6 月 7 日（土）9：20

場 所／ホテルポールスター札幌

議 題／① 2025 男女雇用機会均等法集会について
② 2025 はたらく女性の集会について

(10) 第8回女性委員会幹事会の開催

日 時／2025 年 7 月 30 日（水）18：00

形 態／web 開催

議 題／① 2025 はたらく女性の集会について
②定期総会について

(11) 第9回女性委員会幹事会の開催

日 時／2025 年 9 月 6 日（土）9：20

場 所／ホテルポールスター札幌

議 題／① 2025 はたらく女性の集会について
②定期総会について

4. 地域の取り組み

(1) 札幌地区連合女性委員会第 32 回定期総会

日 時／2024 年 12 月 12 日（水）18：30～

場 所／ホテルポールスター札幌

出 席／河原崎女性委員会委員長

(2) 函館地区連合女性委員会第 29 回定期総会

日 時／2024 年 12 月 19 日（木）18：00～

場 所／道南労働福祉会館

対 応／メッセージ

5. 中央会議・集会などへの参加

(1) 2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一行動中央集会

日 時／2025 年 3 月 6 日（土）18：15～

場 所／よみうりホール web 併用

内 容／①主催者あいさつ ②基調講演 ③好事例紹介 ④集会アピール ⑤閉会

出 席／ジェンダー平等局

(2) 2024 連合ジェンダー平等推進中央集会

日 時／2024 年 10 月 25 日（金）13：00～17：30

場 所／よみうりホール web 併用

出 席／ジェンダー平等局、女性委員会

(3) 第 7 回全国男女平等推進委員会委員長連絡会

第 11 回構成組織・地方連合会女性代表者連絡会 合同連絡会

日 時／2024 年 12 月 17 日（火）13：30～16：30

場 所／連合会館 web 併用

議 題／①本部提起

1) 2025 春季生活闘争方針におけるジェンダー平等・多様性推進の取り組み

2) 連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ 2 推進に向けて

②意見交換・事例発表 ③まとめ

出 席／金子副事務局長

(4) 第 8 回男女平等推進委員会委員会委員長連絡会

第 12 回構成組織・地方連合会女性代表者連絡会 合同連絡会

日 時／2025 年 9 月 29 日（火）14：00～17：00

場 所／連合会館 2 階

議 題／①本部提起

2025 年「構成組織、地方連合会における女性の労働組合への参画に関する調査」について

②構成組織・地方連合会からの好事例共有・意見交換会（フード連合・連合広島）

③その他

出 席／金子副事務局長

6. 公職・関係諸会議への対応

(1) 令和6年度第2回北海道こども施策審議会こども・子育て支援部会

日 時／2024年10月29日（火）18：00～

場 所／道庁別館 web 併用

議 題／次期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」策定について

出 席／菊地女性委員会事務局長

(2) 令和6年度北海道男女平等参画審議会専門部会

日 時／2024年10月30日（水）10：00～

場 所／かでの2・7

議 題／北海道男女平等参画チャレンジ賞の選考について

出 席／菊地女性委員会事務局長

(3) 令和6年度第3回北海道こども施策審議会こども・子育て支援部

日 時／2024年11月1日（金）10：00～

場 所／第二水産ビル web 併用

議 題／北海道こども基本条例および北海道子ども計画に係わる素案
たたき台について

出 席／菊地女性委員会事務局長

(4) 令和6年度ほっかいどう未来輝く子育て大賞の評価検討会【Zoom 開催】

日 時／2024年12月16日（月）16：30～

議 題／令和6年度ほっかいどう未来輝く子育て大賞の評価検討について

出 席／菊地女性委員会事務局長

(5) 令和6年度 第3回北海道こども施策審議会こども・子育て支援部会

日 時／2025年1月15日（木）18：00～

場 所／かでの2・7 web 併用

議 題／①（仮称）北海道こども計画の策定について

②保育及び認定こども園の設置認可・廃止について

③保育所及び認定こども園における保育士等の配置基準の特例について

出 席／菊地女性委員会事務局長

(6) 令和6年度 第4回北海道こども施策審議会こども・子育て支援部会

日 時／2025年1月24日（金）10：00～

場 所／かでの2・7 web 併用

議 題／①「（仮称）北海道こども基金条例」原案（たたき台）について

②「（仮称）北海道こども計画」原案（たたき台）について

③こどもの権利の周知・擁護について

出 席／菊地女性委員会事務局長

(7) 令和6年度第2回北海道男女平等参画審議会

日 時／2025年1月28日（火）10：00～

場 所／北海道第二水産ビル

議 題／①北海道男女平等参画推進条例の点検について

②第3次北海道男女平等参画基本計画の推進状況について

③第3次北海道男女平等参画基本計画の指標の更新について

出席／菊地女性委員会事務局長

(8) 令和6年度北の輝く女性応援会議

日時／2025年3月21日（金）13：00～

場所／ホテルポールスター札幌

内容／話題提供「北の輝く女性応援会議」の発展的改組について

議題／①ジェンダーギャップの状況 ②共通目標の設定について

出席／須間会長 随員 金子副事務局長

(9) 令和7年度第1回北海道こども施策審議会

日時／2025年4月21日（月）15：30～17：30

場所／北海道立道民活動センター web 併用

議題／①北海道こども施策審議会こども部会の運営方法等について

出席／菊地女性委員会事務局長

(10) 令和7年度第1回北海道男女平等参画審議会

日時／2025年8月22日（金）10：00

場所／北海道立道民活動センター

議題／①第3次北海道男女平等参画基本計画の推進状況について

②北海道男女平等参画推進条例第18条及び第20条に基づく申出について

③北海道男女平等参画基本計画の指標の更新について

④北海道における女性活躍推進に向けた取組（令和7年度）について

⑤国の動向について

出席／菊地女性委員会事務局長

(11) 北の輝く女性応援会議担当者会議

日時／2025年8月27日（水）10：00～11：30

形態／web 開催

議題／①北の輝く女性応援会議の改組について

②共通目標達成に向けた取組について

出席／佐藤総務財政局次長

V. ジェンダー平等 添付資料はこちらから



VI. 国民・道民運動の 取り組み

Ⅵ. 国民・道民運動の取り組み

1. 平和を守り、軍縮・核兵器廃絶を求める取り組み

【取り組みの総括と課題】

広島・長崎への原爆投下から79年を迎えましたが、いまなお世界には約1万3千発の核兵器が存在します。唯一の被爆国である日本こそが核兵器禁止条約の署名・批准など、核兵器廃絶に向けて先頭に立って行動すべきです。核保有国と非核保有国の橋渡し役を果たすと表明した日本政府への働きかけを強めていくとともに、広島や長崎における平和行動をはじめ、関係団体と連携し、あらゆる機会をとらえて核兵器廃絶に向けた取り組みを進めてきました。

沖縄基地問題については、負担軽減を口実に1997年の新ガイドライン以降、在沖縄米海兵隊の実弾射撃訓練が全国5カ所に移転分散され、「沖縄と同質・同量」の約束は反故にされたまま、矢白別ではこれまで22回強行されています。また、米軍基地が集中する沖縄では、性犯罪や殺人など米軍関係者による事件・事故が繰り返されています。米国政府は綱紀肅正を誓っていますが、依然として実効が伴っていません。日米両政府に強く抗議するとともに再発防止に向けて厳正かつ実効性ある対応が必要であります。

また、政府は、敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有を明記する安保関連3文書を閣議決定し、増税により5年間で防衛費を43兆円増額する防衛財源確保法を成立させました。また防衛装備移転三原則を閣議決定し、殺傷能力のある武器輸出を解禁する運用指針を国家安全保障会議で改定しました。

防衛白書では、日本周辺の安全保障環境を、核・ミサイル開発を進める北朝鮮や軍備増強を試みる中国の動向をあげ、「これまでにない最大の戦略的な挑戦」「わが国と国際社会の深刻な懸念事項」とし、日本が「戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している」として、国民の命と平和な暮らしを守り抜くためには、防衛力の抜本的強化と、防衛体制の強化を実施することが、わが国の抑止力を高めることになると記載しています。

平和は武力では無く、対話による平和外交でしかつくり出すことは出来ません。戦争の悲惨さや平和の尊さを若い世代をはじめ道民と共有するとともに、国際紛争の平和的解決を求めるなど、軍縮と平和の実現に向けた運動が重要です。

（1）米軍艦の道内港入港に反対する取り組み

①米海軍ミサイル駆逐艦「ハワード」の小樽港入港に反対する取り組み

米海軍ミサイル駆逐艦「ハワード」が2月7日（金）～12日（水）の期間で小樽港へ入港を希望していることが明らかとなったことから、以下の行動に取り組んだ。

■産別・地協・地区連合による抗議FAX行動

期 間／1月10日～2月6日

FAX 先／小樽市長 迫 俊哉、北海道知事 鈴木 直道

【内 容】

<共通>

米海軍ミサイル駆逐艦ハワードが2月7日から小樽港に入港することが明らかになりました。

今回の入港目的は「通常入港」としていますが、軍艦にとっては軍事行動を意味し、自治体に対する軍事的役割の強要と軍事的利用の常態化につながるものです。

近隣諸国の軍事的緊張をいさらに高める軍艦入港を認めることはできません。そもそも小樽港は民間船舶の運航施設として設置されたものであり、人命や航海に支障をきたすような緊急時以外の入港は自粛すべきです。

また、沖縄では依然として米兵による事件や事故が多発しており、米国軍艦の入港に伴う乗組員の犯罪に小樽市民は不安に思っています。

米国軍艦の度重なる入港により、小樽港の商業港としてのイメージ悪化は避けられません。これは経済活

動に大きな支障を発生させ、港湾労働者をはじめ、関係者に不利益が生ずる恐れがあります。

以上のことから、私たちは北海道の平和と軍縮を求め、また道民そして組合員の安全を確保する立場から、米海軍ミサイル駆逐艦ハワードの小樽港への入港を断じて認めず反対します。

< 末尾に >

○小樽市長

港湾の管理者たる貴職が、住民の安全と地域の平和を守る責任において、入港拒否を表明するよう強く要請します。

○北海道知事

貴職におかれましては、道民の安全を確保し、北海道の平和と軍縮の拡大をめざす立場から、米軍艦の道内港入港に反対されるよう強く要請します。

■現地集会の開催

日 時／2025 年 2 月 7 日（金） 8：45

場 所／小樽港第二埠頭突堤

内 容／現地主催の抗議集会に参加し、石田次長が連帯挨拶を行った。

参加者／40 人（連合北海道：石田敬雅道民運動局次長）

（2）沖縄県道 104 号線超え矢臼別実弾射撃移転訓練に対する取り組み

①「沖縄県道 104 号線超え実弾射撃訓練」の矢臼別演習場における移転訓練が 6 月 8 日から 6 月 19 日まで行われることから、以下の行動に取り組んだ。

■抗議 FAX 行動

各産別・地協・地区連合による「FAX 行動」を行った。

期 間／2025 年 4 月 28 日（月）～6 月 6 日（金）

送付先／防衛大臣 中谷 元、外務大臣 岩屋 毅、北海道知事 鈴木 直道

【内 容】

< 共通 >

防衛省は在沖縄米海兵隊の矢臼別移転実弾演習を 6 月 8 日から 6 月 19 日まで実施すると発表しました。

私たちは、沖縄の「痛み」を分かち合うことまでは否定していません。しかし、米軍基地の集中による沖縄県民に強いられる負担を解決する唯一の道は、日米地位協定の抜本的な見直しと、在日米軍基地の整理・縮小しかありません。全国 5 カ所で強行される実弾射撃訓練の国内移転は、沖縄の負担軽減ではなく、危険と公害の地方分散・拡大・固定化であり、日本全体の米軍基地化につながるものと考えます。

ましてや北方領土に隣接する地での米海兵隊の実弾演習は、領土問題解決という国民の悲願を政府自身が大きく後退させるものです。

また、演習場のある根釧原野は、日本を代表する酪農地帯であり、わが国の食料基地である北海道のなかでも重要な位置づけにあります。この緑あふれる大地に、砲弾が容赦なく打ち込まれ、豊かな自然環境が破壊され、安らかな日々の生活が脅かされることを認めるわけにはいきません。

< 末尾に >

○防衛大臣、外務大臣

私たちは、「沖縄の負担軽減」という名の下で過去 22 回も強行されてきた在沖縄米海兵隊の矢臼別移転実弾演習に断固反対します。米軍基地の整理・縮小は進んでいません。今回の矢臼別移転実弾演習を中止されるよう強く要請します。

○道知事

貴職におかれましては、道民の安全を確保し、北海道の平和と軍縮の拡大をめざす立場から、今回の矢臼別移転実弾演習に反対されるよう強く要請します。

■関係機関への要請

◎北海道防衛局

日 時／2025 年 5 月 16 日（金）10：00

場 所／北海道防衛局 3 階「防衛局会議室」

要請者／荒木敏安副事務局長、石田敬雅道民運動局次長

対 応／橋本華亜人基地対策室長補佐

内 容／【Ⅵ道民運動・資料 1－1】

- 応 答／・沖縄県の負担軽減を図り、また日米安全保障条約の目的を達成するための部隊の練度維持及び即応体制維持の観点から、夜間も含め射撃訓練は必要なものであると認識している。
- ・地元周辺住民に対する影響を最小限にとどめるよう、米軍に対して夜間射撃訓練の実施に際しては射撃時間を遵守するとともに、夜間訓練を必要最小限とするように申し入れを行っている。
 - ・地元住民の不安や懸念を解消するため、これまでできる限りの情報提供に努めてきた。今後も米軍の運用に支障のない範囲で提供可能な情報は早期に提供していきたい。
 - ・沖縄県において実施予定であった今回の訓練が移転されることによって、訓練に伴う市民生活への影響がなくなることによって沖縄の負担軽減に寄与していると考えている。
 - ・部隊の規律維持についてはこれまでも米軍に対して求めてきたところであり、引き続き規律維持に万全を期すよう求めていく。
 - ・国内持ち回りで 5 年に一度休むことについて米軍の年間訓練計画を矢臼別、王城寺原、東富士、北富士、日出生台演習場の使用計画等を踏まえて決定しているので、各演習場の連続使用年数に関わる日米間の取り決めはない。

◎北海道

日 時／2025 年 5 月 27 日（火）9：00

場 所／北海道庁 地下 1 階「危機管理センター B」

要請者／荒木敏安副事務局長、宮本孔子道民運動局次長、石田敬雅同次長

対 応／高橋智哉危機対策課長

内 容／【Ⅵ道民運動・資料 1－2】

- 応 答／・1995 年に当時の堀知事が道議会で「受け入れがたい」と発言し、反対の姿勢を示しており、現在でも北海道の見解に変わりはないこと。
- ・我が国を取り巻く国際環境が一層厳しさを増す中、この訓練は日米同盟の抑止力や対処力の強化、また沖縄の負担軽減を目的に実施される重要な訓練であると認識しているが、道としては、本道で実施されるいかなる訓練についても、道民の安全・安心が確保されることは何より重要であり、国の責任において安全管理の徹底が図られる必要があると考えている。
 - ・道はこれまでも関係 4 町で構成している「矢臼別演習場関係機関連絡会議」として北海道防衛局に対して安全対策や、米軍の規律維持を要請してきた。北海道防衛局からは安全管理などに万全を期す、あるいは訓練情報の速やかな提供や問い合わせに対する丁寧な説明に努める、また部隊の規律維持についてはあらためて米海兵隊に要請するなど、自治体や周辺住民に不安や心配を与えないよう努めていく。
 - ・在日米軍基地全体の整理・縮小については、これまでも道および関係 4 町で要請してきたほか、日米地位協定の見直しについては、渉外知事会を通じて防衛省や外務省などに要望してきたところであり、今後も渉外知事会を通じ国に働きかける。
 - ・今回の訓練が沖縄県内で実施されなくなったことによって訓練実施に伴う沖縄の負担軽減が図られている。
 - ・5 年に一度休む計画について明文化されたものはないが、「矢臼別演習場関係機関連絡会議」を通じ北海道防衛局に対し訓練の固定化がされないよう要請している。

◎在札幌米国領事館

日 時／2025 年 5 月 27 日（火）10：30

場 所／在札幌米国領事館

要請者／和田英浩事務局長、荒木敏安副事務局長、宮本孔子道民運動局次長、石田敬雅同次長

対 応／マーク・ウェベルス総領事

内 容／【Ⅵ道民運動・資料1－3】

応 答／日米同盟は重要であり、地域の安定のためにも今回の訓練はしなければならない。

また、訓練については安全第一、規律維持で行っていききたい。夜間訓練は北海道防衛局と協力し周辺住民に影響のないようにする。今回いただいた貴重なご意見を、大使館を通じて本国に伝える。

■全道総決起集会

日 時／2025 年 6 月 7 日（土）10：00～12：00

場 所／釧路センチュリーキャッスルホテル 3階「鳳凰の間」

主 催／沖縄米軍実弾演習北海道移転反対対策本部（連合北海道・北海道農民連盟）

共 催／連合釧根地協、釧路地区連合

内 容／＜第1部＞講演会

講演：「“戦後80年”戦後を迎えぬまま戦前へ－沖縄から日本を問う－」

講師：仲本 和さん（沖縄平和学習講師）

＜第2部＞全道総決起集会

司会進行	連合釧根地協	安藤 陽祐 副会長
主催者挨拶	連合北海道	佐藤 環樹 副会長
連帯挨拶	連合本部	春田 雄一 総合運動推進局長
	立憲民主党第7区総支部	篠田奈保子 代表
経過報告	連合北海道	荒木 敏安 副事務局長
アピール採択	連合釧根地協	市田 光正 副会長
閉会	北海道農民連盟	出嶋 辰三 副委員長
団結がんばろう	連合釧根地協	浅野 康敏 会長
デモ行進		

参加者／約300名

【集会アピール】

今また、矢臼別で在沖縄米海兵隊の県道104号線越え実弾演習移転が始まろうとしている。矢臼別演習場における移転訓練は、酪農家をはじめとした地元の声を無視して、23回目を数えようとしている。

1995年、少女暴行事件に端を発した沖縄県民の怒りを機に、米国は「即時撤退、最低限でも大幅縮小、そして地位協定の改定」を議論した。しかし日本政府は、それを望まず「沖縄の負担軽減」を口実に、国内5カ所への演習移転を米国に要請した。結果として、多くの国民の反対・危惧する声を無視し、全国に負担が拡大した。

全国5カ所に分散した実弾演習の「国内移転」は、沖縄の米軍基地問題を解決していない。それどころか負担と危険を分散・拡大させ、日本全体を米軍基地化としている。

また、これまで「国内5カ所の持ち回りにより、5年に一度休む」計画で実施されていたが、今回の演習で5年連続実施となり、まさに「演習の固定化」が進められている。

米軍基地が集中する沖縄では、性犯罪や殺人など米軍関係者による事件・事故が繰り返されている。米国政府は綱紀粛正を誓っているが、依然として実効が伴っていない。そのような中、多くの隊員が矢臼別に来

ることは、地元住民に強い不信と不安を与えるものである。

また、北方領土に隣接する北海道・矢臼別での、強襲上陸を任務とする米海兵隊などの大規模な軍事演習は、領土問題解決という国民の悲願を大きく後退させる。

私たちは在沖縄米海兵隊の矢臼別移転実弾演習に断固反対する。

しかし、私たちは沖縄の「痛み」を分かち合うことを否定はしない。

ただし、米軍基地の集中が沖縄県民に大きな負担を強い、生活のみならず、人権や生命さえも脅かしている現状を解決する唯一の道は、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的な見直し」である。

私たちは、隣国ロシアを刺激し、沖縄の負担と危険を分散・拡大する矢臼別移転実弾演習に反対する。

私たちは日米両政府に強く訴える。

「移転演習をやめろ」

(3) 日米共同訓練に対する取り組み

①防衛省は9月11日から15日間、陸上自衛隊と米海兵隊約4,850人が参加し、離島防衛などを想定した日米共同訓練「レゾリュート・ドラゴン」に、米海兵隊の輸送機MV22オスプレイの訓練を組み込み実施すると発表した。

連合北海道は北海道の平和と軍縮、そして、北方領土問題の解決を強く願う立場から、日米共同訓練の規模縮小を求めるとともに、墜落事故を繰り返し騒音や環境破壊につながるオスプレイの参加に強く反対し、以下の行動に取り組んだ。

■抗議 FAX 行動

期 間／2025年8月20日（水）～9月10日（水）

送付先／防衛大臣 中谷 元、外務大臣 岩屋 毅、北海道知事 鈴木直道

【内 容】

<共通>

防衛省は5日、9月11日から15日間、日米両部隊で約4,850人が参加する日米共同訓練（レゾリュート・ドラゴン）を実施し、その訓練には沖縄米海兵隊オスプレイの訓練を組み込むことを発表しました。

私たちは、この大規模な日米共同訓練、さらに墜落事故を繰り返し、根本的な原因が解決されないオスプレイの参加に強く反対し中止を求めます。

まず、北方領土が隣接する北海道において、上陸強襲を任務とする米海兵隊を含む四千人を超える日米両部隊が参加する日米共同訓練は、隣国ロシアを刺激し、「領土問題の解決」という私たちの悲願を大きく後退させます。

さらに、オスプレイは開発段階から墜落事故を繰り返しており、ひとたび墜落事故が起これば道民の生命と財産を奪います。米軍自らが飛行停止としていたオスプレイが人口密集地である丘珠駐屯地をはじめとする道内の自衛隊施設を使用し、広域にわたり道内で訓練を展開するとしていますが、沖縄において明らかに、日米地位協定をたてに昼夜を問わず、日常的に日本の航空法が禁止する低空飛行を行うオスプレイの騒音が市民生活に与える影響は甚大であり、道民の平穏な日常生活に多大な被害をもたらします。防衛省がそのようなオスプレイの飛行時間や経路を「米軍の機密」を理由に公開しない中での参加を断じて認めるわけにはいきません

連合北海道は、北海道の平和と軍縮、そして、北方領土問題の解決を強く願う立場から、日米共同訓練の規模縮小を求めるとともに、墜落事故を繰り返し騒音や環境破壊につながるオスプレイの参加に強く反対します。

<末尾に>

○防衛大臣、外務大臣

貴職におかれましては、日米共同訓練のオスプレイ運用を中止されるよう強く要請します。

○道知事

貴職におかれましては、道民の安全と北海道を守る立場から、日米共同訓練のオスプレイ運用に反対し、中止するよう国に求めることを強く要請します。

■関係機関への要請

◎北海道

日 時／2025 年 9 月 4 日（木） 9：00

場 所／北海道庁 地下1階「危機管理センター B」

要請者／荒木敏安副事務局長、宮本孔子道民運動局次長、石田敬雅同次長

対 応／高橋智哉危機対策課長

内 容／【Ⅵ道民運動・資料2－2】

応 答／・この訓練は日米同盟の抑止力や対処力の強化、またオスプレイ訓練については日米合同委員会に基づき訓練活動に伴う沖縄の負担軽減を目的に実施される重要な訓練であると認識している。

- ・道としては、本道で実施されるいかなる訓練についても、道民の安全・安心が確保されることは何より重要であり、国の責任において安全管理の徹底が図られる必要があると考えている。
- ・道と演習場等が所在する9市町が共同で北海道防衛局に対して安全対策や、米軍の規律維持を要請してきた。北海道防衛局からは安全管理などに万全を期す、あるいは訓練情報の速やかな提供や問い合わせに対する丁寧な説明に努める、また部隊の規律維持についてはあらためて米側に強く求めていくとともに陸上自衛隊と連携して万全を期していく。
- ・道は9市町と緊密に連携をとり、北海道防衛局が示した対応が確実に行われるように確認するとともに、訓練情報の収集と共有を図って地域住民の生活の不安や支障を与えることがないように適切に対応する。

◎北海道防衛局

日 時／2025 年 9 月 4 日（木） 11：30

場 所／北海道防衛局 3階「防衛局会議室」

要請者／荒木敏安副事務局長、石田敬雅道民運動局次長

対 応／末吉智彦室長補佐

内 容／【Ⅵ道民運動・資料2－1】

応 答／・我が国におけるオスプレイの運用について安全保障環境が一層厳しさを増す中、米国のアジア太平洋地域における即応体制の観点から日米同盟の抑止力及び対処力を向上させ、日本の防衛及びアジア太平洋地域の安定に資するものと考えている。

- ・沖縄県の負担軽減を図り、MV22 オスプレイの訓練活動を沖縄県外に移転するといった事業も併せて実施する極めて重要な訓練であり、日米間で緊密に連携し地元住民に対する影響を最小限にとどめるよう、適切に対応する。
- ・飛行情報の早期公開について可能な限り速やかに情報提供していきたい。
- ・オスプレイの騒音測定、低空飛行、夜間訓練について騒音測定はこれまでも訓練の参加のためにオスプレイが飛来した際には騒音測定を実施し、関係自治体には情報提供してきた。その上でオスプレイの騒音状況には一定のお知らせができたと考えているため今回の騒音測定の計画はない。また日米安全保障条約の目的を達成するための部隊の練度維持及び即応体制維持の観点から、夜間飛行は必要なものであると認識している。低空飛行についても地域住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めている。
- ・部隊の規律維持についてはこれまでも米軍に対して求めてきたところであり、引き続き規律維持

に万全を期すよう求めていく。

- ・万が一、事件や事故等が発生した場合には関係自治体に速やかに情報提供を行うとともに被害に遭われた方への補償についても適切に対応していく。
- ・日米地位協定については一つ一つ具体的な問題に対して対応するという認識であり、在日米軍による法令の尊重義務が規定しているため、在日米軍はこのような義務に従っているものと考えている。

◎在札幌米国領事館

日程調整がつかず文書による申し入れとなった。

内 容／【Ⅵ道民運動・資料2－3】

(4) その他の取り組み

■上川地協平和学習会への講師派遣

日 時／2025年9月18日（木）18：30

場 所／旭川トーヨーホテル 2階「丹頂の間」

主 催／上川地協

内 容／講演：北の大地に語り継ぐ

『九人の乙女の悲劇』と『三船殉難事件』

講師：金子 ユリ副事務局長

特別報告：「連合北海道の平和運動および高校生平和大使の取り組み紹介」

報告者：石田 敬雅道民運動局次長

参加者／約140名

■戦後・被爆80年「平和を考える集い」の開催

日 時／2025年9月25日（木）18：00～20：00

場 所／グランドメルキュール札幌大通公園 2階「エンプレスホール」

内 容／主催者挨拶：連合北海道 須間 等 会長

第一部講演：「私たちの社会は私たちの手で作ってこう

～戦後・被爆80年 ユース世代の核兵器廃絶アクション」

講師：一般社団法人かたわら 代表理事 高橋 悠太 さん

第13代北海道高校生平和大使活動報告：「ビリョクだけど ムリョクじゃない！

私たちの活動について」

報告者：高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音

第二部講演：「樺太・北海道における終戦後の史実

～九人の乙女の悲劇・三船殉難事件～」

講師：情報労連北海道協議会 事務局次長 中川裕美子さん

※会場において原爆パネル展の開催、高校生一万人署名とカンパを実施した。

参加者／約250名

(5) 原爆パネル展の開催

日 時／2025年1月11日（土）10：00～16：00

場 所／札幌駅前通地下歩行空間 「憩いの空間」

内 容／原爆パネル展を開催するとともに、高校生一万人署名実行委員会と連携し署名を行った。

来場数／のべ410名

(6) 北海道高校生平和大使の取り組み

■第27代・北海道12代の活動

①署名活動

(a) 2024年度第4回

日 時／2024年9月22日（日）12：00～15：00

場 所／地下鉄真駒内駅

署名数／320筆

参加者／高校生平和大使 高佐 安里、皆川 舞奈 他 高校生8名

引率者／荒木敏安派遣実行委員会事務局長、石田敬雅同事務局

(b) 第5回署名活動

日 時／2024年11月3日（日）13：00～15：00

場 所／札幌駅 「ヨドバシカメラ前」

署名数／77筆

参加者／高校生平和大使 高佐 安里、皆川 舞奈 他、高校生 6人

引率者／宮本孔子派遣実行委員会事務局長、石田敬雅同事務局

(c) 第6回署名活動

日 時／2024年12月7日（土）13：00～14：30

場 所／大通西3丁目

署名数／22筆

参加者／高校生平和大使 高佐 安里、皆川 舞奈 他、高校生 2人

引率者／荒木敏安派遣実行委員会事務局長、真壁英治同事務局次長、石田敬雅同事務局

(d) 第7回（原爆パネル展と連携）

日 時／2025年1月11日（土）10：00～16：00

場 所／札幌駅前通地下歩行空間 「憩いの空間」

内 容／原爆パネル展とともに開催し署名は386筆を集約した。

参加者／高校生平和大使 高佐 安里、皆川 舞奈 他、高校生 5人

引率者／荒木敏安派遣実行委員会事務局長、真壁英治同事務局次長、宮本孔子同事務局
石田敬雅同事務局

(e) 第8回署名活動

日 時／2025年2月22日（土）12：00～15：00

場 所／札幌駅 「ヨドバシカメラ前」

署名数／60筆

参加者／高校生平和大使 高佐 安里、皆川 舞奈 他、高校生3名

引率者／荒木敏安派遣実行委員会事務局長、真壁英治同事務局次長、石田敬雅同事務局

(f) 第9回署名活動

日 時／2025年4月27日（日）13：00～15：00

場 所／札幌市 「大通西3丁目」

署名数／71筆

参加者／高校生平和大使 高佐安里、皆川舞奈 他、高校生8名

引率者／荒木敏安派遣実行委員会事務局長、真壁英治同事務局次長、石田敬雅同事務局

(g) 第10回署名活動

日 時／2025年5月25日（日）11：00～12：30

場 所／ホテルポールスター札幌前

署名数／56筆

参加者／高校生平和大使 高佐安里、皆川舞奈 他、高校生22名

引率者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長、石田敬雅同事務局

②自治労北海道本部第67回定期大会への帰国報告

日 時／2024年9月23日（月）17：00

場 所／ホテルポールスター札幌 2階 「ポールスターホール」

参加者／高校生平和大使 高佐 安里、皆川 舞奈

③北海道退職教職員連絡協議会道東ブロック活動交流会への帰国報告

日 時／2024年9月28日（土）15：00～

場 所／北見市 「学生協会館」

参加者／高校生平和大使 高佐安里、皆川舞奈

④ラジオ出演

日 時／2024年9月30日（月）19：00～20：00

場 所／新札幌「ラジオ・ワンダーストレージ スタジオ」

内 容／齊藤勉安全センター特別講師がキャスターを務めるFMラジオ「ワーク・ライフ・シナジー」に
平和大使2人が出演し平和大使活動、核兵器廃絶一万人署名活動について述べた。

出演者／高校生平和大使 高佐安里、皆川舞奈

⑤連合北海道青年委員会第32回定期総会への帰国報告

日 時／2024年10月5日（土）13：00

場 所／TKPビジネスセンター赤レンガ前

参加者／高校生平和大使 高佐安里、皆川舞奈

⑥日本原水爆被害者団体協議会の記念講演への出席

日 時／2025年5月24日（土）13：00

場 所／かでの2.7 「アスピックホール」

出席者／高校生平和大使 高佐安里、皆川舞奈 他、高校生1名

引率者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長、石田敬雅同事務局

⑦連合北海道青年委員会SNTへの被爆ピアノコンサート活動報告

日 時／2025年6月7日（土）15：00

場 所／北海道自治労会館 「第一会議室」

参加者／第27代（北海道12代）高校生平和大使 高佐安里、皆川舞奈

⑧東京行動への参加

日 時／2024年12月15日（日）13：00～17日（火）12：00

場 所／東京

内 容／15日（日） 研修

16日（月） 大使館及び外務省訪問

国会議員報告会、大使館訪問報告

17日（火） 午前第五福竜丸展示館見学

出席者／高校生平和大使 高佐 安里、皆川 舞奈

⑨高校生平和大使「平和授業（出前授業）」

日 時／2025年7月18日（金）9：50～12：40

場 所／札幌宮の森中学校

派遣者／第27代（北海道12代）高校生平和大使 高佐安里

趣 旨／平和講習のテーマは核兵器廃絶のために自分ができることはあるのか

内 容／①自己紹介

②グループに分かれ平和についてまずはどんなことか考え、その後具体的にプラス面マイナス面などイメージ

③グループでそれぞれ議論を通して、平和とは人それぞれ受け止めの違いがあることを確認

④高校生平和大使の活動報告

⑤高校生平和大使から中学生へメッセージ

⑥平和講習を受けて、今日から平和に向けた自分の行動を考える機会にする

随行者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長

■派遣実行委員会の取り組み

①2025年度第1回北海道高校生平和大使派遣実行委員会の開催

日 時／2025年2月26日（水）13：30

場 所／連合北海道会議室

内 容／①2024年度経過について

②今年度の取り組みについて

③2024年度決算及び2025年度予算案

②第2回派遣実行委員会の開催

日 時／2025年5月13日（火）13：30～

場 所／連合北海道会議室

議 題／具体的な選考方法など

③平和大使選考会および第3回派遣実行委員会の開催

日 時／2025年5月25日（日）18：00～19：00

場 所／ポールスター札幌 2階「コンチェルト」

議 題／第28代（北海道13代）高校生平和大使の決定

結 果／岩山 心咲（いわやま みさ）立命館慶祥高等学校 2年

山岸 莉音（やまぎし りお）札幌日本大学高等学校 1年

以上2名を選出し、第3回実行委員会で決定した。

④平和大使記者会見の開催

日 時／2025年6月5日（木）15：00

場 所／道政記者クラブ

出席者／第28代（北海道第13代）高校生平和大使

岩山 心咲（立命館慶祥高等学校 2年）

山岸 莉音（札幌日本大学高等学校 1年）

随 行／和田英浩派遣実行委員会委員長、荒木敏安同事務局長、真壁英治同事務局次長、石田敬雅同事務局

■第28代・北海道13代の活動

①結団式への参加

日 時／2025年6月14日（土）～15日（日）

場 所／広島市「広島自治労会館」

内 容／1日目：被爆証言、碑巡り研修、原爆資料館見学、スピーチ等打合せ

2日目：結団式

参加者／第28代（北海道13代）高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音

随 行／石田敬雅派遣実行委員会事務局

②第1回署名活動

日 時／2025年6月21日（土）13：00～15：00

場 所／札幌市 大通西3丁目

署名数／91筆

参加者／第28代（北海道13代）高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音 他、高校生5名

引率者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長、石田敬雅同事務局

③第2回署名活動

日 時／2025年8月23日（土）13：00～15：00

場 所／札幌市 大通西3丁目

署名数／71筆

参加者／第28代（北海道13代）高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音 他、高校生3人

引率者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長、石田敬雅同事務局

④第3回署名活動

日 時／2025年9月15日（月）11：00～14：00

場 所／北広島駅

署名数／152筆

参加者／高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音 他、高校生 6人

引率者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長、石田敬雅同事務局、有山恒太組織労働局次長

⑤長崎研修・高校生一万人署名・募金活動への参加

日 程／2025年8月7日（木）～9日（土）

場 所／長崎市ブリックホール 他

参加者／第28代（北海道13代）高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音

⑥国連欧州本部への派遣

日 時／2025年8月31日（日）～9月6日（土）

派遣先／ジュネーブ市長・ICAN本部・YWCA・軍縮会議日本政府代表部・国連軍縮局など

参加者／高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音（全体で24名派遣）

⑦在籍高校学校長・在籍校所在地の首長への表敬訪問

日 時／2025年6月20日（金）16：30～16：45

場 所／札幌庁舎 10階「市長応接室」

内 容／①北海道高校生平和大使活動への後援・支援へのお礼

②署名活動・結団式など活動報告、国連欧州本部訪問など今後の決意

対応者／秋元克広 札幌市長

出席者／第 28 代（北海道 13 代）高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音

随行者／荒木敏安派遣実行委員会事務局長、真壁英治同事務局次長、石田敬雅同事務局

⑧北海道平和祈念企画展への参加

日 時／2025 年 7 月 30 日（水）11：50

場 所／北海道立総合体育センター

出席者／第 28 代（北海道 13 代）高校生平和大使 岩山心咲

随行者／石田敬雅派遣実行委員会事務局

⑨札幌弁護士会主催「若者と未来を紡ぐ～私の身に起こったら？を考える」への参加

日 時／2025 年 9 月 27 日（土）13：00～16：00

場 所／札幌市教育文化会館「小ホール」

内 容／高校生平和大使の活動報告について

出席者／高校生平和大使 山岸莉音

引率者／真壁英治派遣実行委員会事務局長、石田敬雅同事務局

⑩ラジオ出演

日 時／2025 年 9 月 29 日（月）19：00～20：00

場 所／新札幌「ラジオ・ワンダーストレージ スタジオ」

内 容／齊藤勉安全センター特別講師がキャスターを務める FM ラジオ「ワーク・ライフ・シナジー」に
平和大使 2 人が出演し平和大使活動、核兵器廃絶一万人署名活動について述べた。

出席者／高校生平和大使 岩山心咲、山岸莉音

■全国支援者会議への参加

①全国支援者会議への出席

日 時／2024 年 10 月 1 日（火）13：30

場 所／WEB 開催

内 容／今年度の高校生平和大使の反省、次年度の高校生平和大使の派遣など

出席者／荒木敏安派遣実行委員会事務局長、真壁英治同事務局次長、石田敬雅同事務局

②全国支援者会議への出席

日 時／2024 年 11 月 19 日（火）14：00

場 所／WEB 開催

内 容／第 27 代高校生平和大使の東京行動について

出席者／石田敬雅派遣実行委員会事務局

③全国支援者会議への出席

日 時／2025 年 1 月 20 日（月）13：30

場 所／WEB 開催

内 容／今年度の高校生大使の国連欧州本部派遣計画など

出席者／石田敬雅派遣実行委員会事務局

④全国支援者会議への出席

日 時／2025 年 3 月 18 日（火）10：00

場 所／web 開催

内 容／第 28 代高校生平和大使の国連欧州本部等訪問の日程について

出席者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長、石田敬雅同事務局

⑤全国支援者会議への出席

日 時／ 2025 年 5 月 27 日（火） 10：00

場 所／ web 開催

内 容／広島結団式、国連欧州本部訪問など

出席者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長

⑥全国支援者会議への出席

日 時／ 2025 年 6 月 14 日（土） 15：00

場 所／広島市 「広島自治労会館」

内 容／今後の高校生平和大使の活動について

出席者／石田敬雅派遣実行委員会事務局

⑦全国支援者会議への出席

日 時／ 2025 年 7 月 28 日（月） 10：30

場 所／ web 開催

内 容／長崎派遣、国連欧州本部訪問など

出席者／真壁英治派遣実行委員会事務局次長、石田敬雅同事務局

■「被爆 80 年 高校生被爆ピアノコンサート」の開催

期 間／ 2025 年 3 月 29 日（土）～4 月 1 日（火）

主 催／被爆 80 年高校生被爆ピアノコンサート実行委員会

共 催／連合北海道、北海道退職者連合、札幌市（3 月 31 日）

後 援／北海道、北海道被爆者協会、キャリアバンク株式会社、生活協同組合コープさっぽろ、北海道エアポート株式会社、報道各社（全社）

内 容／・高校生平和大使 2 人と元高校生平和大使 1 人、署名サポーター 6 人、合計 9 人の高校生による実行委員会が企画し、クラウドファンディングで合計 1,888,000 円（手数料 290,752 円を差し引いた金額 1,597,248 円）の資金を集め実施。

※連合北海道・北海道退職者連合によるカンパ活動は現在集計中

- ・昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞。一方、被爆から 80 年が経ち会員の高齢化を理由の一つに北海道被爆者協会が本年 3 月末に解散。被爆 80 年のいま、被爆の実相を知り自分ごとと
感じ、キャッチフレーズを「～あなたにとって平和とは～」とし、被爆ピアノを通じ原爆被害を
想像し核兵器廃絶と平和を願うことに加え、高校生からの企画であること、高校生が実行委員会
を発足させて運営すること、札幌の高校生も参加することから、「つなぐ」「つながる」ことをコ
ンセプトに開催した。

- ・札幌 6 会場、新千歳空港で公演し、総来場者数 1,610 人、4 日間で約 40 人が司会、朗読、演奏、
合唱等により参加した。（実行委 9 人含む）

※コンサート詳細について 【Ⅵ道民運動・資料 3】

（7）連合平和運動の取り組み

■平和行動 in 広島・長崎

日 時／ 2025 年 8 月 4 日（月）～10 日（日）

主 催／連合北海道・原水禁北海道・北海道友愛 KAKKIN

規 模／のべ 63 名（広島参加 49 名、長崎参加 14 名）

連合北海道参加者／ 11 名

	氏名	組織名		氏名	組織名
団 長	佐藤 環樹	連合北海道副会長	団 員	奥村美由紀	JP 労組
副団長	荒木 敏安	連合北海道副事務局長	〃	奥村 陽菜	JP 労組
事務局	宮本 孔子	連合北海道	〃	奥村 陽翔	JP 労組
団 員	細井 駿介	北教組	〃	林 紗玖波	森林労連
〃	山下 陸	電力総連	〃	園部 守	津別農団労
〃	奥村 裕之	JP 労組			

実施内容

< 2025 平和行動 in 広島 >

○日 程 2025 年 8 月 4 日（月）～ 6 日（水）

○内 容

■第 1 日目 8 月 4 日（月）

- ・広島平和記念資料館 見学（15：00～16：30）

■第 2 日目 8 月 5 日（火）

- ・ピースウォーク（13：50～15：20）

会 場 広島平和記念公園

内 容 参加者は平和公園内にある慰霊碑や記念碑をめぐり、ピースガイド（連合広島の青年・女性委員会）から説明を受けた。

- ・原爆死没者慰霊碑への献花（北海道独自行事）（15：20～15：30）

会 場 原爆死没者慰霊碑

- ・「被爆 80 年 連合 2025 平和ヒロシマ集会」（16：00～18：00）

会 場 上野学園ホール

参加者 1,771 名

主 催 連合

共 催 原水禁、KAKKIN

次 第 開会挨拶、黙祷、主催者代表挨拶、来賓挨拶（地元自治体）、講演、被爆体験証言、若者からのメッセージ、ピースフラッグリレー、平和アピール、閉会

■第 3 日目 8 月 6 日（水）

- ・広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式（広島市主催）（8：00～）

会 場 広島市平和記念公園

※任意参加

< 連合北海道独自 鹿児島研修 >

○日 程 2025 年 8 月 7 日（木）

○内 容 ・知覧特攻平和会館等 見学

< 2025 平和行動 in 長崎 >

○日 程 2025 年 8 月 8 日（金）～ 9 日（土）

○内 容

■第 1 日目 8 月 8 日（金）

- ・「被爆 80 年 連合 2025 平和ナガサキ集会」（15：30～18：00）

会 場 長崎県立総合体育館・メインアリーナ

参加者 2,054 名

主 催 連合

共 催 原水禁、KAKKIN

次 第 開会挨拶、黙祷、主催者代表挨拶、来賓挨拶（地元自治体）
被爆体験証言、講演、若者からのメッセージ、平和アピール、
ピースフラッグリレー（佐藤環樹副会長）、閉会

■第2日目 8月9日（土）

- ・原爆死没者慰霊碑墓参（8：20～8：30）
会 場 淵中学校（被爆地）
- ・長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典（長崎市主催）（10：30～）
会 場 長崎市平和公園
※任意参加
- ・ピースウォークは雨天を考慮して連合北海道は中止とし、長崎原爆資料館を見学

■平和行動 in 根室

期 間／2025年9月6日（土）～7日（日）

内 容／①9月6日（土）

「北方四島学習会」

【Aコース 北海道立北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）】

時 間	内容・講師
13:30～14:50	「海から見た北方領土問題」 山田 吉彦 氏（参議院議員）
14:50～15:10	休憩
15:10～16:20	「ふるさと北方四島への想い」 児玉 泰子 氏 （北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長、 元島民、歯舞群島・志発島出身） 角鹿 泰司 氏（元島民、歯舞群島出身）

【Bコース 北方四島交流事業船「えとぴりか」】

時 間	内容・講師
13:30～14:50	「トランプ流“和平”外交の波紋と北方領土問題への影響」 石川 一洋 氏（ジャーナリスト）
14:50～15:10	休憩
15:10～16:30	「北方四島の自然と日露関係の打開策」 本間 浩昭 氏 （毎日新聞記者、 特定非営利活動法人北の海の動物センター理事）

【Cコース 根室市総合文化会館】

時 間	内容・講師
13:30～14:30	「北方領土をめぐるこれまでの議論と北方領土根室研究会の これまでの取り組みについて」 北海道根室高等学校 北方領土根室研究会
14:30～14:45	休憩
14:45～16:30	映画『ジョバンニの島』上映

②9月7日（日）11：00～12：00

「2025 平和ノサップ集会」

場 所：納沙布岬・望郷の岬公園

次 第：開会 田中 溪都 連合釧根地協副事務局長（司会）

主催者挨拶	清水 秀行	連合本部事務局長
地元挨拶	須間 等	連合北海道会長
来賓挨拶	坂本 隆哉	北海道総務部北方領土対策本部長
	石垣 雅敏	根室市長
	山本 茂樹	北方領土問題対策協会理事長
来賓紹介	児玉 泰子	北連協事務局長
元島民の訴え	角鹿 泰司	元島民・歯舞群島出身
特別報告	渡部 達大	連合島根中部地協雲南地区会議議長 (竹島問題)
ピースリレー	須間 等	連合北海道会長
	仲宗根 哲	連合沖縄会長
集会アピール	小田桐丈浩	全道庁根室総支部
ガンバロー	浅野 康敏	連合釧根地協会長

参加者：653 名

2. 次代を担う教育課題の取り組み

【取り組みの総括と課題】

【ゆたかな教育をめざす取り組み】

「教育は国家百年の大計である」という言葉があります。人材育成こそ国家の要であり、また 100 年後の日本を支える人物をつくるために長期的視点で人を育てることの大切さを説いた名言です。学校教育の受益者は子どもたち個人ではなく、社会そのものです。教育に市場原理、競争原理を持ち込んだ大阪の教育基本条例が代表するような、市場原理主義的な教育観は間違いです。ましてや政権の安定や産業界の短期的な利益要請に応える「都合の良い人間」を輩出するものではありません。

今年度も「ゆたかな教育の実現」を求める私学助成や高校教育に取り組み、さらに各市町村・教育委員会に対する要請をはじめとした「全道キャラバン」を行いました。

今後も過酷な教職員の勤務実態の抜本的な解消をはかるとともに、ゆとりをもって子どもを学ばせることができる少人数学級の実現や教育予算・条件整備の拡充による子どもの貧困解消・教育格差是正など、子どもの教育を受ける権利を保障するための取り組みを進めます。

(1) 「ゆたかな教育の実現」を求める取り組み

■ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する取り組み

日 時／2024 年 11 月 26 日（火）12：00～12：45

場 所／北海道議会

署名数／48,132 筆

要請先／富原亮道議会議長、稲村久男道議会副議長、民主道民連合、結志会など道議会各会派

出席者／連合北海道（荒木敏安副事務局長）、道私教協、北教組

■「平和憲法と教育の自由を守る全道集会」の開催

日 時／2025 年 3 月 8 日（土）13：30～15：30

場 所／北海道教育会館 3 階「会議室 A」

主 催／「平和憲法」と「教育の自由」を守る全道集会実行委員会

（連合北海道・北海道平和運動フォーラム・民主教育を進める道民連合・北海道私立学校教職員組合協議会・札幌市高等学校教職員組合・北海道教職員組合）

内 容／①主催者挨拶：民主教育をすすめる道民連合 会長 岩本 一郎

②基調講演：「これからの人権教育のあり方について - 包括的性教育と子どもの人権から考える」

講師：池田 賢市さん（中央大学教授）

③集会アピール：民主教育をすすめる道民連合

④閉会挨拶：荒木 敏安 連合北海道副事務局長

参加者／約 160 名

■ゆたかな教育をめざす全道集会の開催

日 時／2025 年 7 月 31 日（木）13：30～15：30

場 所／北海道教育会館 3 階会議室

主 催／連合北海道、民主教育をすすめる道民連合、北海道平和運動フォーラム

道私教協、札幌市立高等学校教職員組合、北教組

内 容／①講演：「戦後 80 年と日本国憲法の歩み」

講師：岩本 一郎さん 北星学園大学教授

②集会アピール採択

参加者／約 180 名

■ゆたかな教育を実現する取り組み

子どもの「貧困」「教育格差」是正と教職員の「超勤・多忙化」解消を求め、ゆたかな教育の実現をめざす
道教委要請

日 時／2024 年 12 月 26 日（木）14：00～15：00

場 所／北海道議会 3 階「民主・道民連合会議室」

署名数／37,691 筆

参加者／連合北海道（荒木敏安副事務局長、宮本孔子道民運動局次長）、北教組、民主教育をすすめる道民
連合、平和運動フォーラム

■高校づくりに関する指針及び公立高等学校配置計画に対する要請

日 時／2025 年 5 月 23 日（金）14：00

場 所／北海道議会 3 階「民主道民連合会議室」

内 容／2023 年 3 月に示された標記「これからの高校づくりに関する指針」及び 2026 年度以降の「公立高
校配置計画」の策定に関する要請行動を行った。

要請者／連合北海道・民主教育をすすめる道民連合・平和運動フォーラム・北教組・私教協

出席者／荒木敏安副事務局長

3. 人権擁護・共生の社会づくり、社会連帯の取り組み

【取り組みの総括と課題】

連合本部がとりまとめる「ゆにふあん」は連合運動がビジネス・ユニオニズムからソーシャル・ユニオニズムへと、市民の共感を得られる労働運動となることを推進しています。それは、連合運動が企業内の労働条件の改善闘争に留まらず、市民運動、NPO、地域運動などと連携・連帯し、市民の共感を得られる労働運動、より社会性・公益性の高い労働運動と認知されることにより、幅広い人たちからの支持を得るためです。

私たち労働組合の本質は、その生い立ちからも「基本的人権を守ること」であり、人権擁護・共生の社会づくり、社会連帯の取り組みは、労働組合運動の本質であり「団結」の基板です。

本年度は十分な取り組みは出来ませんでした。次年度は、「労働組合運動の本質」を念頭に、より具体的

に「支えあい・助け合う」労働運動に取り組めます。

(1)「ウポポイ（民族共生象徴空間）視察会」の実施

日 時／2024年9月13日（金）9：30～16：30

場 所／白老郡白老町「ウポポイ（民族共生象徴空間）」

内 容／9：30 札幌駅北口バスターミナル集合・出発

11：10 ウポポイ到着

11：30 伝統芸能鑑賞（20分）

12：00 昼食

12：30 国立アイヌ民族博物館等見学（2時間30分）

15：00 見学終了・ウポポイ出発

16：30 札幌駅北口到着・解散

参加者／16名

(2) ボランティアの取り組み

①ユネスコカレンダー市

日 時／○1月12日（日）9：00～12：00

○1月12日（日）16：00～17：00

○1月13日（月）9：00～12：00

●1月14日（火）9：00～12：00

●1月14日（火）12：00～14：00

●1月17日（金）17：00～19：00

場 所／○かでの2.7

●札幌駅前通地下歩行空間

主 催／札幌ユネスコ協会

内 容／行列警備・会場設営・搬入・搬出・会場撤去など。

参加者／12日 6人（UAゼンセン1／北教組1／連合北海道4）

13日 3人（JP労組1／連合北海道3）

14日 8人（UAゼンセン1／自治労2／情報労連2／連合北海道3）

17日 1人（連合北海道1）

(3) 2025年度「連合・愛のキャンパ」の取り組み

■「連合・愛のキャンパ」地域助成の申請および結果

「連合・愛のキャンパ」（地域助成分）について、資格要件、評価基準を充たしていることから、連合本部に対して下記のとおり申請をし、承認を得た。

受付日	団体名	助成額	助成申請回数
2025年3月31日	ほっかいどう若者応援プロジェクト	30万	3回目

4. 環境問題と循環型社会の実現を求める取り組み

【取り組みの総括と課題】

【食の安全・安心、環境問題と循環型社会の実現を求めて】

北海道は日本最大の食料供給地域です。将来にわたって安全で良質な食料の安定供給を確保するためには、持続可能な北海道の第一次産業を支える取り組みが必要です。

連合北海道は、食料・森林・水資源や環境問題など生活にかかわる諸問題について、「食・みどり・水を

守る道民の会」により取り組みを進めています。北海道の一次産業の活性化とともに、消費者が安心安全で食味の高い道産品を再認識し、率先した購入・消費による地産地消の促進に資する「道産食材試食会」を本年も取り組みました。

次年度も「食・みどり・水を守る道民の会」とともに、食の安全・安心、環境問題と循環型社会の実現に向けた取り組みを強化します。

(1) 食・みどり・水を守る道民の会の取り組み

①「食・みどり・水を守る道民の会」幹事会の開催

○第1回

日 時／2024年10月2日（水）13：30

場 所／連合北海道会議室

議 題／・北海道産品評価試食会の開催について
・2025年度総会に向けて

○第2回

日 時／2024年11月26日（火）14：00

場 所／連合北海道会議室

議 題／2025年度総会に向けて

②北海道産品評価試食会の開催

日 時／2024年11月28日（木）18：30～20：30

場 所／ホテルボールスター札幌 2階 「ボールスターホール」

内 容／①主催者挨拶 高久保 陽一 会長

②農業団体挨拶 大久保 明義 北海道農民連盟委員長

③生産者の方たちから提供食材の紹介

北海道農民連盟 中原 浩一 書記長

全十勝地区農民連盟 加藤 哲佳 書記長

空知農民連合 山口 浩幸 書記長

④乾杯 和田 英浩 連合北海道事務局長

⑤試食会

⑥閉会挨拶 齋藤 教一 道民の会副会長

参加者／98人

③食とみどり、水を守る全国活動者会議への参加

日 時／2024年11月29日（金）13：30

場 所／日本教育会館 「第2会議室」

内 容／①講演会

演 題：「水をめぐる様々な課題」

講 師：鈴木 渉さん（全日本水道労働組合書記）

演 題：「能登半島地震の復旧対応」

講 師：濱田 秀徳さん（農林水産省 農村振興局 整備部 防災課 災害対策室広域災害対策班
課長補佐）

②意見交換

テーマ：「地域の取組等」

出席者／石田敬雅道民の会事務局

④ 2025 年度総会の開催

日 時／2024 年 12 月 12 日（木）13：30～16：00

場 所／ホテルポールスター札幌 2 階「セレナード」

内 容／① 2025 年度総会（13：30～15：00）

- ・2024 年度経過・決算報告
- ・2025 年度活動方針・予算
- ・2025 年度新役員の選出体制

②講演会（15：00～16：00）

演 題：「水田政策の過去・現在と北海道水田農業の展開方向」

講 師：小松 友未さん（北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター）

参加者／72 人

【2025 年度役員体制】

会 長	高久保陽一（連合北海道）	会 長 代 行	大久保明義（農民連盟）
副 会 長	神成 武彦（森林労連）	副 会 長	高橋孝丈朗（全水道）
副 会 長	山崎 秀和（海員組合）	副 会 長	齋藤 教一（全農林）
事 務 局 長	荒木 敏安（連合北海道）		
事務局次長	三谷 浩章（農民連盟）	事務局次長	澤田 友和（森林労連）
事務局次長	築城 範和（全農林）	事務局次長	植田 竜司（全水道）
事務局次長	池上 幸太（海員組合）	事務局次長	山木 紀彦（自治労）
事務局次長	宮本 孔子（連合北海道）		
幹 事	岡村 孝一（北教組） 藤田 鉄平（UA ゼンセン） 小玉 朋廣（JP 労組） 佐藤 伸一（基幹労連） 鈴木 富夫（私鉄総連） 里館 一成（メディア労連） 工藤政志郎（全建総連）	吉本 勝（農民連盟） 白崎 健太（情報労連） 立崎 貴大（JR 総連） 伊東健太郎（フード連合） 田口 広大（JR 連合） 山本 功（道季労） 真壁 英治（退職者連合）	石山 達也（全農林） 渡邊慎之介（電力総連） 熊倉 輝人（全開発） 片桐 秀人（電機連合） 酒井 寛人（全労金） 西口光太郎（政労連）

⑤函館「第 12 回食と環境まつり」への参加

日 時／2024 年 10 月 5 日（土）11：00～15：00

場 所／函館市・旧シーポートプラザ広場（若松町南埠頭荷捌地）

内 容／産別・単組及び道南農連等による販売・活動等のブースには多くの市民が訪れ、北海道の第一次産業及び環境問題について直接的に学べる内容で開催された。

地協からは胆振地協・松田事務局長が参加し地域の産品を販売した。

参加者／荒木敏安道民の会事務局長、石田敬雅同事務局

5. メーデーの充実と、道民運動充実拡大の取り組み

【取り組みの総括と課題】

【全道メーデーの取り組み】

日本のメーデーは、1920 年に第 1 回メーデー大会が開催されました。北海道では 1926 年 5 月 1 日、道内で初めてとなるメーデーが小樽と函館で開かれています。

第 94 回全道メーデーは、その起源・意義を確認すると共に、国際連帯の日であり、働く者の最大の行事と位置づけ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた取り組みをアピール・発信する場として、コロナ禍以前のオープニング・式典・パレードにより開催することができました。

今後も 2011 年の「メーデーあり方検討委員会」の答申を踏襲し、これまでどおり 5 月 1 日を MAYDAY と位置づけ、未加盟労組などにも積極的に呼びかけながら参加拡大を図っていきます。

(1) 第 96 回全道メーデー大会の取り組み

①第 96 回全道メーデー実行委員会の開催

(a) 第 1 回

日 時／2025 年 3 月 7 日（金）13：30

場 所／ホテル札幌ガーデンパレス 4 階「錦」

対 象／産別、石狩地協、札幌地区連合、退職者連合、女性委員会、青年委員会

議 題／①メーデーイメージデザイン審査

②実施要領（案）について

③第 96 回メーデースローガンについて

(b) 第 2 回

日 時／2025 年 4 月 11 日（金）13：30

場 所／ホテル札幌ガーデンパレス 4 階「錦」

内 容／メーデー大会宣言（案）、決議（案）、スローガン（案）の決定等

(c) 第 3 回

日 時／2025 年 5 月 29 日（木）15：00

場 所／ホテル札幌ガーデンパレス 4 階「高砂」

議 題／第 96 回全道メーデーの特徴および改良・変更点について

②第 96 回全道メーデー大会の開催

日 時／2025 年 5 月 1 日（水）9：30～12：00

場 所／札幌市「大通西 8 丁目」

参 加／150 団体・約 3000 人

※地域メーデー 開催数／123 地域（前夜祭なども含む）

参 加／約 3 万人

内 容／アピールコンテストやお楽しみ抽選会のオープニングに続いてメーデー式典を開催し、終了後、パレード行進を行った。

【メーデー宣言】

本日、私たちは第 96 回全道メーデー大会を開催した。

2025 年、節目の年。私たちは、過去に学び、^{いま}現在を考え、^{あした}未来を見据える年にしなければならない。

能登半島地震発災から 1 年が経過した。

未だ被災地・被災者は平穏な日常を取り戻せていない。阪神・淡路大震災から 30 年。この間、幾多の自然災害に見舞われ、年々激甚化・頻発化している。一人ひとりが防災・減災の意識を高め備えなければならない。

私たちは、災害の記憶を風化させることなく、被災地・被災者に寄り添った支援を継続し、これからも支え合い・助け合い運動を展開していく。

戦後・被爆 80 年。決して戦争の記憶を風化させてはならない。

世界は今、「対立と分断」の道を突き進んでいる。戦後の多国間主義や国連中心主義が揺らぎ、国際秩序は混沌の度合いを増している。私たちは、平和の尊さ、戦争の悲惨さを次代に継承するとともに、世界の働く仲間と連帯を強め、非人道的な核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、平和運動を力強く進めて

いく。

私たちは、賃上げがあたりまえの社会をめざし、2025 春季生活闘争を展開している。

企業規模間、雇用形態間、男女間の格差是正と労務費を含む適切な価格転嫁、適正取引を徹底し、地場の中小企業や、労働組合のない中小・小規模事業所にも賃上げのすそ野を広げていかなければならない。

労働組合があるからこそ要求し、労使対等な交渉が可能となる。労働組合の意義と必要性を社会全体に浸透させ、仲間づくりを強力に推し進めていく。

普通選挙法の施行から 100 年。女性参政権が認められて 80 年。そして男女雇用機会均等法施行から 40 年。私たちは、自由・平等・公正で平和な社会をめざしてきた。引き続き、信頼ある政治の実現をめざすとともに、一人ひとりが尊重され、多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない社会をともに築いていこう。

次代につなぐ 平和の願い！

みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな^{あした}未来を！

以上、ここに宣言する。

【メーデースローガン】

<メインスローガン>

次代につなぐ 平和の願い！

みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな^{あした}未来を！

<北海道 サブスローガン>

1. 連合アクションを推進し、くらしの「底上げ」「底支え」「格差是正」で、ディーセントワーク・暮らしの安心・安全・働く人が報われる政治を取り戻そう！
2. 確実・適正な 36 協定の締結による長時間労働の是正など、労働者の立場にたった働き方改革を実現しよう！
3. 東日本大震災をはじめすべての被災地と連携し、被災労働者の雇用と生活を守り、復興・再生を進めよう！
4. すべての職場における集団的労使関係の構築に向け、30 万人連合北海道を実現しよう！
5. 原子力エネルギーに依存しない社会を目指し、再生可能エネルギーの推進と省エネを進めよう！
6. 道の核抜き条例を遵守し、幌延深地層研究センターの計画再延長を認めないことや、寿都町・神恵内村をはじめ道内に高レベル放射性廃棄物を持ち込まないよう取り組もう！
7. 政府による地方自治への介入を許さず、公共サービスの維持・向上に向け、自治体財政の確立を進めよう！
8. 道内の一次産業の持続的発展を目指し、スマート農林水産業の全道展開に向けた導入支援事業等の制度を拡充しよう！
9. 経済連携協定は労働者の権利保障や国内安全基準の確保をはじめ、道内の農業生産や地域産業の維持発展、地域コミュニティの存続に対する十分な対策を求めよう！
10. すべての労働者が社会保険に原則適用されるよう要件を見直し、年金制度の機能強化を実現しよう！
11. 医療・介護・障害福祉サービスに関する労働条件の改善と人材の確保・定着を図り、地域に根ざした訪問介護を含めた「地域包括ケアシステム」の深化・推進を実現しよう！
12. 生活保護に至る前段階から生活困窮状態からの早期自立を促し、自立相談支援機関が支援の必要な本人の状態像に応じたきめ細やかなアウトリーチ支援を講じよう！
13. 季節労働者の特例一時金を 50 日に復活！冬期間の生活保障を確立し、通年雇用に向けた施策の充実を図ろう！
14. 賃金条項を有する公契約条例をはじめとする公正な労働条件の確保と、適正な競争のもと良質な公共サー

ビスを実現しよう！

15. 「パートナーシップ構築宣言」を推進し、北海道政労使会議で採択された共同宣言を遵守することで、中小下請け労働者の賃金・労働条件の底上げ・格差是正を実現しよう！
16. ものづくり産業の技術・技能の継承、人材育成確保のため公共職業訓練を拡充させよう！
17. 公務員の労働基本権を回復し、自律的労使関係制度を確立しよう！
18. 北海道の最低賃金を時給1,250円へ引き上げ、すべての労働者の賃金の底上げをはかろう！
19. 「障害者差別解消法」「障害者雇用促進法」を実効あるものとし、国連「障害者権利条約」が目指す差別のない社会を実現しよう！
20. 地域のすべての子ども・子育て世帯に対応した伴走型支援を行うとともに、現場で働く保育士や社会的養護にかかわる児童指導員等の処遇をはじめとする労働条件の改善を図ろう！
21. ワークライフバランスのとれたジェンダー平等社会の実現をさらに加速させよう！
22. 2024問題に直面した産業の人材不足解消に向け、当該産業の労働条件改善や生産性向上、工期設定の適正化、労務費の適正な価格転嫁を通じた取引適正化を実現しよう！
23. 生活に必要不可欠な地域公共交通の維持・確保の観点から、MaaSやバリアフリー化の推進、鉄道を含めた交通インフラサービスを強化・拡充しよう！
24. 「子どもの貧困」解消・教育予算の拡充・30人以下学級の早期実現など、「子どもの権利条約」に基づく教育施策を求め、すべての子どもにゆたかな教育を実現しよう！
25. 米軍基地の整理縮小、日米地位協定の見直し、米軍演習の矢臼別・千歳移転反対！米軍の道内港湾の軍事的利用に反対しよう！
26. 北方領土問題を早期に解決しよう！
27. 安全保障関連法及び特定秘密保護法、改正組織犯罪処罰法（共謀罪）を廃止しよう！
28. 「立憲主義」「民主主義」を取り戻し、平和な社会を実現しよう！
29. あらゆるハラスメントを根絶し、だれもが生き生きと働き続けられる社会を実現しよう！
30. 性的指向・性自認（SOGI）の理解を深め、多様性が認められる社会を目指そう！

【特別決議】

戦後・被爆80年 次代につなぐ平和の特別決議（案）

2025年、戦後・被爆80年となる。

80年前、第二次世界大戦により、世界で約8千万人が犠牲となった。人類史上、初めて広島に、そして長崎に投下された原子爆弾は計り知れない破壊と苦しみをもたらした。

今なお、戦禍の傷跡や痛みは癒えていないが、連合は、不戦の誓いのもと、働く仲間が連帯し、平和・人権・民主主義を守る歩みとともに、沖縄・広島・長崎・根室において平和運動を展開している。

ウクライナ、パレスチナ、ミャンマーなど、今なお、世界では戦争・紛争や人権侵害が起きている。なんら罪のない多くの人々は苦しみ、依然として核兵器の脅威は存在している。戦禍の記憶を風化させることなく、武力ではなく、対話と信頼の関係構築を通じ、戦争や核兵器のない世界、持続可能な世界の実現に向けて、私たちは、不斷の努力を続けなければならない。

昨年、被爆者の立場で「核兵器なき世界」を訴え続けた日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことは、「対立と分断」を深める世界への警鐘である。

「一発の原子爆弾は私の身内5人を無残な姿に変え一挙に命を奪いました。その時目にした人々の死にざまは、人間の死とはとても言えないありさまでした。たとえ戦争といえどもこんな殺し方、こんな傷つけ方をしてはいけないと、私はそのとき、強く感じたものであります。」

これは、日本被団協・代表委員の田中熙巳（たなか てるみ）さんの言葉である。

戦争は最大の人権侵害である。

今を生きる私たちの責任として、戦争の悲惨さと平和の尊さを次代に継承していかなければならない。

戦後・被爆 80 年の今、世界がより良い未来へと向かうための行動と平和の誓いを新たにし、次代につながる平和の決議とする。

第 27 回参議院議員選挙勝利に向けた特別決議（案）

第 27 回参議院議員選挙が目前に迫っている。

連合は、昨年（2019 年）の第 50 回衆議院議員選挙において、「与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセット」することを目標に構成組織・地方連合会・連合本部が一体となって取り組み、政策実現に向けて連携する立憲民主党および国民民主党は改選議席数を大幅に上回る議席を獲得し、目標とした与党過半数割れを達成した。

参議院議員選挙は政権選択選挙ではなく、中間選挙とも呼ばれているが、過去、選挙結果がその後の国会運営および政局に影響を及ぼしたケースは少なくない。

2009 年の政権交代を振り返ると、2007 年の第 21 回参議院議員選挙において与党が総議席の過半数を割り込むことに始まり、次の第 45 回衆議院議員選挙で野党が過半数を獲得したことで政権交代につながった。

このような現状を踏まえつつ「第 27 回参議院議員選挙の基本方針」を提起し、次期参議院議員選挙を政権交代への確かなステップとすべく「参議院での与党過半数割れ」を目指し、これまで取り組んできた。

改めて言うまでもなく、連合は働く仲間の集まりである。働く仲間のくらしと権利を守るために真剣に汗を流す政治家を一人でも多く国政の場に送り込むことが政治に緊張感をもたらすうえでも重要である。特に比例代表選挙は職能代表制の性格を持っており、構成組織が擁立する候補者を当選させることは働く仲間を代表する連合の社会的な役割であると言っても過言ではない。

連合北海道は、北海道選挙区の推薦候補者、立憲民主党「勝部けんじ」氏、国民民主党「鈴木まさき」氏の当選に向けて組織の総力を挙げて運動を展開するとともに、比例代表は、連合組合員の代表を擁立して闘う選挙であり、候補者全員の必勝が至上命題である。

「働く者・生活者」の立場に立った政治勢力の拡大は、「働くことを軸とする安心社会」をめざす連合の政策実現に向けて極めて重要である。

次期参議院議員選挙を、健全な議会制民主主義を取り戻す極めて重要な取り組みと位置付け、政権交代可能な二大政党的政治体制の一翼を担う勢力構築の足がかりにすべく、全ての組織を挙げて闘いを展開する。

以上、決議する。

（２）道民運動充実拡大の取り組み

日 時／2025 年 1 月 30 日（木）10：00

場 所／ホテルポールスター札幌 4 階「ライラック」

内 容／2025 年度の道民運動に関する活動内容

- ・平和・軍縮、核兵器廃絶の取り組み
- ・憲法への取り組み
- ・ゆたかな教育をめざす取り組み
- ・食の安心・安全、環境問題と循環型社会の実現を求める取り組み
- ・人権・共生の社会づくり、社会連帯への取り組み
- ・第 96 回全道メーデーの開催

6. 連合本部諸会議等への出席

(1) 平和4行動地方連合会意見交換会

①第1回

日 時／2024年11月29日（金）15：00

場 所／連合会館 3階「B会議室」

議 題／戦後80年の取り組み

出席者／荒木敏安副事務局長、宮本孔子道民運動局次長

②第2回

日 時／2025年1月15日（水）12：00～13：15

場 所／連合会館 3階「B会議室」

内 容／①戦後・被爆80年の取り組み

②その他

出席者／和田英浩事務局長

(2) 第2回連帯活動担当者会議

日 時／2025年1月20日（月）15：00

場 所／WEB開催

議 題／①2025年度連帯活動の取り組み

②その他

出席者／荒木敏安副事務局長、宮本孔子道民運動局次長、石田敬雅同次長

(3) 「核兵器廃絶1000万署名」説明会

日 時／2025年3月28日（金）13：00～15：00

場 所／web開催

議 題／①戦後・被爆80年を踏まえた平和運動について

②「核兵器廃絶1000万署名」について

出席者／宮本孔子道民運動局次長、石田敬雅同次長

(4) 「ゆにふあん」諸会議

会議名／第3回ゆにふあん担当者会議

日 時／2025年1月29日（水）10：00

場 所／WEB開催

出席者／宮本孔子道民運動局次長、石田敬雅同次長

会議名／第4回ゆにふあん担当者会議

日 時／2025年7月22日（火）16：00～17：30

場 所／web開催

議 題／①2026～2027運動方針策定

②ゆにふあんフォーラムの開催

③ゆにふあんレポートの制作

出席者／宮本孔子道民運動局次長、石田敬雅同次長

7. 公職・関係組織会議等対応

(1) 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議

日 時／2024 年 11 月 27 日（水）10：00

場 所／第二水産ビル 5 階会議室

出席者／石田敬雅道民運動局次長

(2) 北方領土返還要求署名活動

日 時／2025 年 2 月 5 日（水）13：00

場 所／大通西 6 丁目雪まつり会場 「北方領土返還要求署名コーナー」

出席者／石田敬雅道民運動局次長

(3) 北方領土復帰期成同盟第 1 回理事会

日 時／2025 年 5 月 20 日（火）13：30

場 所／京王プラザホテル札幌

出席者／荒木敏安副事務局長

(4) 北方領土返還要求北海道・東北国民大会実行委員会

日 時／2025 年 5 月 26 日（月）15：00

場 所／カナモトホール 2 階「第 1 会議室」

出席者／荒木敏安副事務局長

(5) 令和 7 年度北方領土の日啓発実行委員会

日 時／2025 年 5 月 26 日（月）15：30

場 所／カナモトホール 2 階「第 1 会議室」

出席者／荒木敏安副事務局長

(6) 北方領土復帰期成同盟通常総会

日 時／2025 年 6 月 13 日（金）13：30

場 所／京王プラザホテル札幌

出席者／荒木敏安副事務局長

(7) 北方領土復帰期成同盟第 2 回理事会

日 時／2025 年 6 月 13 日（金）通常総会終了後

場 所／京王プラザホテル札幌

出席者／荒木敏安副事務局長

(8) 2025 北方領土返還要求 北海道・東北国民大会

日 時／2025 年 8 月 29 日（金）13：00

場 所／共済ビル 6 階「共済ホール」

出席者／荒木敏安副事務局長



VII. 広報・文化活動と 国際関連の取り組み

Ⅶ．広報・文化活動と国際関連の取り組み

1. 広報・文化活動

【総括と課題】

- (1) 連合北海道ホームページは、産別、地協、地区連合そして組合員をつなぐ情報ネットワークであり、速報性を重視する情報媒体です。担当局が迅速に情報をアップロードする半面、読みやすさについては、文章量のばらつきやフォントのばらつきなど課題を残しました。北海道民を含む組織内外に情報発信し、連合北海道を「知ってもらう・参加してもらう・協力してもらう」よう、産別・地協にとって日常の活動に活用できるホームページとなるよう今後も改良に努めていきます。
- (2) 毎月5日に定期発行している機関紙「れんごうマンスリー」については、紙媒体とともに、PCやスマホなどでもリンク先を参照できるスタイルにしています。ホームページの閲覧についてはアクセスした人に限られますが、紙媒体の機関紙はインターネットで行きわたらない部分を補う役割と、産別の役員、地協・地区連合役員などに対する情報共有の役割もあります。「機関紙」「ホームページ」のそれぞれの特性をふまえ、情報伝達の効率的、効果的な方法を模索することに努めていきます。
- (3) 連合北海道は、SNS、ラジオ番組・ラジオCM、街頭放送、バス車内放送等を活用した広報活動にも取り組んできました。連合北海道に対する認知度やブランディング向上に向けて、SNSの発信力強化が課題である一方、既存のマスメディアや広告媒体活用については、費用対効果を考慮しながら関係局と連携して取り組んでいきます。

(1) 「MONTHLY れんごう北海道」の発行

- No. 369 (10月) 平和行動 in 根室、ウポボイ視察、2024 連合北海道インターンシップ、「2024 はたらく女性の集会」、3 定にむけた民主・道民連合議員会との連携会議、北海道最低賃金の時間額改正
- No. 370 (11月) 第50回衆議院選挙結果速報、ケアラー支援推進月間、渡島地協「食と環境まつり」、女性委員会第35回定期総会、過労死等防止啓発月間
- No. 371 (12月) 「道政に対する要求と提言」「ラピダス課題要請」道との意見交換、第27代高校生平和大使国連欧州本部訪問報告、第50回衆議院選挙結果(詳細)、「連合フリーランス労災保険センター」設立、ろうきん偽サイト注意
- No. 372 (1月) 須間会長新年挨拶、第37回年次大会、2025 春季生活闘争方針、新春パズル、広告(福祉事業団体新年名刺広告)
- No. 373 (2月) 2025 新年交礼会、北海道政労使会議・賃上げ共同宣言、ドナー休暇導入推進と骨髄バンクドナー登録の呼びかけ、広告(骨髄バンクチャリティコンサート)、全国一斉集中労働相談ホットライン告知、協同組合カレーパンでギネスに挑戦告知
- 号外 (3月) 男女平等参画トップリーダー宣言
- No. 374 (3月) 2025 春季生活闘争交渉ヤマ場、私鉄総連函館バス支部和解、道議会1定に向け各会派と意見交換、被爆80年北海道高校生被爆ピアノコンサート、新春パズル当選者発表
- No. 375 (4月) 2025 春季生活闘争3.10全道総決起集会、経済5団体と労使懇談会開催、処遇改善に向け北海道労働局要請、2025 春季生活闘争第2回回答集計、賃上げにむけ札幌市内中心部で街宣、3.8国際女性デー北海道集会、連合「私の提言」周知
- No. 376 (5月) 2025 春季生活闘争第4回回答集計、北の輝く女性応援会議、北海道ブロック女性会議、北海道高校生被爆80年被爆ピアノコンサート、北海道労働資料センター公開日周知
- No. 377 (6月) 6月男女平等月間、第96回全道メーデー、2025 春季生活闘争第5回回答集計、書籍紹介「北海道をひらく平和学」

- No. 378 (7月) 第90回地方委員会開催、2025 春季生活闘争第6回回答集計、2025 男女雇用機会均等法集会開催、第28代高校生平和大使決定、ブロック代表者会議に芳野友子会長が2年ぶりに来札
- 号外 (7月) 第27回参議院議員選挙推薦候補者一覧
- No. 379 (8月) 第27回参議院議員選挙結果、2025 春季生活闘争第7回回答集計、北海道労働資料センター公開日周知
- No. 380 (9月) 北海道地方最低賃金1075円で結審、被爆80年「平和行動 in 広島・長崎」に北海道統一代表団を派遣、「2026 年度政府予算に対する要求と提言」中央省庁要請実施、「道政に対する要求と提言」道への要請を実施

(2) メディア活用

労働組合の必要性や連合北海道の運動を社会に発信するため、各種メディアを活用。

2. 国際関連

従来実施していたサハリン州労働組合連合との定期交流については、ロシアのウクライナ侵攻に伴い民間交流事業は再開の目途が立っていないため、今年度も見送ることとした。黒龍江省総工会との定期交流は、再開を強く要望されているが今年度の実施にはいたらなかった。今後、先方との協議を再開し開催方法を検討する。

新型コロナウイルスの流行がやや下火となってきたため、関係諸団体主催の海外視察セミナーへの参加を再開した。

(1) 北海道生産性本部「結成 65 周年 米国視察調査」への参加

期 間：2024 年 11 月 11 日（月）～ 16 日（土）

訪問地：サンフランシスコ、シリコンバレー

参加者：永田総合政策局長、赤田釧根地協事務局長

(2) 戦後 80 年 平和と友好の旅（日中友好道民連絡会議企画）

期 間：2025 年 9 月 13 日（土）～ 20 日（土）

訪問地：北京（故宮、天安門広場）、哈爾濱（黒龍江省総工会、731 部隊罪証陳列館）、南京（南京大屠殺遇難同胞記念館）、上海

参加者：小倉総務財政局長

VIII. 政治に関する 取り組み

Ⅷ. 政治に関する取り組み

【総括と課題】

1. 選挙活動の推進

2024年10月27日、「第50回衆議院選挙」の投開票が行われました。自民党派閥の政治資金パーティーを巡る裏金事件を受けた政治改革が争点のひとつとして大きくクローズアップされるなか、物価高騰対策をはじめとする経済対策や、人口減少化における少子化や超高齢化社会の社会保障などに関わる課題を問う選挙戦となりました。12の選挙区と比例道ブロック（定数8）の計20議席を争った結果、立憲民主党が12議席（内、比例3議席）で2009年以来となる過半数を超える議席を獲得し、国民民主党は比例で1議席を得ました。反面、政権与党の自民党は6議席、公明党は1議席に後退しました。

2025年7月20日には、「第27回参議院選挙」の投開票が行われました。北海道選挙区（定数3）は立憲民主党現職と国民民主党新人の2議席確保に向けて、また比例代表は連合組合員の代表を擁立して闘う選挙であり、連合推薦候補者10名全員の当選をめざし、組織の総力を挙げて取り組みを進めました。結果、選挙区では立憲民主党現職が当選を果たしたものの、国民民主党新人は惜敗、比例代表においても1名の落選を許し、推薦候補者全員の勝利とはなりませんでした。

組織運動としての取り組みは、各産別・地協・地区連合の努力により各選挙区において大きな力となっています。しかし、近年の組合員の減少・高齢化、選挙戦術の経験不足など、労働組合としてのノウハウの継承が危ぶまれる状況が大きくクローズアップされています。立憲民主党、国民民主党共に支援する労働組合などへの依存が続いており、これまでとは違った党組織の再構築と、地域における党員組織の再結成に向けた努力が必要であることを意識し、連合北海道としても意見していかなければなりません。

2. 政治分野における女性活躍推進

女性のさらなる参画に向けては、理念法にとどまる「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」だけでは不十分です。クォータ制（割当制）の導入に向けたさらなる議論と追加の法整備に加え、議員が公務と生活を両立できる環境整備が着実に前進するよう今後も取り組みを進めていく必要があります。

3. 政治・選挙活動の強化

私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現するためには、働く者・生活者の立場に立った政治勢力の拡大が国政・地方を問わず不可欠であり、政治活動の重要性はより一層強まっています。しかし、政治・選挙活動に対する組合員の理解と認識は年々厳しい現状となっており、各種の取り組みにおける組織・地域間格差が拡大しています。支持獲得の活動や電話戦術、ビラ配布行動、各集会等への参加など、社会情勢の変化等によりかつては有効だった活動が、効果が得られにくくなっている実態も見受けられます。

こうした現状を再認識し、理解を深める運動を組織強化・拡大運動とあわせて構成組織、地協・地区連合で取り組むことが求められます。

1. 第50回衆議院議員選挙のまとめ

【Ⅷ政治・資料1】

2. 連合北海道国会議員団会議への加入について

第50回衆議院議員選挙で当選した以下の衆議院議員について覚書を締結し、「連合北海道国会議員団会議」の一員に加え、政策の実現に向けて連携していくこととする。

- ・北海道5区 池田 真紀（立憲民主党・元職） 覚書締結日 2024年11月13日
- ・北海道6区 西川 将人（立憲民主党・新人） 覚書締結日 2024年11月13日

- ・北海道7区 篠田 奈保子（立憲民主党・新人） 党書締結日 2024年11月13日
- ・北海道12区 川原田 英世（立憲民主党・新人） 党書締結日 2024年11月15日
- ・北海道比例 臼木 秀剛（国民民主党・新人） 党書締結日 2024年11月20日

3. 政治センター代表幹事会及び拡大幹事会の開催

(1) 代表幹事会

日 時／2025年2月27日（木） 13：30～14：30

場 所／グランドメルキュール札幌大通公園 20階「パールホールC」

議 題／①第27回参議院議員選挙の基本方針（案）

【Ⅷ政治・資料2】

②その他

出 席／連合北海道 会長、会長代行、副会長、事務局長、副事務局長
（オブザーバー 常駐執行委員）

(2) 第56回拡大幹事会

日 時／2025年2月27日（木） 15：00～16：00

場 所／グランドメルキュール札幌大通公園 20階「パールホールAB」

議 題／①第27回参議院議員選挙の基本方針（案）

②その他

出 席／連合北海道 会長、会長代行、副会長、事務局長、副事務局長、執行委員
構成産別代表、地域協議会代表、北海道退職者連合（計50人 出席）

4. 第27回参議院議員選挙北海道選挙区候補予定者の第二次推薦

第二次推薦として、国民民主党本部において公認が決定した「鈴木雅貴氏」を推薦し、連合本部へ推薦申請を行った。

〈北海道選挙区 連合北海道第二次推薦候補予定者〉

鈴木 雅貴（すずき まさき）〔国民民主党 新人〕

5. 第27回参議院議員選挙に向けた取り組み

(1) 連合北海道会長・事務局長経験者会議

日 時：2025年4月22日（火） 12：00～13：00

場 所：ほくろうビル 2階会議室

内 容：第27回参議院議員選挙の取組方針 等

出席者：渡辺顧問、船水顧問、佐藤顧問、高柳顧問、村田顧問、工藤顧問、出村顧問
杉山顧問、藤盛顧問
須間会長、和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長

(2) 比例候補擁立産別（立憲民主党）打合せ会

日 時：2025年4月22日（火） 17：00～18：00

場 所：連合北海道会議室（ほくろうビル5階）

内 容：第27回参議院議員選挙の取組方針 等

出席者：比例候補産別：自 治 労 佐藤委員長、山本書記長、佐々木政治部長
北 教 組 山谷委員長
J P 労組 鳴原副委員長

情報労連 定居副委員長（N T T 労組）

私鉄総連 加藤委員長

J A M 長田書記長

連 合 北 海 道：須間会長、和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長

(3) 地域協議会事務局長打合せ会

日 時：2025 年 4 月 23 日（水） 11：45～13：00

場 所：ホテルボールスター札幌 4 階「シャクナゲ」

内 容：第 27 回参議院議員選挙の取組方針 等

出席者：和田事務局長、各地協事務局長

(4) 比例候補擁立産別（国民民主党）打合せ会

日 時：2025 年 4 月 24 日（木） 9：30～10：00

場 所：ニューオータニイン札幌 3 階「新緑の間」

内 容：第 27 回参議院議員選挙の取組方針 等

出席者：比例候補産別：U A ゼンセン 奈良支部長

電力総連 山下会長

電機連合 片桐事務局長

連 合 北 海 道：須間会長、和田事務局長、荒木副事務局長、金子副事務局長

(5) 第 27 回参議院議員選挙の必勝に向けた特別決議

連合北海道第 90 回地方委員会（2025 年 6 月 17 日） 特別決議

【Ⅷ政治・資料 3】

6. 第 27 回参議院議員選挙の結果について

選挙日程／公示日：2025 年 7 月 3 日、投票日：7 月 20 日

(1) 北海道選挙区

勝部 賢志【立憲民主党】（501,081 票） - 当選 -

鈴木 雅貴【国民民主党】（324,272 票）

高橋はるみ【自由民主党】（546,118 票） - 当選 -

岩本 剛人【自由民主党】（333,558 票） - 当選 -

田中 義人【参政党】（325,070 票）

宮内 史織【日本共産党】（147,880 票）

野村 パターソン和孝【れいわ新選組】（139,301 票）

小野寺 秀【日本保守党】（112,076 票）

オカダ美輪子【日本維新の会】（56,253 票）

稲原 宗能【チームみらい】（33,038 票）

後藤 朋子【NHK 党】（13,144 票）

高杉 保次【日本改革党】（7,420 票）

(2) 比例代表（連合推薦候補者）

〔立憲民主党〕

岸 真紀子【自治労】（147,648 票） - 当選 -

吉川 沙織【情報労連】（116,314 票） - 当選 -

水岡 俊一【日教組】（116,142 票） - 当選 -

小沢 雅仁【J P 労組】（99,963 票） - 当選 -

郡山 玲【J A M】(94,610 票) - 当選 -
森屋 隆【私鉄総連】(74,495 票)
〔国民民主党〕
田村 麻美【U A ゼンセン】(205,331 票) - 当選 -
浜野 喜史【電力総連】(193,599 票) - 当選 -
磯崎 哲史【自動車総連】(181,976 票) - 当選 -
平戸 航太【電機連合】(92,137 票) - 当選 -

7. 第 27 回参議院選挙のまとめ

連合北海道 第 91 回地方委員会 (2025 年 9 月 26 日) 第 2 号議案

【Ⅷ政治・資料 4】

8. 北海道議会議員釧路市選挙区補欠選挙の結果について

連合北海道推薦候補者／岡田 遼 (新人)
選挙日程／告示日：2024 年 10 月 18 日、投票日：10 月 27 日
選挙結果／岡田 遼 (無投票) - 当選 -
伊東 尚悟 (無投票) - 当選 -

9. 首長選挙の結果について

(1) 釧路市長選挙

連合北海道推薦候補者／蝦名 大也 (現職 4 期)
選挙日程／告示日：2024 年 10 月 20 日、投票日：10 月 27 日
選挙結果／蝦名 大也 (21,081 票)
鶴間 秀典 (27,103 票) - 当選 -
笠井 龍司 (25,702 票)

(2) 弟子屈町長選挙

連合北海道推薦候補者／徳永 哲雄 (現職 6 期)
選挙日程／告示日：2024 年 11 月 5 日、投票日：11 月 10 日
選挙結果／徳永 哲雄 (無投票) - 当選 -

(3) 清水町長選挙の結果について

連合北海道推薦候補者／辻 康裕 (新人)
選挙日程／告示日：2025 年 2 月 4 日、投票日：2 月 9 日
選挙結果／辻 康裕 (2,925 票) - 当選 -
阿部 一男 (2,144 票)

(4) 豊頃町長選挙の結果について

連合北海道推薦候補者／按田 武 (現職 1 期)
選挙日程／告示日：2025 年 4 月 8 日、投票日：4 月 13 日
選挙結果／按田 武 (無投票) - 当選 -

(5) 標津町長選挙

連合北海道推薦候補者／山口 将悟 (現職 1 期)

選挙日程／告示日：2025 年 5 月 20 日、投票日：5 月 25 日

選挙結果／山口 将悟（無投票） - 当選 -

(6) 厚岸町長選挙

連合北海道推薦候補者／三浦 克宏（新人）

選挙日程／告示日：2025 年 6 月 10 日、投票日：6 月 15 日

選挙結果／三浦 克宏（無投票） - 当選 -

(7) 中札内村長選挙

連合北海道推薦候補者／川尻 年和（新人）

選挙日程／告示日：2025 年 6 月 10 日、投票日：6 月 15 日

選挙結果／川尻 年和（1,525 票） - 当選 -

森田 匡彦（944 票）

(8) 新得町長選挙

連合北海道推薦候補者／佐藤 博行（新人）

選挙日程／告示日：2025 年 7 月 15 日、投票日：7 月 20 日

選挙結果／湯浅 真希（1,809 票） - 当選 -

佐藤 博行（1,711 票）

(9) 士別市長選挙

連合北海道推薦候補者／北口 雄幸（新人）

選挙日程／告示日：2025 年 8 月 31 日、投票日：9 月 7 日

選挙結果／渡辺 英次（5,274 票） - 当選 -

北口 雄幸（4,904 票）

(10) 本別町長選挙

連合北海道推薦候補者／佐々木 基裕（現職 1 期）

選挙日程／告示日：2025 年 8 月 25 日、投票日：8 月 30 日

選挙結果／佐々木 基裕（1,579 票） - 当選 -

編田 照茂（1,482 票）

岡崎 慶太（1,107 票）

10. 第 51 回衆議院議員選挙候補予定者の推薦

第 7 回執行委員会（2025 年 6 月 17 日）において、本部方針に則り、現職・組織内議員である連合北海道国会議員団の以下 12 名を推薦し本部へ推薦申請を行った。

【推薦候補予定者】

選挙区	氏 名	新人・現職
北海道第 1 区	道下 大樹	現職 3 期：49 歳
〃 第 2 区	松木 けんこう	現職 7 期：66 歳
〃 第 3 区	荒井 ゆたか	現職 2 期：50 歳
〃 第 4 区	おおつき くれは	現職 2 期：41 歳
〃 第 5 区	池田 まき	現職 2 期：53 歳
〃 第 6 区	にしかわ 将人	現職 1 期：56 歳

〃 第7区	しのだ 奈保子	現職1期：53歳
〃 第8区	おおさか 誠二	現職6期：66歳
〃 第9区	山岡 達丸	現職4期：45歳
〃 第10区	神谷 ひろし	現職3期：56歳
〃 第11区	石川 かおり	現職3期：41歳
〃 第12区	かわはらだ 英世	現職1期：42歳

11. 2025年度連合北海道国会議員団会議総会の開催

日 時／2025年8月6日（水） 18：00～

場 所／都道府県会館 地下1階（住所：東京都千代田区平河町2－6）

次 第／①開会

②挨拶 須間 等 連合北海道会長

徳永 エリ 連合北海道国会議員団会議会長

③議事 連合北海道国会議員団会議の構成及び2025年度役員体制の確認

④その他

⑤閉会

出席者／国会議員団：道下衆議、松木衆議、荒井衆議、池田衆議、西川衆議、篠田衆議

逢坂衆議、山岡衆議、神谷衆議、川原田衆議、臼木衆議

徳永参議、勝部参議（他 議員秘書 11名）

連合北海道：須間会長、和田事務局長、永田総合政策局長（他 事務局3名）

12. 本部諸会議

(1) 2025年度連合政治研修会

日 時／2025年3月25日（火） 13：00～17：00

場 所／連合本部 3階「A・B会議室」（Web併用開催）

次 第／①連合挨拶 清水 秀行 連合事務局長

②講演 「ネット地盤が変える選挙の姿・データで考える有権者の変化」

（講師）米重 克洋（株）JX通信社 代表取締役

③意見交換 「ネット誤情報への対処法など」

（登壇）高畑 卓 イチニ（株） 代表取締役

深澤 諭史 弁護士

服部 啓一郎 弁護士

内藤 靖博 連合副事務局長（政治センター事務局長）

出 席／（Web）荒木副事務局長、金子副事務局長、海野政治センター次長

13. 連合本部「政治活動マニュアル（第6版）」の送付

送付物品／冊子「政治活動マニュアル（第6版）」（連合本部作成）

送 付 数／構成産別・地域協議会 各1冊

送 付 日／2025年3月18日（火）発送済み（執行委員会資料等の定期発送に同封）

そ の 他／冊子の在庫（予備）は持たないが、電子データでの提供は可能

14. 地域協議会推薦議員懇談会

(1) 連合留萌地協「2025 年度 推薦議員団総会」

日 時／2025 年 2 月 8 日（土）16：00～17：00

場 所／留萌市中央公民館 研修会議室 A

内 容／①地協会長あいさつ 留萌地協会長 中内 孝

②地協推薦議員団会長あいさつ 苫前町議会議員 田沢 収

③来賓あいさつ 連合北海道総合政策局長 永田 重人

衆議院議員 神谷 裕

④議事 ・2023～2024 年度 活動報告・会計決算・会計監査報告

・2025 年度 活動方針（案）・会計予算（案）・役員体制（案）

(2) 連合檜山地協「2025 年度推薦議員懇談会」

日 時／2025 年 3 月 22 日（土）18：00～

場 所／追分鮪（檜山郡江差町字新地町 36－6）

内 容／①主催者挨拶 地協推薦議員懇談会 会長 佐々木 宏（厚沢部町副議長）

②来賓挨拶 連合北海道 和田 英浩 事務局長

立憲民主党北海道第 8 区総支部 板倉 一幸 幹事長

③経過報告

・設立からの経過、取り組み経過について

・その他

④協議事項

・設立の趣旨・目的の再確認について

・2025 年度活動方針（案）、役員体制（案）

・次期、北海道議会議員候補擁立に向けた意見交換

⑤その他

出 席／和田事務局長

(3) 連合石狩地協議員懇談会・札幌地区連合議員団会議 2025 年度合同総会

日 時／2025 年 5 月 10 日（土）10：00～12：30

場 所／ホテルモンテレーデルhof札幌 12 階「ルセルナホール」

次 第／①開 会

②先 議 構成会員・団体 2025 年度役員体制について（案）

③挨 拶 連合石狩地協議員懇談会 菅原 和忠 会長

連合石狩地協議員懇談会 吉田 賢一 会長代行

④来賓挨拶 連合北海道 須間 等 会長

⑤講 演 演題「私たちの暮らしと政治」

（講師）連合本部 政治センター 局長 照沼 光二 氏

⑥議案提起

・連合石狩地協議員懇談会・札幌地区連合議員団会議の取り組みについて

・第 20 回統一自治体選挙、第 50 回衆議院議員選挙結果

・2025 年度活動方針

・その他

⑦質 疑

⑧参加議員紹介・挨拶

⑨閉 会

出席／須間会長（来賓挨拶）

各級議員（候補予定者含む） 49 名、連合関係 45 名

(4) 連合十勝地協「推薦議員懇談会」

日時／2025 年 5 月 25 日（日） 10 時～

場所／とかち館 「孔雀の間」

次第／①開会

②「推薦議員懇談会」会長あいさつ

③講演 「第 27 回参議院選挙をめぐる情勢と課題」

④質疑応答

⑤閉会あいさつ

出席者／52 名（内、各級議員 22 名）

(5) 連海上川地協「連携議員懇談会 2025 年度総会・研修会」

日時／2025 年 9 月 20 日（土） 10 時～

場所／J A 上川ビル 2 階「大会議室」

次第／①開会

②会長あいさつ 連携議員懇談会 会長 北口 雄幸

③来賓あいさつ 衆議院議員 西川 将人

④議題提起・質疑討論

⑤総会閉会あいさつ 連携議員懇談会 副会長 宮崎アカネ

⑥研修会

講演 「変容期を迎えた地方自治体－財政と行政運営のこれから」

講師 北海道地方自治研究所 研究員 高野 譲 氏

⑦研修会まとめ・閉会あいさつ 連携議員懇談会 会長代行 溝口 信之

出席者／66 名



VIII. 政治 添付資料はこちらから

IX. 労働者・自主福祉運動 の取り組み

Ⅸ. 労働者・自主福祉運動の取り組み

【総括と課題】

1. 北海道労福協の取り組み

- (1) 連合北海道労働福祉対策特別委員会は、労働運動と労働者自主福祉運動を車の両輪として、産別・地協・地区連合における一体的な推進体制の確立を図り、労金、こくみん共済 coop <全労済>、住宅生協などの事業推進に取り組みました。

なお、組合員のニーズに対応できる労働者自主福祉推進窓口を産別・単組・支部・分会まで可能な限り設置するよう働きかけを行いました。

- (2) 労福協が取り組む勤労者福祉向上キャンペーン（9月～11月）は、協同組合の認知度向上を図ることで、労福協の社会的地位を高め、政策制度要求を実現し、労働福祉事業団体の利用拡大を図る目的として実施しました。

連合北海道労働福祉対策特別委員会と連携の下、労働福祉事業団体の利用拡大・推進強化、政策・制度要求の取り組み、北海道労働福祉講座の開催等に協力しました。

- (3) 労福協が企画・主催する労働福祉セミナー、ウェルフェアスクール、イベントへの参加について積極的に産別・地協に働きかけました。
- (4) 中央労福協が行っている教育費負担軽減の取り組みとして「教育費負担軽減・奨学金制度改善にむけたアピール」に対する団体賛同・個人署名活動について道労福協と連携して取り組みました。

2. 各事業団体の取り組み

(1) ろうきん運動の推進

北海道ろうきんは、働く人たちがお互いを助け合うため、資金を出し合ってつくった協同組織の福祉金融機関です。働く人とその家族の豊かな暮らしを一番に考え、誰もが喜びをもって生活できる社会の実現に寄与することを目的とし、営利を目的としない健全経営に徹した取り組みに積極的に協力しました。

- ① 「つなぐプロジェクト for SDGs」と「会員自主目標推進運動」の連動を強化し、会員・推進機関が一体となったろうきん運動を行い、「会員組合員メインバンク No.1 運動」の展開に協力しました。
- ② 組合員の豊かな生活をめざし、3本柱である「生活設計」「生活改善」「生活防衛」運動を継続し、「奨学金借換えローン周知活動」や「可処分所得向上運動」等の推進に協力しました。
- ③ 有期・短期間・契約等で働く労働者のろうきん利用拡大に向け、「全力応援 pack 周知活動」の取り組みに協力しました。
- ④ 生涯取引の推進に向け、「退職者連合」や「友の会」と連携し、年金振込口座指定や預金預け替え運動の継続を推進しました。
- ⑤ ろうきんを利用することが社会貢献に繋がり、SDGsの達成に貢献することを周知し、これまで実践してきた「ろうきん運動」の更なる強化に協力しました。

(2) こくみん共済 coop <全労済>運動の推進

こくみん共済 coop <全労済>は、消費生活協同組合法（生協法）にもとづく営利を目的としない生協として、国民生活の安定と生活文化の向上を期するために民主的運営により組合員や家族に「安全」「安心」を届ける活動を進めています。

生活保障設計運動を継承・発展させた生活全般の保障に対応する「トータルライフサポート活動」を通して、組合員をはじめ地域の皆さんに対して「お役立ち」と「共創」による各共済の永続・複合利用につなげる取り組みに積極的に協力しました。

- ① 北海道労済運動推進会議を基軸として、生命系共済（こくみん共済・長期共済）、自動車関連補償共

済（マイカー共済、自賠責共済）、住まいる共済（火災共済・自然災害共済）の継続・新規加入活動等も対面推進（オンライン推進含）による加入拡大の取り組みに協力しました。

- ② 新たな組合員サービス「公式アプリ」「こくみん Life サポート」について、組合員の利便性向上、組合員と労組とこくみん共済 coop を繋げる新たなサービスと位置づけ、積極導入を促進する取り組みに協力しました。
- ③ こくみん共済 coop 総体で展開する「子どもの成長応援プロジェクト」「7才の交通安全プロジェクト」について、SDGs や社会課題解決の観点から協力しました。
- ④ 住まいる共済の制度改定を契機とし、激甚化する大規模災害に備えるために「防災・減災」をふまえた無保障者をなくす取り組みを進めました。
- ⑤ 連合スクラム共済について、引き続き産別・地協と連携し加入拡大を推進しました。

(3) 住宅生協運動の決断

北海道住宅生協が1961年10月に設立されてから64年が経過しますが、20年程前から受注減少により厳しい事業運営が続き、2006年～2008年までの3ヵ年再建計画を策定し再建に舵を切った時期もありました。結果として再建計画は達成できたものの、その後業績は下降線を辿り、遂には昨年2023年度決算では21百万円の赤字決算に至りました。

主力事業であるリフォーム事業は、資材価格や人件費高騰が続く中で需要自体が大きく減少し、他業種参入やネットによる受注競合も激しく、住宅生協の市場がますます狭まり、当生協の利用者の80%弱が高齢者であり年々リピーターが自然減となっていることも受注減少に拍車をかけました。

このことを受け、経営強化小委員会を設置し検討を進めた結果、「事業目標を掲げ産別・地協など関係組織で努力をしているが、運動だけでは支えきれない事業であり、今後も目立った業績の向上が望めない」・「職員体制も高齢化しており新規採用者を募集しても応募が無く、体制づくりがままならない現状では今後の事業運営を続けていくことは難しい」・「今後も赤字決算が生じた場合、出資金返還に必要な資金に手を付けることとなり兼ねない」。したがって、これまで住宅生協を支援いただいた組合員や関係団体の方々にご迷惑をかけることの無いよう「廃業に向けた手続きを開始すべき」との結論となりました。

この経営強化小委員会の結論を踏まえ、2025年6月20日開催の通常総代会で「事業廃止に向けた清算業務を開始する」旨の議案を提起した結果、賛成多数で可決されました。

① 事業停止・清算業務開始

- 1) 2025年6月末をもって、一部事業を除き住宅生協事業を停止する。
- 2) 概ね1年を目途に主要事業を清算する。
- 3) 以降は少人数により出資返還業務を含む残務作業を行いながら、当生協の解散を目指すこととする。

② 今後の主要事業の対応について

- 1) 新築事業
 - ・受注しない。
 - ・業者紹介を依頼された場合は、委託業者へ誘導する。
- 2) リフォーム事業
 - ・現在受付済案件及び今後相談案件については、生協事業停止を説明の上了解頂けるものについてのみ年内工事完了案件に限り対応する。
 - ・それ以外については、業者紹介を依頼された場合は、委託業者へ誘導する。
- 3) 流通事業
 - ・既に委託先業者との対応となっており、業者紹介を依頼された場合は、委託業者へ誘導する。
- 4) 道路損傷事業
 - ・受注しない。
 - ・こくみん共済 coop との委託契約を解除する。

5) 賃貸事業

- ・賃貸物件売却までは、賃貸業務を遂行する。
- ・9～12月を目途に売却し、組合員出資金返還原資とする。

6) マンション管理事業

- ・マンション管理組合との委託契約が終了する2026年3月末で事業を終了する。

(4) 北海道医療生協の解散

2023年6月の通常総代会において医療生協の解散期限を2025年3月末とすることを決定し、解散決議のための臨時総代会を10月29日に開催しました。2025年4月8日の清算結了総代会をもって60年の歴史に幕を下ろしました。

1. 各労働福祉事業団体の総会・総代会

(1) 住宅生協通常総代会

日 時／2025年6月20日（金）10：00

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024年度事業・会計決算報告、2025年度事業計画、予算、定款の一部変更、役員体制

(2) 北海道基金協会 第50回通常総会

日 時／2025年6月20日（金）12：45

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024年度事業・会計決算報告、2025年度事業計画、予算、役員の定期改選

(3) 北海道労福協 第66回定期総会

日 時／2025年6月20日（金）13：20

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024年度活動・会計決算報告、2025年度活動方針、予算

(4) 北海道医療生協 清算結了総代会

日 時／2025年4月9日（金）11：30

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／北海道医療生活協同組合解散に伴う清算結了の確認

(5) 北海道勤労者信用基金協会（労信）定時評議会

日 時／2025年6月10日（火）10：00

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024年度活動・会計決算報告、2025年度活動方針、予算、役員の改選

(6) 北海道ライフサポートセンター通常総会

日 時／2025年6月23日（月）14：00

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024年度事業・会計決算報告、2025年度事業計画、予算

(7) 北海道労働金庫 第42回通常総会

日 時／2025年6月24日（火）10：00

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024 年度活動・会計決算報告、長期ビジョン、中期経営計画（2025 ～ -2029 年度）2025 年度事業計画、予算、役員の補欠選任

(8) こくみん共済 coop 通常総代会

日 時／2025 年 7 月 30 日（水）13：00

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024 年度活動・会計決算報告、2025 年度活動方針、予算、役員の一部改選

(9) 労働福祉共済会第 15 回通常総会

日 時／2025 年 7 月 30 日（水）15：30

場 所／ホテルポールスター札幌

内 容／2024 年度事業報告、2025 年度事業計画及び収支予算、役員の改選

2. 労働福祉対策特別委員会

■第 47 回労働福祉対策特別委員会の開催

日 時／2024 年 11 月 25 日（月）13：00

場 所／ニューオータニイン札幌 2 階 「鶴西」

議 題／各労働福祉事業団体の 2024 年度上期事業実績と 2024 年度下期事業計画

IX. 自主福祉 添付資料はこちらから



X. 総務並びに一般 経過報告

X. 総務並びに一般経過報告

1. 機関会議・その他諸会議

(1) 定例執行委員会

■第13回執行委員会（2024.10.11）

【経過】

- | | |
|--|-----------|
| (1) 一般経過 | (総務財政) |
| (2) 2024 最低賃金改定周知街宣行動 | (組織労働) |
| (3) 青年委員会の取り組み | (ク) |
| (4) 退職者連合の取り組み | (ク) |
| (5) 公職諸会議への出席 | (ク) |
| (6) 北海道労働委員会の状況 | (ク) |
| (7) 組織拡大報告 | (組織対策) |
| (8) 労働相談状況に関する報告 | (ク) |
| (9) 労働相談センター相談員の拡充について | (ク) |
| (10) 北海道ワーカーズユニオンの結成 | (ク) |
| (11) 後志地協ウェルフェアスクールへの講師派遣 | (ク) |
| (12) 本部諸会議への出席 | (ク) |
| (13) 働き方などに中立的な社会保険制度に対する連合の考え方（案）に対する連合北海道の意見について | (総合政策) |
| (14) 本部諸会議への出席 | (ク) |
| (15) 高校生平和大使の取り組み | (道民運動) |
| (16) 「食・みどり・水を守る道民の会」の取り組み | (ク) |
| (17) 第35回女性委員会定期大会 | (ジェンダー平等) |
| (18) 2025 年度第1回女性委員会幹事会 | (ク) |
| (19) 第2回連合北海道役員推薦委員会の開催 | (総務財政) |
| (20) 第89回地方委員会 | (ク) |
| (21) 定例会議の開催 | (ク) |

【確認事項】

- | | |
|--|-----------|
| (1) 2024 春季生活闘争まとめ案および 2025 春季生活闘争基本構想案の提起方法の変更について | (組織労働) |
| (2) 連合北海道判例研究会 | (ク) |
| (3) 青年委員会の取り組み | (ク) |
| (4) 本部諸会議への出席 | (ク) |
| (5) 連合北海道地域ユニオンについて | (組織対策) |
| (6) 本部諸会議への出席 | (ク) |
| (7) 2025 年度 道政に対する「要求と提言」およびラピダス進出に係る要請書に対する道との意見交換の実施 | (総合政策) |
| (8) 公職・諸会議への出席 | (ク) |
| (9) 「食・みどり・水を守る道民の会」の取り組み | (道民運動) |
| (10) 高校生平和大使の取り組み | (ク) |
| (11) 本部諸会議への出席 | (ジェンダー平等) |
| (12) 第47回労働福祉対策特別委員会の開催 | (総務財政) |
| (13) 第37回年次大会の日程変更 | (ク) |
| (14) 定例会議の開催 | (ク) |

■第14回執行委員会（2024.11.25）

（１）一般経過	（総務財政）
（２）全国産業安全衛生大会	（組織労働）
（３）本部諸会議への出席	（　　）
（４）公職諸会議への出席	（　　）
（５）北海道労働委員会の状況	（　　）
（６）組織拡大報告	（組織対策）
（７）労働相談状況に関する報告	（　　）
（８）地域ゼネラル連合移行に向けた地域オルグについて	（　　）
（９）本部諸会議への出席	（　　）
（10）2025年度道政に対する「要求と提言」およびラピダス進出に係る要請書に対する道との意見交換の実施	（総合政策）
（11）道議会第4回定例会に向けた対応	（　　）
（12）2024年度連合北海道「道内市町村の実態調査の結果」について	（　　）
（13）公職・諸会議への出席	（　　）
（14）本部諸会議	（　　）
（15）関係組織・団体主催行事等対応	（　　）
（16）高校生平和大使の取り組み	（道民運動）
（17）女性委員会の取り組み	（ジェンダー平等）
（18）公職諸会議への出席	（　　）
（19）各級選挙の結果について	（政治センター）
（20）北労生「結成65周年 米国視察調査」への参加	（総務財政）
（21）公職・諸会議への参加	（　　）
（22）第3回役員推薦委員会の開催	（　　）
（23）定例会議	（　　）
【協議事項】	
（１）第50回衆議院議員選挙のまとめ（案）	（政治センター）
（２）連合北海道国会議員団会議への加入について	（　　）
（３）第37回年次大会 大会宣言（案）	（総務財政）
【確認事項】	
（１）2025年度「第1回中小・パート労働条件委員会」の開催	（組織労働）
（２）2025年度「第1回最賃対策委員会」の開催	（　　）
（３）2025年度第1回金属・機械部門連絡会幹事会の開催	（　　）
（４）青年委員会の取り組み	（　　）
（５）退職者連合のとりくみ	（　　）
（６）11月判例研究会	（　　）
（７）本部諸会議への出席	（　　）
（８）公職諸会議への出席	（　　）
（９）北海道社労士会との意見交換会	（組織対策）
（10）労働相談ホットラインについて	（　　）
（11）地域ゼネラル連合移行に向けた地域オルグについて	（　　）
（12）寄附講座の講師派遣	（　　）
（13）私鉄総連函館バス支部の物販支援について	（　　）
（14）本部諸会議への出席	（　　）
（15）公職諸会議への出席	（　　）
（16）2025年度第1回政策委員会及び第1回エネルギー・環境政策委員会の開催	（総合政策）

(17) 第1回(2月)定例道・市町村議会における意見書採択について	(ク)
(18) カスタマー・ハラスメント道条例制定に向けた道議会傍聴	(ク)
(19) ほっかいどう若者応援連絡会議の取り組み	(ク)
(20) 本部諸会議	(ク)
(21) 公職・諸会議	(ク)
(22) 関係組織・団体主催行事等対応	(ク)
(23) 2025年度道民運動推進委員会の開催	(道民運動)
(24) ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する道議会要請の実施	(ク)
(25) 食・みどり・水を守る道民の会の取り組み	(ク)
(26) 高校生平和大使の取り組み	(ク)
(27) ボランティアの取り組み	(ク)
(28) 公職・諸会議への出席	(ク)
(29) 連合本部諸会議への出席	(ク)
(30) 女性委員会の取り組み	(ジェンダー平等)
(31) 本部諸会議への出席	(ク)
(32) 本部諸会議への参加	(総務財政)
(33) 第37回年次大会について	(ク)
(34) 2025年新年交礼会	(ク)
(35) 定例会議の開催	(ク)
(36) 年末年始の対応	(ク)

■第1回執行委員会(2024.12.17)

【協議事項】

(1) 組織財政特別委員会の設置について	(総務財政)
----------------------	--------

【確認事項】

(1) 全国一斉集中労働相談ホットラインについて	(組織対策)
(2) 「被爆80年 高校生被爆ピアノコンサート」の共催	(道民運動)
(3) 第18期後期の執行体制について	(総務財政)
(4) 五役の担務について	(ク)
(5) 第18期後期事務局業務分掌について	(ク)
(6) 第18期後期事務局体制について	(ク)
(7) 執行委員会・職務代行者の取り扱いについて	(ク)
(8) 会議日程について	(ク)

■第2回執行委員会(2025.1.29)

【経過】

(1) 一般経過	(総務財政)
(2) 2025年度第1回中小・パート労働条件委員会の開催	(組織労働)
(3) 2025年度第1回最賃対策委員会の開催	(ク)
(4) 2025年度第1回金属・機械部門連絡会幹事会の開催	(ク)
(5) 青年委員会の取り組み	(ク)
(6) 退職者連合の取り組み	(ク)
(7) 判例研究会	(ク)
(8) NPO 北海道勤労者安全衛生センター 2024年度第2回理事会	(ク)
(9) 本部諸会議への出席	(ク)
(10) 公職諸会議への出席	(ク)

(11) 労働委員会の状況	(♫)
(12) 組織拡大報告	(組織対策)
(13) 労働相談状況に関する報告	(♫)
(14) 地域ゼネラル連合移行に向けた地域オルグについて	(♫)
(15) 労働相談ホットラインについて	(♫)
(16) 釧路公立大学における寄附講座の実施について	(♫)
(17) 北海道社労士会との意見交換	(♫)
(18) 連合北海道地域ユニオンの取り組み	(♫)
(19) 本部諸会議への参加	(♫)
(20) カスタマーハラスメント道条例制定に向けた道議会傍聴	(総合政策)
(21) ほっかいどう若者応援連絡会議の取り組み	(♫)
(22) 2025 年度 第 1 回政策委員会及び第 1 回エネルギー・環境政策委員会の開催	(♫)
(23) 本部諸会議	(♫)
(24) 公職・諸会議	(♫)
(25) 関係組織・団体主催行事等対応	(♫)
(26) 米海軍ミサイル駆逐艦「ハワード」の小樽港入港に反対する取り組み	(道民運動)
(27) 食・みどり・水を守る道民の会の取り組み	(♫)
(28) 高校生平和大使の取り組み	(♫)
(29) 原爆パネル展の開催	(♫)
(30) ボランティアの取り組み	(♫)
(31) 私学教育の実現を求める私学助成に関する道議会要請の実施	(♫)
(32) 「ゆたかな教育の実現」を求める取り組み	(♫)
(33) 連合本部諸会議への出席	(♫)
(34) 公職・諸会議への出席	(♫)
(35) 2025 年度第 1 回男女平等参画推進委員会の開催	(ジェンダー平等)
(36) 女性委員会の取り組み	(♫)
(37) 公職諸会議への出席	(♫)
(38) 本部諸会議への参加	(総務財政)
(39) 第 37 回年次大会の開催	(♫)
(40) 2025 年新年交礼会	(♫)
(41) 定例会議の開催	(♫)
【協議事項】	
(1) 2025 年度 政策・制度実現に向けた取り組みの基本方針（案）	(総合政策)
(2) 2025 年度 エネルギー・環境政策委員会の取り組みの基本方針（案）	(♫)
(3) 2025 年度連合北海道役員推薦委員会について	(総務財政)
【確認事項】	
(1) 産業別部門連絡会の開催	(組織労働)
(2) 第 2 回中小・パート共闘会議及び第 1 回 C 部門（流通・食品・建設・一般）合同会議	(♫)
(3) 経済 5 団体と連合北海道との春季労使懇談会の開催	(♫)
(4) 2025 春季生活闘争・第 27 回参議院議員選挙勝利！！3.10 全道総決起集会の開催	(♫)
(5) 2025 春季生活闘争 連合全国一斉アクション 2.27 街宣行動	(♫)
(6) 青年委員会の取り組み	(♫)
(7) 退職者連合の取り組み	(♫)
(8) 2 月判例研究会	(♫)
(9) 本部諸会議への出席	(♫)
(10) 公職諸会議への出席	(♫)

(11) 組織拡大推進特別委員会の開催について	(組織対策)
(12) 北海道地域ユニオンの今後の日程について	(ク)
(13) ワークルール検定 2025 春の実施とチケットの販売について	(ク)
(14) 地域ゼネラル連合移行に向けた地域オルグについて	(ク)
(15) 渡島地協ユニオンスクールへの講師派遣	(ク)
(16) 本部諸会議への参加	(ク)
(17) 道議会第 1 回定例会に向けた対応	(総合政策)
(18) 航空連合北海道との「要求と提言」対道交渉に向けた意見交換	(ク)
(19) 本部諸会議	(ク)
(20) 公職・諸会議	(ク)
(21) 関係組織・団体主催行事等対応	(ク)
(22) 「第 96 回全道メーデー」第 1 回実行委員会の開催	(道民運動)
(23) 高校生平和大使の取り組み	(ク)
(24) 2025 平和行動 in 沖縄の延期	(ク)
(25) 米海軍ミサイル駆逐艦「ハワード」の小樽港入港に反対する取り組み	(ク)
(26) 「ゆたかな教育の実現」を求める取り組み	(ク)
(27) 2025 年度「連合・愛のカンパ」の取り組み	(ク)
(28) 公職・諸会議への出席	(ク)
(29) 2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一北海道集会の開催	(ジェンダー平等)
(30) 北海道ブロック女性会議の開催	(ク)
(31) 本部諸会議への出席	(ク)
(32) 公職諸会議への出席	(ク)
(33) 政治センター代表幹事会及び拡大幹事会の開催	(政治センター)
(34) 本部諸会議	(総務財政)
(35) 公職・諸会議	(ク)
(36) 連合北海道の職員の採用について	(ク)
(37) 定例会議の開催について	(ク)

【春季生活闘争】

第 1 回闘争委員会	(春季生活闘争本部)
------------	------------

■第 3 回執行委員会 (2025.2.28)

(1) 一般経過	(総務財政)
(2) 産業別部門連絡会の開催	(組織労働)
(3) 第 2 回中小・パート共闘会議及び第 1 回 C 部門（流通・食品・建設・一般）合同会議	(ク)
(4) 2025 春季生活闘争 連合全国一斉アクション 2.27 街宣行動	(ク)
(5) 青年委員会の取り組み	(ク)
(6) 退職者連合の取り組み	(ク)
(7) 2 月判例研究会	(ク)
(8) 本部諸会議への出席	(ク)
(9) 公職諸会議への出席	(ク)
(10) 北海道労働委員会の状況	(ク)
(11) 組織拡大報告	(組織対策)
(12) 労働相談状況に関する報告	(ク)
(13) 地域ゼネラル連合移行に向けた意見交換について	(ク)
(14) 労働相談ホットラインについて	(ク)
(15) 私鉄総連函館バス支部の労使紛争について	(ク)

- (16) 公職諸会議への出席 (ﾎ ﾍ)
- (17) 2025 年度 第 1 回政策委員会及び第 1 回エネルギー・環境政策委員会の開催 (総合政策)
- (18) 道議会第 1 回定例会に向けた対応 (ﾎ ﾍ)
- (19) 北海道カスタマーハラスメント防止条例に係る指針（素案）に対するパブリックコメントの実施 (ﾎ ﾍ)
- (20) 航空連合北海道との「要求と提言」対道交渉に向けた意見交換 (ﾎ ﾍ)
- (21) 本部諸会議 (ﾎ ﾍ)
- (22) 関係組織・団体主催行事等対応 (ﾎ ﾍ)
- (23) 公職・諸会議 (ﾎ ﾍ)
- (24) 2025 年度道民運動推進委員会の開催 (道民運動)
- (25) 米海軍ミサイル駆逐艦「ハワード」の小樽港入港に反対する取り組み (ﾎ ﾍ)
- (26) 高校生平和大使の取り組み (ﾎ ﾍ)
- (27) 公職・諸会議への出席 (ﾎ ﾍ)
- (28) 第 3 回女性委員会幹事会 (ジェンダー平等)
- (29) 政治センター代表幹事会及び拡大幹事会の開催 (政治センター)
- (30) 清水町長選挙の結果について (ﾎ ﾍ)
- (31) 地域協議会推薦議員懇談会 (ﾎ ﾍ)
- (32) 第 47 回 組織・財政特別委員会 (総務財政)
- (33) 本部諸会議 (ﾎ ﾍ)
- (34) 公職・諸会議 (ﾎ ﾍ)
- (35) 定例会議の開催 (ﾎ ﾍ)

【協議事項】

- (1) 2025 年度労働福祉事業団体役員推薦委員会について (総務財政)

【確認事項】

- (1) NPO 北海道勤労者安全衛生センター「カスタマーハラスメント」アンケート調査実施に関わるお願い (組織労働)
- (2) 本部諸会議への参加 (組織対策)
- (3) 公職諸会議への出席 (ﾎ ﾍ)
- (4) 本部諸会議 (総合政策)
- (5) 関係組織・団体主催行事等対応 (ﾎ ﾍ)
- (6) 公職・諸会議 (ﾎ ﾍ)
- (7) 「被爆 80 年 高校生被爆ピアノコンサート」の開催について (道民運動)
- (8) 「第 96 回全道メーデー」第 2 回実行委員会の開催について (ﾎ ﾍ)
- (9) 女性委員会の取り組み (ジェンダー平等)
- (10) 公職諸会議への出席 (ﾎ ﾍ)
- (11) 本部諸会議 (政治センター)
- (12) 組織・財政特別委員会 第 1 回小委員会 (総務財政)
- (13) 2025 年度中間会計監査の実施 (ﾎ ﾍ)
- (14) 定例会議の開催 (ﾎ ﾍ)

【春季生活闘争】

- 第 2 回闘争委員会 (春季生活闘争本部)

■第 4 回執行委員会 (2025.3.28)

【経 過】

- (1) 一般経過 (総務財政)
- (2) 2025 春季生活闘争・第 27 回参議院議員選挙勝利！！3.10 全道総決起集会 (組織労働)

(3) 春季生活闘争における各種要請行動	(ク)
(4) 2025 春季生活闘争周知街宣行動	(ク)
(5) 公務・公共サービス労働組合協議会第 22 回総会	(ク)
(6) 日高地協経済団体との懇談	(ク)
(7) 岩見沢地区連合会青年委員会定期総会及び青年委員会ゼミの開催	(ク)
(8) 本部諸会議への出席	(ク)
(9) 公職諸会議への出席	(ク)
(10) 北海道労働委員会の状況	(ク)
(11) 組織拡大実績報告	(組織対策)
(12) 労働相談状況に関する報告	(ク)
(13) ユニオンスクール渡島への講師派遣	(ク)
(14) 地域ユニオンに関する地方オルグ	(ク)
(15) 本部諸会議への出席	(ク)
(16) 公職諸会議への出席	(ク)
(17) 道議会対応	(総合政策)
(18) 関係組織・団体主催行事等対応	(ク)
(19) 公職・諸会議	(ク)
(20) 「第 96 回全道メーデー」第 1 回実行委員会の開催	(道民運動)
(21) 「ゆたかな教育の実現」を求める取り組み	(ク)
(22) 高校生平和大使の取り組み	(ク)
(23) 女性委員会の取り組み	(ジェンダー平等)
(24) 公職諸会議への出席	(ク)
(25) 連合本部「政治活動マニュアル (第 6 版)」の送付	(政治センター)
(26) 本部諸会議	(ク)
(27) 地域協議会推薦議員懇談会	(ク)
(28) 2025 年度第 1 回連合北海道役員推薦委員会の開催	(総務財政)
(29) 2025 年度中間会計監査の実施	(ク)
(30) 本部諸会議への出席	(ク)
(31) 公職・諸会議への出席	(ク)
(32) 定例会議の開催	(ク)
【協議事項】	
(1) 豊頃町長選挙の推薦について	(政治センター)
【確認事項】	
(1) 産業別部門連絡会の開催	(組織労働)
(2) 第 3 回中小・パート共闘会議の開催	(ク)
(3) 2025 春季生活闘争周知街宣行動	(ク)
(4) 公正取引に関する要請行動	(ク)
(5) 第 8 回医療職場の意見交換会	(ク)
(6) 第 16 回全道中小労働者研修・交流集会の開催	(ク)
(7) 退職者連合の取り組み	(ク)
(8) 組織拡大推進特別委員会の開催	(組織対策)
(9) 第 1 回地域ユニオン執行委員会の開催	(ク)
(10) 産別組織拡大会議への講師派遣	(ク)
(11) 本部所会議への参加	(ク)
(12) 連合北海道・航空連合北海道「北海道に対する航空労働者課題の要請」に係る意見交換 (交渉)	(総合政策)

- (13) 連合北海道「2026 年度 要求と提言」策定に向けた取り組み (ﾎ ﾞ)
- (14) 本部諸会議 (ﾎ ﾞ)
- (15) 公職・諸会議 (ﾎ ﾞ)
- (16) 北海道高校生平和大使派遣に向けた取り組み (道民運動)
- (17) 選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める誓願について (ジェンダー平等)
- (18) 2025 年度第 1 回労働福祉事業団体役員推薦委員会 (再掲) (総務財政)
- (19) 組織・財政特別委員会 第 2 回小委員会 (ﾎ ﾞ)
- (20) 定例会議の開催 (ﾎ ﾞ)
- (21) 年間スケジュールの変更 (ﾎ ﾞ)
- (22) ゴールデンウィークの連合北海道勤務体制 (ﾎ ﾞ)

【春季生活闘争】

- 第 3 回闘争委員会 (春季生活闘争本部)

■第 5 回執行委員会 (2025.4.24)

- (1) 一般経過 (総務財政)
- (2) 産業別部門連絡会の開催 (組織労働)
- (3) 第 3 回中小・パート共闘会議の開催 (ﾎ ﾞ)
- (4) 公正取引に関する要請行動 (ﾎ ﾞ)
- (5) 青年委員会第 5 回幹事会の開催 (ﾎ ﾞ)
- (6) 退職者連合の取り組み (ﾎ ﾞ)
- (7) 本部諸会議への出席 (ﾎ ﾞ)
- (8) 労働委員会の状況 (ﾎ ﾞ)
- (9) 組織拡大報告 (組織対策)
- (10) 労働相談状況に関する報告 (ﾎ ﾞ)
- (11) 組織拡大推進特別委員会の開催 (ﾎ ﾞ)
- (12) 産別組織拡大会議への講師派遣 (ﾎ ﾞ)
- (13) 連合北海道地域ユニオンの取り組み (ﾎ ﾞ)
- (14) 本部諸会議への参加 (ﾎ ﾞ)
- (15) 幌延深地層研究センター関係 (総合政策)
- (16) 本部諸会議 (ﾎ ﾞ)
- (17) 公職・諸会議 (ﾎ ﾞ)
- (18) 「被爆 80 年 高校生被爆ピアノコンサート」の開催 (道民運動)
- (19) 「第 96 回全道メーデー」第 2 回実行委員会の開催 (ﾎ ﾞ)
- (20) 連合本部会議への出席 (ﾎ ﾞ)
- (21) 公職諸会議への出席 (ジェンダー平等)
- (22) 第 27 回参議院議員選挙に向けた取り組み (政治センター)
- (23) 豊頃町長選挙の結果について (ﾎ ﾞ)
- (24) 組織・財政特別委員会 第 1 回小委員会 (総務財政)
- (25) 定例会議の開催 (ﾎ ﾞ)

【協議事項】

- (1) 戦後・被爆 80 年を節目とする平和運動の推進 (道民運動)
- (2) 第 27 回参議院議員選挙北海道選挙区候補予定者の第二次推薦 (政治センター)
- (3) 首長選挙の推薦について (ﾎ ﾞ)
- (4) 第 90 回地方委員会の開催 (総務財政)

【確認事項】

- (1) 第 8 回医療職場の意見交換会 (組織労働)

- (2) 第16回全道中小労働者研修交流集会 (ク)
 - (3) 青年委員会の取り組み (ク)
 - (4) 退職者連合の取り組み (ク)
 - (5) 公職諸会議への出席 (ク)
 - (6) 全国一斉集中労働相談ホットラインの実施について (組織対策)
 - (7) 大学訪問について (ク)
 - (8) ユニオンスクール渡島への講師派遣 (ク)
 - (9) 本部諸会議への参加 (ク)
 - (10) 公職諸会議への出席 (ク)
 - (11) 道議会第2回定例会に向けた対応 (総合政策)
 - (12) 第2回(6月)定例道・市町村議会における意見書採択について (ク)
 - (13) 連合北海道・航空連合北海道「北海道に対する航空労働者課題の要請」に係る意見交換(交渉) (ク)
 - (14) 連合北海道「2026年度 要求と提言」策定に向けた取り組み (ク)
 - (15) 本部諸会議 (ク)
 - (16) 関係組織・団体主催行事等対応 (ク)
 - (17) 公職・諸会議 (ク)
 - (18) 第96回全道メーデーの開催 (道民運動)
 - (19) 「第96回全道メーデー」第3回実行委員会の開催 (ク)
 - (20) 高校生平和大使の取り組み (ク)
 - (21) 2025男女雇用機会均等法集会の開催 (ジェンダー平等)
 - (22) 第51回衆議院選挙における候補者の推薦手続きについて (政治センター)
 - (23) 2025年度第2回労働福祉事業団体役員推薦委員会 (総務財政)
 - (24) 第48回組織・財政特別委員会 (ク)
 - (25) 本部・諸会議への出席 (ク)
 - (26) 労働福祉事業団体の総会など (ク)
 - (27) 定例会議の開催 (ク)
- 【春季生活闘争】
- 第4回闘争委員会 (春季生活闘争本部)

■第6回執行委員会(2025.5.22)

【経過】

- (1) 一般経過 (総務財政)
- (2) 産業別部門連絡会の開催 (組織労働)
- (3) 5月判例研究会の開催 (ク)
- (4) 退職者連合の取り組み (ク)
- (5) 公職諸会議への出席 (ク)
- (6) 労働委員会の状況 (ク)
- (7) 組織拡大報告 (組織対策)
- (8) 労働相談状況に関する報告 (ク)
- (9) 渡島地域ユニオンオルグおよび労働相談員意見交換会 (ク)
- (10) 本部諸会議への参加 (ク)
- (11) 公職諸会議への出席 (ク)
- (12) 連合北海道・航空連合北海道「北海道に対する航空労働者課題の要請」に係る意見交換(交渉) (総合政策)
- (13) 連合北海道「2026年度 要求と提言」策定に向けた取り組み (ク)

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| (14) 本部諸会議 | (♫) |
| (15) 関係組織・団体主催行事等対応 | (♫) |
| (16) 公職・諸会議 | (♫) |
| (17) 第 96 回全道メーデー大会の開催 | (道民運動) |
| (18) 沖縄県道 104 号線超え矢白別実弾射撃移転訓練に対する取り組み | (♫) |
| (19) 北海道高校生平和大使の取り組み | (♫) |
| (20) 2025 年度「連合・愛のカンパ」の取り組み | (♫) |
| (21) 公職・諸会議への出席 | (♫) |
| (22) 女性委員会の取り組み | (ジェンダー平等) |
| (23) 議員懇談会 | (政治センター) |
| (24) 2025 年度第 1 回労働福祉事業団体役員推薦委員会 | (総務財政) |
| (25) 組織・財政特別委員会 第 2 回小委員会 | (♫) |
| (26) 定例会議の開催 | (♫) |

【協議事項】

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| (1) 連合北海道「2026 年度 要求と提言」等の取り組み | (総合政策) |
| (2) 2025「平和行動 in 広島・長崎」への北海道統一代表団の派遣 | (道民運動) |

【確認事項】

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| (1) 産業別部門連絡会の開催 | (組織労働) |
| (2) 2025 年度 北海道最低賃金改正に関する北海道労働局への要請行動 | (♫) |
| (3) 第 1 回北海道政労使会議担当者会議 | (♫) |
| (4) 6 月判例研究会の開催 | (♫) |
| (5) 青年委員会の取り組み | (♫) |
| (6) 北海道勤労者安全衛生センターの取り組み | (♫) |
| (7) 公職諸会議への出席 | (♫) |
| (8) 本部諸会議への出席 | (♫) |
| (9) 本部諸会議への参加 | (組織対策) |
| (10) 公職諸会議への出席 | (♫) |
| (11) 道議会第 2 回定例会に向けた対応 | (総合政策) |
| (12) 北海道カスタマーハラスメント対策推進協議会への参画について | (♫) |
| (13) 構成組織の産業政策学習会への講師派遣 | (♫) |
| (14) 公職・諸会議 | (♫) |
| (15) 沖縄県道 104 号線超え矢白別実弾射撃移転訓練に対する取り組み | (道民運動) |
| (16) 北海道高校生平和大使の取り組み | (♫) |
| (17) ゆたかな教育の実現をめざす取り組み | (♫) |
| (18) 2025 年度「連合エコライフ」の取り組み | (♫) |
| (19) 公職・諸会議への出席 | (♫) |
| (20) 2025 男女雇用機会均等法集会の開催 | (ジェンダー平等) |
| (21) 雇用における男女平等に関する要請行動 | (♫) |
| (22) 2025 連合北海道男女平等月間（6 月）の取り組みについて | (♫) |
| (23) 第 2 回役員推薦委員会 | (総務財政) |
| (24) 第 90 回地方委員会 | (♫) |
| (25) 定例会議の開催 | (♫) |

【春季生活闘争】

- | | |
|------------|------------|
| 第 5 回闘争委員会 | (春季生活闘争本部) |
|------------|------------|

■第 7 回執行委員会（2025.6.17）

【経 過】

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| (1) 一般経過 | (総務財政) |
| (2) 産業別部門連絡会の開催 | (組織労働) |
| (3) 第8回医療職場の意見交換会 | (ク) |
| (4) 第16回全道中小労働者研修交流集会の開催 | (ク) |
| (5) 2025年度 北海道最低賃金改正に関する北海道労働局への要請行 | (ク) |
| (6) 青年委員会の取り組み | (ク) |
| (7) 公職諸会議への出席 | (ク) |
| (8) 本部諸会議への出席 | (ク) |
| (9) 労働委員会の状況 | (ク) |
| (10) 組織拡大報告 | (組織対策) |
| (11) 労働相談状況に関する報告 | (ク) |
| (12) 全国一斉集中労働相談ホットラインの実施について | (ク) |
| (13) ユニオン・スクール渡島への講師派遣 | (ク) |
| (14) 本部諸会議への出席 | (ク) |
| (15) 公職諸会議への出席 | (ク) |
| (16) 連合北海道「2026年度 要求と提言」策定に向けた取り組み | (総合政策) |
| (17) 道議会第2回定例会に向けた対応 | (ク) |
| (18) 関係組織・団体主催行事等対応 | (ク) |
| (19) 公職・諸会議 | (ク) |
| (20) 沖縄県道104号線超え矢臼別実弾射撃移転訓練に対する取り組み | (道民運動) |
| (21) 「第96回全道メーデー」第3回実行委員会の開催 | (ク) |
| (22) 北海道高校生平和大使の取り組み | (ク) |
| (23) ゆたかな教育の実現をめざす取り組み | (ク) |
| (24) 公職・諸会議への出席 | (ク) |
| (25) 2025男女雇用機会均等法集会の開催 | (ジェンダー平等) |
| (26) 雇用における男女平等に関する要請行動 | (ク) |
| (27) 選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願について | (ク) |
| (28) 首長選挙の結果について | (政治センター) |
| (29) 本部諸会議 | (総務財政) |
| (30) 2025年度労働福祉事業団体役員推薦委員会 | (ク) |
| (31) 第48回(2025年度第2回)組織・財政特別委員会 | (ク) |
| (32) 定例会議の開催 | (ク) |

【協議事項】

- | | |
|-------------------------------|----------|
| (1) 第27回参議院議員選挙の必勝に向けた特別決議(案) | (政治センター) |
| (2) 第51回衆議院議員選挙候補予定者の推薦 | (ク) |
| (3) 組織・財政特別委員会 第15次答申(その1)案 | (総務財政) |
| (4) 第38回連合北海道定期大会の開催 | (ク) |

【確認事項】

- | | |
|--|--------|
| (1) 6月判例研究会 | (組織労働) |
| (2) 北海道勤労者安全衛生センターの取り組み | (ク) |
| (3) 青年委員会の取り組み | (ク) |
| (4) 退職者連合の取り組み | (ク) |
| (5) 2025年度「個別労働紛争解決研修(基礎・応用研修)」の受講募集について | (ク) |
| (6) 連合2025年「パート・派遣等労働者生活アンケート調査」の実施について | (ク) |
| (7) 公職諸会議への出席 | (組織対策) |

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| (8) 2025 年度 連合北海道「第3回政策委員会」の開催 | (総合政策) |
| (9) 令和7年度ケアラー支援関係機関職員等 研修(基礎・応用)の案内 | (♫) |
| (10) 関係組織・団体主催行事等対応 | (♫) |
| (11) 公職・諸会議 | (♫) |
| (12) 北海道高校生平和大使の取り組み | (道民運動) |
| (13) ゆたかな教育の実現をめざす取り組み | (♫) |
| (14) 北海道・東北ブロック連絡会 意見交換会 | (総務財政) |
| (15) 定例会議の開催 | (♫) |
| (16) 夏季休暇に伴う事務局閉局について | (♫) |

【春季生活闘争】

第6回闘争委員会

(春季生活闘争本部)

■第8回執行委員会(2025.7.25)

【経 過】

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| (1) 一般経過 | (総務財政) |
| (2) 6月判例研究会 | (組織労働) |
| (3) 北海道勤労者安全衛生センターの取り組み | (♫) |
| (4) 青年委員会の取り組み | (♫) |
| (5) 退職者連合の取り組み | (♫) |
| (6) 公職・諸会議 | (♫) |
| (7) 労働委員会の状況 | (♫) |
| (8) 組織拡大報告 | (組織対策) |
| (9) 労働相談状況に関する報告 | (♫) |
| (10) 組織拡大に関する取り組み | (♫) |
| (11) 本部諸会議への出席 | (♫) |
| (12) 2025 年度 連合北海道「第3回政策委員会」の開催 | (総合政策) |
| (13) 道議会第2回定例会における意見書採択の結果 | (♫) |
| (14) 令和7年度ケアラー支援関係機関職員等 研修(基礎・応用)の案内 | (♫) |
| (15) 関係組織・団体主催行事等対応 | (♫) |
| (16) 公職・諸会議 | (♫) |
| (17) 北海道高校生平和大使の取り組み | (道民運動) |
| (18) 連合本部諸会議への出席 | (♫) |
| (19) 第27回参議院議員選挙の結果について | (政治センター) |
| (20) 首長選挙の結果について | (♫) |
| (21) 地域協議会推薦議員懇談会 | (♫) |
| (22) 本部諸会議 | (総務財政) |
| (23) 第2回役員推薦委員会 | (♫) |
| (24) 第90回地方委員会 | (♫) |
| (25) 定例会議の開催 | (♫) |

【協議事項】

- | | |
|---|-------------|
| (1) 連合北海道「2026 年度 要求と提言」等の取り組み | (総合政策) |
| (2) 「2025 平和行動 in 根室」について | (道民運動) |
| (3) 2026 年核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けた核兵器廃絶1000万署名の取り組み | (♫) |
| (4) 連合北海道役員推薦委員会への諮問 | (総務財政) |
| (5) 第91回地方委員会の開催 | (♫) |

【確認事項】

(1) 最低賃金の取り組み	(組織労働)
(2) 2026 連合地域ミニマム運動の取り組み	(ク)
(3) 金属機械部門連絡会第5回幹事会の開催及び平和行動(長崎)	(ク)
(4) 2025 インターン生の受け入れ	(ク)
(5) 退職者連合の取り組み	(ク)
(6) 北海道勤労者安全衛生センターの取り組み	(ク)
(7) 公職・諸会議	(ク)
(8) 渡島ユニオンアカデミーへの講師派遣	(組織対策)
(9) 組織拡大担当者(オルガナイザー)研修会の開催	(ク)
(10) 本部諸会議への参加	(ク)
(11) 2025 年度 連合北海道エネルギー・環境政策委員会の取り組み	(総合政策)
(12) 2026 年度 道政に対する「要求と提言」の道への提出	(ク)
(13) 道議会第3回定例会に向けた対応	(ク)
(14) 公職・諸会議	(ク)
(15) 本部諸会議	(ク)
(16) 北海道高校生平和大使の取り組み	(道民運動)
(17) 公職諸会議への出席	(ク)
(18) 2025 はたらく女性の集会	(ジェンダー平等)
(19) 第8回女性委員会幹事会	(ク)
(20) 公職諸会議への出席	(ク)
(21) 連合「第9回政治アンケート調査」の実施について	(政治センター)
(22) 組織・財政特別委員会 第3回小委員会	(総務財政)
(23) 第48回労働福祉対策特別委員会の延期について	(ク)
(24) 国際交流事業	(ク)
(25) 2025 年度地協・地区連合職員研修会	(ク)
(26) 定例会議の開催	(ク)

■第9回執行委員会(2025.8.27)

【経過】

(1) 一般経過	(総務財政)
(2) 最低賃金の取り組み	(組織労働)
(3) 金属機械部門連絡会第5回幹事会の開催及び平和行動(長崎)	(ク)
(4) 退職者連合の取り組み	(ク)
(5) 公職諸会議への出席	(ク)
(6) 労働委員会の状況	(ク)
(7) 組織拡大報告	(組織対策)
(8) 労働相談状況に関する報告	(ク)
(9) 組織拡大に関する取り組み	(ク)
(10) 本部諸会議への出席	(ク)
(11) 2025 年度 連合北海道「第3回政策委員会」の開催	(総合政策)
(12) 2026 年度 政府予算に対する「要求と提言」中央要請行動	(ク)
(13) 2026 年度道政に対する「要求と提言」の道への提出	(ク)
(14) 2025 年度 幌延深地層研究センター事業計画説明会	(ク)
(15) 構成組織への講師派遣	(ク)
(16) 関係組織・団体主催行事等対応	(ク)
(17) 公職・諸会議	(ク)

- (18) 本部諸会議 (ﾀ ﾞ)
- (19) 2025「平和行動 in 広島・長崎」への北海道統一代表団の派遣 (道民運動)
- (20) 日米共同訓練・オスプレイ訓練に対する取り組み (ﾀ ﾞ)
- (21) ゆたかな教育の実現をめざす取り組み (ﾀ ﾞ)
- (22) 北海道高校生平和大使の取り組み (ﾀ ﾞ)
- (23) 第8回女性委員会幹事会 (ジェンダー平等)
- (24) 公職諸会議への出席 (ﾀ ﾞ)
- (25) 2025 年度連合北海道国会議員団会議総会の開催 (政治センター)
- (26) 定例会議の開催 (総務財政)

【協議事項】

- (1) 労働者の権利擁護応援資金の申請について (組織対策)
- (2) 2025 平和行動 in 沖縄「北海道代表団」(連合北海道独自)の派遣について (道民運動)
- (3) 第27回参議院選挙のまとめ(素案) (政治センター)

【確認事項】

- (1) 9月判例研究会 (組織労働)
- (2) 第22回 労働審判員選考委員会の開催 (ﾀ ﾞ)
- (3) 地域活性化フォーラム in オホーツク (ﾀ ﾞ)
- (4) 青年委員会の取り組み (ﾀ ﾞ)
- (5) 退職者連合の取り組み (ﾀ ﾞ)
- (6) 北海道勤労者安全衛生センターの取り組み (ﾀ ﾞ)
- (7) 公職諸会議への参加 (ﾀ ﾞ)
- (8) 大学訪問の実施について (組織対策)
- (9) ワークルール検定 2025・秋について (ﾀ ﾞ)
- (10) 地域ゼネラル連合に関するオルグ (ﾀ ﾞ)
- (11) 北海道社会保険労務士会との意見交換会 (ﾀ ﾞ)
- (12) 本部諸会議への参加 (ﾀ ﾞ)
- (13) 道議会第3回定例会に向けた対応 (総合政策)
- (14) 2025 年度 連合北海道 幌延深地層研究監視連絡会の開催(地下施設視察及び総会) (ﾀ ﾞ)
- (15) 2026 年度 市町村予算に関する「要求と提言」の取り組み (ﾀ ﾞ)
- (16) 本部諸会議 (ﾀ ﾞ)
- (17) 日米共同訓練・オスプレイ訓練に対する取り組み (道民運動)
- (18) 憲法学習会の開催について (ﾀ ﾞ)
- (19) 上川地協平和学習会への講師派遣 (ﾀ ﾞ)
- (20) 連合北海道男女平等月間(6月)の取り組みについて (ジェンダー平等)
- (21) 2025 はたらく女性の集会 (ﾀ ﾞ)
- (22) 本部諸会議 (ﾀ ﾞ)
- (23) 2025 年度(7月～6月)会計監査の実施 (総務財政)
- (24) 第3回連合北海道役員推薦委員会 (ﾀ ﾞ)
- (25) 第49回組織・財政特別委員会の開催延期 (ﾀ ﾞ)
- (26) 第38回定期大会 代議員・特別代議員の割り当てについて (ﾀ ﾞ)
- (27) 第91回地方委員会の開催 (ﾀ ﾞ)
- (28) 定例会議の開催 (ﾀ ﾞ)

■第10回執行委員会(2025.9.26)

- (1) 一般経過 (総務財政)
- (2) 2025 インターン生受け入れについて (組織労働)

(3) 9月判例研究会	(ク)
(4) 最低賃金の取り組み	(ク)
(5) 青年委員会の取り組み	(ク)
(6) 退職者連合の取り組み	(ク)
(7) 北海道勤労安全衛生センターの取り組み	(ク)
(8) 公職者会議への出席	(ク)
(9) 労働委員会の状況	(ク)
(10) 組織拡大報告	(組織対策)
(11) 労働相談状況に関する報告	(ク)
(12) 第12回ユニオンスクール渡島の講師派遣について	(ク)
(13) 地域ゼネラル連合に関するオルグ	(ク)
(14) 本部諸会議への参加出席	(ク)
(15) 道議会第3回定例会に向けた対応	(総合政策)
(16) 関係組織・団体主催行事等対応	(ク)
(17) 公職・諸会議への出席	(ク)
(18) 本部諸会議	(ク)
(19) 日米共同訓練・オスプレイ訓練に対する取り組み	(道民運動)
(20) 「2025 平和行動 in 根室」の取り組み	(ク)
(21) 戦後・被爆80年「平和を考える集い」の開催	(ク)
(22) 高校生平和大使の取り組み	(ク)
(23) 上川地協平和学習会への講師派遣	(ク)
(24) 2025年度「連合・愛のカンパ」地域助成の申請および結果	(ク)
(25) 公職諸会議への出席	(ク)
(26) はたらく女性の集会	(ジェンダー平等)
(27) 第9回女性委員会幹事会	(ク)
(28) 男女平等月間(6月)の取り組みについて	(ク)
(29) 首長選挙の結果について	(政治センター)
(30) 地域協議会推薦議員懇談会	(ク)
(31) 組織・財政特別委員会 第3回小委員会	(総務財政)
(32) 2025年度 地協・地区連合職員研修会	(ク)
(33) 本部諸会議への参加	(ク)
(34) 国際交流事業への参加	(ク)
(35) 定例会議の開催	(ク)
【協議事項】	
(1) 第27回参議院選挙のまとめ(案)	(政治センター)
(2) 第38回定期大会関連	(総務財政)
【確認事項】	
(1) 最低賃金の取り組み	(組織労働)
(2) 青年委員会の取り組み	(ク)
(3) 退職者連合の取り組み	(ク)
(4) 公職・諸会議への出席	(ク)
(5) 新地域ユニオン移行に関する地域オルグについて	(組織対策)
(6) 2025年度 連合北海道 幌延深地層研究監視連絡会の開催(地下施設視察及び総会)	(総合政策)
(7) 2026年度 道政に対する「要求と提言」道との意見交換の実施	(ク)
(8) 公職・諸会議への出席	(ク)
(9) 本部諸会議	(ク)

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| (10) 関係組織・団体主催行事等対応 | (♫) |
| (11) 「食・みどり・水を守る道民の会」の取り組み | (道民運動) |
| (12) ゆたかな教育の実現を求める取り組み | (♫) |
| (13) 高校生平和大使の取り組み | (♫) |
| (14) 第36回女性委員会定期総会 | (ジェンダー平等) |
| (15) 本部諸会議 | (♫) |
| (16) 第91回地方委員会について | (総務財政) |
| (17) 産別 新規加盟について | (♫) |
| (18) 北海道労福協 第3回全道ウェルフェアスクール | (♫) |
| (19) 定例会議の開催 | (♫) |

(2) 地方委員会の開催

■第90回地方委員会

日 時／2025年6月19日（金）13：30～15：45
 場 所／ニューオータニイン札幌2階「鶴東中の間」
 議 案／①2025 春季生活闘争中間まとめ（案）
 ②2025 年度中間会計決算報告（案）
 ③中央会費制度移行等に伴う諸規則の改正（案）
 出席者／地方委員65人（29産別）－内女性委員7人、特別地方委員27人（13地協）
 連合北海道役員22人

■第91回地方委員会

日 時／2025年9月26日（金）13：30～15：30
 場 所／札幌ガーデンパレス2階「孔雀・白鳥2」
 議 案／①第38回定期大会運動方針（案）の予備提案
 ②第27回参議院選挙のまとめ（案）
 ③産別新規加盟の承認について
 出席者／地方委員54人（〇〇産別）－内女性委員7人、特別地方委員〇〇人（〇〇地協）
 連合北海道役員19人

(3) 連合本部主催会議の開催

■連合 北海道ブロック代表者会議

日 時／2025年2月28日（水）15：30～17：30
 場 所／Web
 内 容／①連合運動の持続可能性に向けて ②政治関連 ③その他
 出席者／連合本部：安河内副会長、大方副会長、伊藤副会長、内藤副事務局長、
 村上副事務局長、中山組織企画局長、澤田企画局員
 北海道：連合北海道執行委員

■連合 北海道ブロック代表者会議

日 時 2025年6月12日（金）14：00～17：00
 場 所 連合北海道会議室
 議 題 ①2026～2027年度運動方針案の策定に向けた意見交換 ②政治関連 ③その他
 出席者 連合本部：芳野会長、内藤副事務局長、村上副事務局長、河野総合組織局長、
 山本総合企画局長、中山組織企画局長、名取企画局部長
 連合北海道：会長、会長代行、副会長、事務局長、副事務局長、執行委員

2. 各種委員会

(1) 連合北海道役員推薦委員会

■委員会構成（2025 年 2 月）

組織名	氏 名	役職名
自治労	佐藤 環樹	委 員 長
北教組	山谷 一夫	委 員 長
UA ゼンセン	奈良 靖	支 部 長
JP 労組	千葉 浩司	委 員 長
情報労連	萩原 光典	議 長
電力総連	山下 則和	会 長
運輸労連	森下 和彦	委 員 長
国公連合	高久保陽一	委 員 長
基幹労連	荒川 孝志	委 員 長
JR 総連	中川 憲一	議 長
フード連合	関口 誠	事務局長
私鉄総連	加藤 裕幸	委 員 長
連合北海道	須間 等	会 長
ク	和田 英浩	事務局長

※役員推薦委員会 委員長：荒川 孝志基幹労連委員長
副委員長：萩原 光典情報労連議長

■第 1 回

日 時／2025 年 2 月 28 日（火）12：40 ～

場 所／ホテルポールスター札幌 4 階「ライラック」

内 容／（1）役員推薦委員会の構成について

（2）委員長の選任と事務局の設置について

（3）立候補を受付する役員の種類と定数について

（4）作業日程および第 2 回役員推薦委員会について

（5）その他

■第 2 回

日 時／2025 年 6 月 17 日（火）12：40 ～

場 所／ニューオータニイン札幌 2 階「北星の間」

内 容／（1）第 19 期役員体制及び執行体制に伴う役員の種類と定数について

（2）その他

■第 3 回

日 時／2025 年 9 月 26 日（金）12：30 ～

場 所／札幌ガーデンパレス 2 階「白鳥 1」

内 容／第 19 期役員体制および執行体制に伴う役員選出産別（案）について

(2) 労働福祉事業団体役員推薦委員会

■委員会構成（2025年4月現在）

組織名	氏 名	役職名
連合北海道	須間 等	会 長
〃	和田 英浩	事務局長
基幹労連	荒川 孝史	委 員 長
自治労	佐藤 環樹	委 員 長
北教組	山谷 一夫	委 員 長
UA ゼンセン	奈良 靖	支 部 長
JP 労組	千葉 浩司	委 員 長
情報労連	萩原 光典	議 長
電力総連	山下 則和	会 長
運輸労連	森下 和彦	委 員 長
国公連合	高久保陽一	委 員 長
JR 総連	中川 憲一	議 長
森林労連	神成 武彦	委 員 長

■第1回

日 時／2025年4月24日（木）12：45～

場 所／ニューオータニイン札幌 2階「北星の間」

内 容／①役員推薦委員会の構成・出席者の確認および進め方について

②各事業団体の総代会・総会日程および役員改選について

③第2回労働福祉事業団体役員推薦委員会の開催について

④その他

■第2回

日 時／2025年5月22日（木）12：30～

場 所／札幌ガーデンパレス 2階「白鳥1」

内 容／①経過報告 第1回委員会

②確認対象団体の変更について

③定期改選に伴う理事・監事の推薦ならびに産別人事異動に伴う理事・監事の後任推薦

④その他

■第3回

日 時／2025年6月16日（月）

場 所／書面による開催

内 容／定期改選に伴う理事・監事の推薦ならびに産別人事異動に伴う理事・監事の後任推薦

3. 総務関連の行事

(1) 2025年新年交礼会

日 時／2025年1月7日（火）17：00～

場 所／京王プラザホテル札幌 2階「エミネンスホール」

次 第／年頭あいさつ 連合北海道 会長 須間 等

来賓あいさつ 北海道副知事 三橋 剛 様

札幌市長 秋元 克広 様

北海道議会議長 富原 亮 様

立憲民主党道連 代表 逢坂 誠二 様

国民民主党道連 代表代行 稗貫 秀司 様
 乾 杯 北海道経済連合会 常務理事 百瀬 康弘 様
 メの乾杯 連合北海道 副会長 萩原 光典
 出席／350名

(2) 2025 年度地協・地区連合職員研修会

日時／2025 年 9 月 4 日（木）14：00～5 日（金）11：00
 場所／1 日目 ホテルポールスター札幌 4 階「ライラック」※ Web 併用
 2 日目 札幌ガーデンパレス 4 階「真珠」
 内容／中央会費制度の概要
 中央会費制度移行に伴う会計処理について
 連合北海道との意見交換
 参加者／地協・地区連合から 16 名（Web 参加者含む）

4. 一般業務経過

2025 年度連合北海道スケジュール

[2024 年]				
10 月				
10 / 11	金	10：30	第 13 回執行委員会	ホテルポールスター札幌
17	木	13：00	道政に対する「要求と提言」意見交換	道庁別館 5 F
18	金	13：30	中央執行委員会	連合会館
11 月				
11 / 1	金	13：00	2025 春季生活闘争中央討論集会	日暮里／WEB
6	水	10：00	企画会議	会議室
13	水	13：30	地方連合会事務局長会議	連合本部
22	金	10：00	常駐者会議	会議室
25	月	10：00	第 14 回執行委員会	ニューオータニイン札幌
		13：00	第 47 回労働福祉対策特別委員会	ニューオータニイン札幌
		14：30	第 12 回地協事務局長会議	ニューオータニイン札幌
26	火	12：00	私学助成に関する道議会要請	北海道議会
27	水	10：00	カスハラ労働相談ホットライン	労働相談 C
		14：00	地方連合会代表者会議	連合会館
28	木	10：00	中央委員会	浦安ブライトンホテル
		14：30	地域ゼネラル創設準備会	連合会館
		18：30	北海道産品評価試食会	ホテルポールスター札幌
12 月				
12 / 3	火	10：00	企画会議	会議室
4	水	14：30	2025 春季生活闘争 格差是正フォーラム	web 併用
5	木	14：30	北海道社労士会との意見交換	会議室
7	土	13：00	高校生一万人署名活動	ヨドバシカメラ前
9	月	15：30	第 4 回全国最低賃金対策会議	web 併用
12	木	13：30	食・みどり・水を守る道民の会 総会	ホテルポールスター札幌
16	月	16：00	2025 年度第 1 回金属・機械部門連絡会幹事会	TKP ガーデンシティ札幌
17	火	9：30	第 37 回年次大会	グランドメルキュール札幌大通公園
20	金	13：30	中央執行委員会	連合会館

21	土	13：00	クリスマスひとり親支援ボランティア	札幌エルプラザ
23	月	13：30	第1回最賃対策委員会	会議室
25	水	13：30	第1回中小・パート労働条件委員会	ホテルポールスター札幌
27	金		仕事納め	
[2025年]				
1月				
1／7	火	17：00	2025年 連合北海道 新年交礼会	京王プラザホテル
11	土	10：00	原爆パネル展	札幌駅前通地下歩行空間
12	日	9：00	ユネスコカレンダー市	かでの2.7
13	月	9：00	ユネスコカレンダー市	かでの2.7
14	火	9：00	ユネスコカレンダー市	札幌駅前通地下歩行空間
15	水	13：30	地方連合会事務局長会議	連合会館
		0.5	第2回平和4行動地方連合会意見交換会	連合会館
16	木	16：30	退職者連合との懇談	ホテルポールスター札幌
17	金	17：00	ユネスコカレンダー市	札幌駅前通地下歩行空間
18	土	14：00	連合北海道地域ユニオン執行委員会・大会	グランドメルキュール札幌大通公園
20	月	13：30	高校生平和大使 支援者会議	web
		15：00	第2回連帯活動担当者会議	web
23	木	13：30	第1回男女平等参画推進委員会	会議室
		13：30	中央執行委員会	連合会館
25	土	15：00	後志地協春闘討論集会	小樽経済センター
27	月	10：00	常駐者会議	会議室
28	火	13：30	第1回政策委員会	ホテルポールスター札幌
		10：00	地方連合政策担当者会議	web
29	水	10：00	第2回執行委員会	ホテルポールスター札幌
		13：30	第47回組織・財政特別委員会	ホテルポールスター札幌
		15：00	第1回地協事務局長会議	ホテルポールスター札幌
		9：00	第3回ゆにふぁん担当者会議	web
		10：00	連合経済・社会政策学習会	web
30	木	10：00	道民運動推進委員会	ホテルポールスター札幌
		18：00	檜山地協春闘討論集会	ホテルニューえさし
31	金	13：30	石狩地協春闘討論集会	ホテルポールスター札幌
		11：00	2025年度地方財政セミナー	web
2月				
2／1	土	13：30	渡島ブロック春闘討論集会	函館国際ホテル
		13：30	空知地協春闘討論集会	まなみーる
		13：30	網走地協春闘討論集会	北見市労協会館
		13：30	日高地協春闘討論集会	静内エクリプスホテル
4	火	10：00	企画会議	会議室
		14：00	民主・道民連合政審との政策協議	民主・道民会議室
		16：00	北海道結志会との意見交換	結志会会議室
5	水	13：30	北海道創生協議会	京王プラザホテル
7	金	8：30	米海軍ミサイル駆逐艦「ハワード」小樽港入港抗議集会	小樽港
8	土	13：00	上川地協春闘討論集会	旭川市勤労者福祉会館
		13：30	留萌地協春闘討論集会	留萌市中央公民館
		13：00	十勝地協春闘討論集会	とかちプラザ大会室
		13：30	釧根ブロック春闘討論集会	釧路センチュリーキャッスルホテル
		13：00	胆振地協春闘討論集会	苫小牧市労働福祉センター
		14：30	宗谷地協春闘討論集会	稚内総合文化センター

10	月	14：30	航空連合北海道との道庁提言意見交換	さっぽろ創世スクエア
18	火	18：00	第3回女性委員会幹事会	自治労会館
19	水	8：00	民主・道民連合議員会との連携会議	ホテルポールスター札幌
		16：00	E（情報・サービス）部門連絡会	会議室
20	木	15：00	第2回中小・パート共闘会議及びC部門連絡会合同会議	京王プラザホテル
		13：30	中央執行委員会	連合会館
21	金	11：00	勤労者福祉向上キャンペーン実行委員会	会議室
		16：00	D（交通・運輸）部門連絡会	会議室
22	土	12：00	高校生一人署名活動	ヨドバシカメラ前
		13：00	2025 年度地域医療セミナー	web
25	火	13：30	北海道勤労者信用基金協会経営委員会	ホテルポールスター札幌
26	水	10：00	常駐者会議	会議室
		13：30	第1回北海道高校生平和大使派遣実行委員会	会議室
		16：00	B（資源・化学・エネルギー）部門連絡会	会議室
27	木	13：30	政治センター代表幹事会	グランドメルキュール札幌大通公園
		15：00	第56回政治センター拡大幹事会	グランドメルキュール札幌大通公園
28	金	10：00	第3回執行委員会	ホテルポールスター札幌
		13：00	第2回地協事務局局長会議	ホテルポールスター札幌
		15：30	連合 北海道ブロック代表者会議	会議室（WEB）
3月				
3／4	火	10：00	企画会議	会議室
		13：30	経済5団体との労使懇談会	東急REI
6	木	13：30	中央執行委員会	連合会館
		14：00	治療と仕事の両立支援シンポジウム	プレスト1・7
7	金	13：30	第1回メーデー実行委員会	札幌ガーデンパレス
8	土	10：00	2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー全国統一北海道集会	札幌ガーデンパレス
		13：30	平和憲法と教育の自由を守る全道集会	北海道教育会館
		9：20	第4回女性委員会	札幌ガーデンパレス
10	月	18：00	2025 春闘「3.10 全道総決起集会」	カナモトホール
14	金	10：00	労働局要請	労働局
17	月	15：30	中間会計監査	会議室
18	火	10：00	高校生平和大使全国支援者会議	web
		10：30	北海道勤労者信用基金協会理事会	ホテルポールスター札幌
22	土	9：20	第5回女性委員会幹事会	ホテルポールスター札幌
		10：00	北海道ブロック女性会議	ホテルポールスター札幌
25	火	10：00	常駐者会議	会議室
		13：00	2025 年度連合政治研修会	web
26	水	13：30	地方連合会事務局局長会議	全電通労働会館
28	金	10：00	第4回執行委員会	札幌ガーデンパレス
		13：00	組織・財政特別委員会 第1回小委員会	札幌ガーデンパレス
		14：00	第3回地協事務局局長会議	札幌ガーデンパレス
29	土		「被爆80年 高校生被爆ピアノコンサート」～31日	札幌市
31	月	13：00	連合重点政策討論集会	東京・WEB
4月				
4／1	火	10：00	企画会議	会議室
4	金	10：00	第5回改革パッケージ検証委員会	連合会館
9	水	13：30	第11回（拡大）組織委員会	連合会館
11	金	13：30	第2回メーデー実行委員会	札幌ガーデンパレス
14	月	13：30	第3回中小・パート共闘会議	ホテルポールスター札幌

16	水	10:00	A 部門第3回幹事会	苫小牧
		10:00	幌延深地層研究計画説明会	会議室
17	木	10:00	A 部門第3回幹事会	苫小牧
		13:30	第19回中央執行委員会	連合会館
18	金	10:00	公正取引委員会事務局北海道事務所要請	札幌第3合同庁舎
		14:00	北海道経済産業局要請	札幌第1合同庁舎
21	月	15:00	第2回B部門（資源・化学・エネルギー）連絡会	会議室
22	火	10:00	常駐者会議	会議室
		15:00	ろうきん全道推進会議	札幌ガーデンパレス
23	水	13:30	地域ユニオン執行委員会	ホテルポールスター札幌
		15:00	組織拡大推進特別委員会	ホテルポールスター札幌
24	木	10:00	第5回執行委員会	ニューオータニイン札幌
		12:45	第1回労働福祉事業団体役員推薦委員会	ニューオータニイン札幌
		13:30	組織・財政特別委員会 第2回小委員会	ニューオータニイン札幌
		14:30	第4回地協事務局長会議	ニューオータニイン札幌
		19:00	第5回青年委員会幹事会	自治労会館
27	日	13:00	高校生一万人署名活動	大通西3丁目
5月				
5 / 1	木	9:30	第96回全道メーデー	大通西8丁目
8	木	10:00	企画会議	会議室
9	金	15:00	航空連合北海道課題の道庁への要請・意見交換会	道庁
11	日	13:00	JR 総連 2025 年 安全・政策フォーラム	自治労会館
12	月	18:30	第6回女性委員会幹事会	北海道教育会館
13	火	13:30	第2回高校生平和大使派遣実行委員会	会議室
		16:00	第3回B部門連絡会	会議室
15	木	16:00	第2回E部門連絡会	情報労連会議室
		13:30	中央執行委員会	連合会館
16	金	10:00	沖縄県道104号線超え矢臼別実弾射撃移転訓練に対する取り組み要請行動	防衛局
17	土	13:00	連合医療・介護フェス2025中央集会	web
20	火	10:00	常駐者会議	会議室
21	水	10:00	第2回政策委員会	ニューオータニイン札幌
		13:30	北海道ブロック政策担当者会議	ニューオータニイン札幌
22	木	10:00	第6回執行委員会	札幌ガーデンパレス
		12:30	第2回労働福祉事業団体役員推薦委員会	札幌ガーデンパレス
		13:00	第48回組織・財政特別委員会	札幌ガーデンパレス
		14:00	第5回地協事務局長会議	札幌ガーデンパレス
		15:00	2025年度地協活動推進会議	札幌ガーデンパレス
23	金	14:00	ゆたかな教育の実現を求める道教委要請	北海道議会
25	日	13:30	北海道高校生平和大使選考会第3回派遣実行委員会	ホテルポールスター札幌
26	月	16:00	第2回D部門連絡会	会議室
27	火	9:00	沖縄県道104号線超え矢臼別実弾射撃移転訓練に対する取り組み要請行動	北海道
		10:30	沖縄県道104号線超え矢臼別実弾射撃移転訓練に対する取り組み要請行動	在札幌米国領事館
		14:00	地方連合会代表者会議	連合会館
28	水	10:00	中央委員会	日暮里ラングウッド
29	木	15:00	第3回メーデー実行委員会	札幌ガーデンパレス
30	金	13:30	第8回医療職場の意見交換会	ホテルライフオー・札幌
31	土	13:30	第16回全道中小労働者研修・交流集会	美瑛町
6月				

6 / 2	月	10：00	企画会議	会議室
		14：00	北海道創生協議会	モントレエーデルhof
3	火	10：00	民主・道民連合政審との政策協議	道議会
		15：00	北海道結志会との意見交換	道議会
5	木	15：00	第28代（北海道第13代）高校生平和大使就任記者会見	道政記者クラブ
6	金	13：00	北海道総合開発委員会	札幌ガーデンパレス
7	土	10：00	在沖縄米海兵隊矢臼別実弾射撃移転訓練反対 全道総決起集会	釧路センチュリーキャッスルホテル
		9：20	第7回女性委員会幹事会	ホテルポールスター札幌
		10：00	男女雇用機会均等法集会	ホテルポールスター札幌
		15：00	SNT（須間会長とのニューリーダートーク）	自治労会館
8	日	9：00	SNT（須間会長とのニューリーダートーク）	かでの2.7
12	木	14：00	連合「北海道ブロック代表者会議」	会議室
13	金	13：30	男女平等に関する要請行動	労働局
		15：00	最低賃金改定に関する要請行動	労働局
14	土	12：00	高校生平和大使 広島結団式（～15日）	広島アステールプラザ
16	月	10：00	常駐者会議	会議室
17	火	10：00	第7回執行委員会	ニューオータニイン札幌
		12：40	第2回役員推薦委員会	ニューオータニイン札幌
		13：30	第90回地方委員会	ニューオータニイン札幌
		15：30	第6回地協事務局長会議	ニューオータニイン札幌
19	木	13：30	中央執行委員会	連合会館
20	金	16：30	高校生平和大使 札幌市長表敬訪問	札幌市役所
		16：30	全道セイフティネットワーク集会	自治労会館
21	土	13：00	高校生一万人署名活動	大通西3丁目
7月				
7 / 2	水	10：00	企画会議	会議室
8	火	19：00	連合留萌地協青年政治学習会	羽幌町中央公民館
9	水	13：30	地方連合会事務局長会議	連合会館
17	木	13：30	中央執行委員会	連合会館
18	金	9：45	高校生「平和授業（出前授業）」	札幌宮の森中学校
23	水	10：00	常駐者会議	会議室
24	木	13：30	2025年度連合北海道第3回政策委員会	ホテルポールスター札幌
25	金	10：00	第8回執行委員会	ホテルポールスター札幌
		13：00	第7回地協事務局長会議	ホテルポールスター札幌
28	月	10：30	高校生平和大使全国支援者会議	web
29	火	10：00	地域活性化雇用創造プロジェクト北海道事業協議会	第二水産ビル
		14：00	北海道中高年世代活躍応援プロジェクト協議会	TKPカンファレンスセンター
30	水	10：00	第2回北海道地方最低賃金審議会	札幌第1合同庁舎
		12：15	2025年最低賃金審議会の付こうに合わせた昼休み集会	札幌第1合同庁舎前
		16：00	2025年度 第2回最賃対策委員会	NEU札幌ビル2階
		13：30	2025年度第4回ジェンダー平等推進委員会	ほくろうビル5階
		18：00	第8回女性委員会幹事会	web
8月				
8 / 1	金	10：00	企画会議	会議室
		15：00	第13回（拡大）組織委員会	連合会館
4	月		平和行動 in 広島・長崎（～10日迄）	道民運動局
		15：00	北海道・東北ブロック連絡会意見交換会（～5）	ハーネル仙台
5	火	15：00	第3回北海道地方最低賃金審議会	札幌第1合同庁舎
6	水		2026年度政府予算に対する中央要請行動	東京
			金属機械部門連絡会第5回幹事会の開催（～9日迄）	長崎

7	木		2026 年度政府予算に対する中央要請行動	東京
8	金	15:00	退職者連合 第4回役員選考委員会	ほくろうビル5階
13	水		連合北海道閉局（～15日）	
18	月	13:30	第21回北海道トラック輸送における労働時間改善地方協議会	北海道トラック協会4階
21	木	13:30	中央執行委員会	連合会館
		10:00	第4回北海道地方最低賃金審議会	札幌第1合同庁舎
22	金	10:00	第1回男女平等参画審議会	かでの2.7
23	土	13:00	高校生一人署名活動	大通西3丁目
25	月	10:00	常駐者会議	会議室
26	火	10:00	第4回北海道地方最低賃金審議会	札幌第1合同庁舎
27	水	10:00	第9回執行委員会	ホテルポールスター札幌
		13:00	組織・財政特別委員会 第3回小委員会	ホテルポールスター札幌
		14:15	第8回地協事務局長会議	ホテルポールスター札幌
28	木	10:00	北海道地域ユニオン第3回執行委員会	連合北海道会議室
9月				
9 / 2	火	10:50	民主・道民連合政審との政策協議	民主・道民会議室
		15:00	北海道結志会との意見交換	結志会会議室
			2025 インターン生受入（～5日迄）	連合北海道会議室
4	木	14:00	地協・地区連合職員研修会（～5日迄）	ホテルポールスター札幌・札幌ガーデンパレス
5	金		平和行動 in 根室（～7日）	
6	土	10:00	はたらく女性の集会	ホテルポールスター札幌
9	火	7:50	民主・道民連合議員会との連携会議	ホテルポールスター札幌
		10:00	企画会議	会議室
10	水		第84回全国産業安全センター in 大阪近畿（～12日迄）	大阪
12	金	10:00	第6回四役会	ほくろうビル5階
			9.10 世界自殺予防デーに関わる周知街宣	札幌三越前
13	土	10:00	働く人の電話相談	
24	水	10:00	常駐者会議	会議室
		13:00	2025 北海道シニアの集い in ちとせ	千歳北ガス文化ホール
25	木	18:00	平和を考える集い・記念講演会	グランドメルキュール札幌大通公園
26	金	10:00	第10回執行委員会	札幌ガーデンパレス
		12:30	第3回役員推薦委員会	札幌ガーデンパレス
		13:30	第91回地方委員会	札幌ガーデンパレス
		16:00	第9回地協事務局長会議	札幌ガーデンパレス
28	日	9:00	自治労道本部第68回定期大会	ホテルポールスター札幌
		9:30	幌延深地層研究監視連絡会	幌延町
29	月	14:00	第8回男女平等推進委員会委員長連絡会	連合会館
30	火	13:30	会計監査	会議室

